

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

GFX 100

使用説明書

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

最新情報について

本製品の最新の使用説明書はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>



上記サイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。ソフトウェアのライセンスに関する情報も記載しています。



本製品のファームウェア更新情報はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/>



章目次


メニュー一覧	iv
1 このカメラの概要	1
2 撮影の準備	37
3 基本的な撮影と再生	55
4 動画の撮影と再生	61
5 撮影に関する設定	67
6 撮影メニュー	103
7 画像の再生と再生メニュー	171
8 セットアップメニュー	197
9 ショートカット機能	249
10 オプション品・外部機器の使い方	263
11 他機器との接続	281
12 資料	295

メニュー一覧

このカメラで使用できるメニューの一覧です。

撮影メニュー

撮影時に使用できるメニューです。


 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (103)。

画質設定	ページ	フォーカス設定	ページ
1 3 画像サイズ	104	フォーカスエリア選択	119
画質モード	105	AF モード	120
RAW 記録方式	106	AF-C カスタム設定	121
フィルムシミュレーション	107	1 3/3 縦 / 横位置 AF モード切替	124
モノクロ調整 (温・冷黒調)	108	AF ポイント表示	124
グレイン・エフェクト	108	フォーカス点数切り替え	125
カラークローム・エフェクト	109	プリ AF	125
スムーズスキン・エフェクト	109	AF 補助光	125
ダイナミックレンジ	110	顔検出 / 瞳 AF 設定	126
D レンジ優先	111	AF+MF	128
2 3/3 ホワイトバランス	112	MF アシスト	129
ハイライトトーン	115	フォーカスチェック	129
シャドウトーン	115	2 3/3 測光&フォーカスエリア連動	130
カラー	115	ワンタッチ AF 時の動作	130
シャープネス	115	被写界深度スケール	131
ノイズリダクション	116	レリーズ優先 / フォーカス優先	131
3 3/3 長秒時ノイズ低減	116	3 3/3 タッチパネルモード	132
点像復元処理	116		
色空間	116		
ピクセルマッピング	117		
カスタム選択	117		
カスタム登録 / 編集	118		

📷 撮影設定		📖	📹 動画設定		📖
1/2	セルフタイマー	135	1/4	動画モード	151
	セルフタイマー設定保持	136		H.265(HEVC)/H.264	153
	インターバルタイマー撮影	136		動画圧縮方式	153
	インターバルタイマー撮影露出平準化	137		📷 フィルムシミュレーション	154
	AEブラケティング設定	138		📷 モノクロ調整	154
	フィルムシミュレーションBKT	138		📷 ダイナミックレンジ	155
	フォーカスBKT	139		📷 ホワイトバランス	155
	測光	140		📷 ハイライトトーン	156
	シャッター方式	141		📷 シャドウトーン	156
	フリッカー低減	142		📷 カラー	156
2/2	感度	142	📷 シャープネス	157	
	ブレ防止モード	143	📷 ノイズリダクション	157	
	マウントアダプター設定	144	2/4	📷 フレーム間ノイズリダクション	157
	35mmフォーマットモード	146		F-Log/HLG撮影	158
	ワイヤレス通信	147	📷 周辺光量補正	159	
📷 フラッシュ設定		📖	📷 フォーカスエリア選択	159	
	フラッシュ機能設定	148	3/4	動画AFモード	159
	赤目補正	148		📷 AF-Cカスタム設定	160
	TTL-LOCKモード	149		📷 顔検出/瞳AF設定	161
	LEDライト設定	149		📷 MFアシスト	161
	MASTER設定	150		📷 フォーカスチェック	161
	CH設定	150		4K映像出力先	162
				FULL HD映像出力先	162
				HDMI出力情報表示	163
				4K HDMI出力解像度(スタンバイ時)	163
				HDMIレックコントロール	163
4/4			ゼブラ設定	164	
			ゼブラレベル	164	
			オーディオ設定	165	
			タイムコード設定	167	
			タリーランプ	169	
		動画サイレント操作	170		

再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。

 詳細は再生メニューをご覧ください (📖 177)。

再生メニュー		📖
1/3	スロット切り替え	177
	RAW 現像	178
	消去	180
	同時消去 (RAW/JPEG 分割記録時)	182
	トリミング	182
	リサイズ	183
	プロテクト	184
	画像回転	185

再生メニュー		📖
2/3	赤目補正	186
	ボイスメモ設定	187
	画像コピー	188
	画像転送予約	189
	ワイヤレス通信	190
	フォトブックアシスト	191
	プリント予約 (DPOF)	193
instax プリンタープリント	194	

3/3	表示比率	195
-----	------	-----

セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。



設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (P.197)。

基本設定		表示設定		
1/2	フォーマット	198	EVF 明るさ	205
	日時設定	199	EVF 鮮やかさ	205
	世界時計	199	EVF 色調整	205
	言語/LANG.	200	LCD 明るさ	206
	マイメニュー設定	200	LCD 鮮やかさ	206
	センサークリーニング	201	LCD 色調整	206
	バッテリー劣化度	201	撮影画像表示	207
	リセット	202	縦横自動回転表示	207
2/2	認証	202	マニュアル時モニター露出 / WB 反映	208
1/3	AF 合焦音量	203	ナチュラルライブビュー	208
	セルフタイマー音量	203	フレーミングガイド	209
	操作音量	204	2/3 縦横自動回転再生	209
	シャッター音量	204	距離指標の単位	210
	シャッター音	204	2 画面モード表示設定	210
	再生音量	204	画面のカスタマイズ	211
			情報表示拡大モード (EVF)	212
			情報表示拡大モード (LCD)	213
3/3			情報表示拡大 表示設定	214
			情報表示コントラスト調整	214
			サブ液晶モニター設定	215
			リアサブモニター設定	218
			サブ液晶モニター背景色	220
		リアサブモニター明るさ	220	

操作ボタン・ダイヤル設定		頁
1/2	フォーカスレバー設定	221
	クイックメニュー登録 / 編集	222
	ファンクション (Fn) 設定	223
	コマンドダイヤル設定	226
	半押し AF	227
	半押し AE	227
	レンズなしリリース	228
	カードなしリリース	228
2/2	フォーカスリング	229
	フォーカスリング操作	229
	AE/AF-LOCK 設定	230
	AWB-LOCK 設定	230
	露出補正ボタン設定	230
	タッチパネル設定	231
	ロック	232
消費電力設定		頁
自動電源 OFF	233	
パフォーマンス	234	
撮影スタンバイモード	235	
オートパワーセーブ	235	

保存設定		頁
コマ NO.	236	
処理前画像記録	237	
ファイル名編集	237	
カードスロット設定(静止画記録)	237	
スロット選択 (📷 順次記録時)	238	
スロット選択 (📷 順次記録時)	238	
フォルダ選択	238	
著作権情報	239	

接続設定		頁
Bluetooth 設定	240	
ネットワーク設定	242	
instax プリンター接続設定	243	
PC 接続モード	244	
無線通信周波数設定	245	
共通設定	246	
情報表示	247	
ワイヤレス設定初期化	247	



目次

はじめに	ii
最新情報について	ii
章目次	iii
メニュー一覧	iv
撮影メニュー	iv
再生メニュー	vi
セットアップメニュー	vii
目次	ix
付属品一覧	xix
本書について	xx
本書で使われている記号について	xx
画面のイラストや写真について	xx
表記について	xx

1 このカメラの概要

1

カメラの各部名称と機能	2
銘板プレート	5
フォーカスレバー	5
ドライブモードダイヤル	6
ドライブボタン	7
コマンドダイヤル	8
インジケータランプ	9
液晶モニター	10
交換式ファインダーの各部名称と機能	12
ファインダーの取り付け方	13
アイカップ	14
視度調節ダイヤル	15
撮影時の表示画面	16
EVF の表示画面	16
LCD の表示画面	18
EVF と LCD の切り替え	20
EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整	21
情報表示の切り替え	22
2 画面について	23
「スタンダード」画面の表示について	24
サブ液晶モニター	26
リアサブモニター	29

メニューの使い方	30
タッチ操作について	31
撮影時のタッチ操作について	31
再生時のタッチ操作について	35
縦位置撮影	36
縦表示について	36

2 撮影の準備 37

ストラップを取り付ける	38
レンズを取り付ける	40
バッテリーを充電する	41
バッテリーを入れる	45
メモリーカードを入れる	47
2枚のメモリーカードを使用する場合	48
使用可能なメモリーカード	49
電源をオンにする / オフにする	50
バッテリー残量の表示	51
初期設定を行う	52
言語を変更する	54
日時を変更する	54

3 基本的な撮影と再生 55

プログラムで静止画を撮影する	56
静止画を再生する	59
画像を消去する	60

4 動画の撮影と再生 61

動画を撮影する	62
動画の設定について	64
動画を再生する	65

5 撮影に関する設定 67



P、S、A、Mで撮影する	68
プログラム (P) 撮影	68
シャッタースピード優先 (S) 撮影	70
絞り優先 (A) 撮影	73
マニュアル (M) 撮影	75

オートフォーカス撮影	77
フォーカスモード	78
AFモードの選択	80
フォーカスエリアの変更	82
マニュアルフォーカス撮影	85
ピントの確認方法	87
ISO感度を変更	90
AUTO設定について	91
測光モードを変更	92
露出補正	93
AE/AFロック撮影	94
ボタンによるAE/AFロック	95
ブラケティング撮影	96
AEブラケティング	97
ISOブラケティング	97
フィルムシミュレーション BKT	97
WB ホワイトバランス BKT	98
DR ダイナミックレンジ BKT	98
FOCUS フォーカス BKT	98
連続撮影 (連写)	99
多重露出撮影	101

6 撮影メニュー

103

撮影メニュー (画質設定)	104
画像サイズ	104
画質モード	105
RAW記録方式	106
フィルムシミュレーション	107
モノクロ調整 A B (温・冷黒調)	108
グレイン・エフェクト	108
カラークローム・エフェクト	109
スムーズスキン・エフェクト	109
ダイナミックレンジ	110
Dレンジ優先	111
ホワイトバランス	112
ハイライトトーン	115
シャドウトーン	115

カラー	115
シャープネス	115
ノイズリダクション	116
長秒時ノイズ低減	116
点像復元処理	116
色空間	116
ピクセルマッピング	117
カスタム選択	117
カスタム登録 / 編集	118
撮影メニュー (フォーカス設定)	119
フォーカスエリア選択	119
AF モード	120
AF-C カスタム設定	121
縦 / 横位置 AF モード切替	124
AF ポイント表示  	124
フォーカス点数切り替え	125
プリ AF	125
AF 補助光	125
顔検出 / 瞳 AF 設定	126
AF+MF	128
MF アシスト	129
フォーカスチェック	129
測光 & フォーカスエリア連動	130
ワンプッシュ AF 時の動作	130
被写界深度スケール	131
レリーズ優先 / フォーカス優先	131
タッチパネルモード	132
撮影メニュー (撮影設定)	135
セルフタイマー	135
セルフタイマー設定保持	136
インターバルタイマー撮影	136
インターバルタイマー撮影露出平準化	137
AE ブラケット設定	138
フィルムシミュレーション BKT	138
フォーカス BKT	139
測光	140
シャッター方式	141
フリッカー低減	142

感度.....	142
ブレ防止モード.....	143
マウントアダプター設定.....	144
35mm フォーマットモード.....	146
ワイヤレス通信.....	147
撮影メニュー（フラッシュ設定）.....	148
フラッシュ機能設定.....	148
赤目補正.....	148
TTL-LOCK モード.....	149
LED ライト設定.....	149
MASTER 設定.....	150
CH 設定.....	150
撮影メニュー（動画設定）.....	151
動画モード.....	151
H.265(HEVC)/H.264.....	153
動画圧縮方式.....	153
🔧 フィルム シミュレーション.....	154
🔧 モノクロ調整 A B (温・冷黒調).....	154
🔧 ダイナミックレンジ.....	155
🔧 ホワイトバランス.....	155
🔧 ハイライトトーン.....	156
🔧 シャドウトーン.....	156
🔧 カラー.....	156
🔧 シャープネス.....	157
🔧 ノイズリダクション.....	157
🔧 4K フレーム間ノイズリダクション.....	157
F-Log/HLG 撮影.....	158
🔧 周辺光量補正.....	159
🔧 フォーカスエリア選択.....	159
動画 AF モード.....	159
🔧 AF-C カスタム設定.....	160
🔧 顔検出 / 瞳 AF 設定.....	161
🔧 MF アシスト.....	161
🔧 フォーカスチェック.....	161
4K 映像出力先.....	162
FULL HD 映像出力先.....	162
HDMI 出力情報表示.....	163
4K HDMI 出力解像度 (スタンバイ時).....	163

HDMI レックコントロール	163
ゼブラ設定	164
ゼブラレベル	164
オーディオ設定	165
タイムコード設定	167
タリーランプ	169
動画サイレント操作	170

7 画像の再生と再生メニュー 171

再生時の表示画面	172
情報表示の切り替え	173
再生方法	175
再生ズーム	176
マルチ再生	176
再生メニュー	177
スロット切り替え	177
RAW 現像	178
消去	180
同時消去 (RAW/JPEG 分割記録時)	182
トリミング	182
リサイズ	183
プロテクト	184
画像回転	185
赤目補正	186
ボイスメモ設定	187
画像コピー	188
画像転送予約	189
ワイヤレス通信	190
フォトブックアシスト	191
プリント予約 (DPOF)	193
instax プリンタープリント	194
表示比率	195

8 セットアップメニュー 197

セットアップメニュー (基本設定)	198
フォーマット	198
日時設定	199
世界時計	199
🗣️ 言語/LANG.	200

マイメニュー設定	200
センサークリーニング	201
バッテリー劣化度	201
リセット	202
認証	202
セットアップメニュー（音設定）	203
AF 合焦音量	203
セルフタイマー音量	203
操作音量	204
シャッター音量	204
シャッター音	204
再生音量	204
セットアップメニュー（表示設定）	205
EVF 明るさ	205
EVF 鮮やかさ	205
EVF 色調整	205
LCD 明るさ	206
LCD 鮮やかさ	206
LCD 色調整	206
撮影画像表示	207
縦横自動回転表示	207
マニュアル時モニター露出 /WB 反映	208
ナチュラルライブビュー	208
フレーミングガイド	209
縦横自動回転再生	209
距離指標の単位	210
2画面モード表示設定	210
画面のカスタマイズ	211
情報表示拡大モード (EVF)	212
情報表示拡大モード (LCD)	213
情報表示拡大 表示設定	214
情報表示コントラスト調整	214
サブ液晶モニター設定	215
リアサブモニター設定	218
サブ液晶モニター背景色	220
リアサブモニター明るさ	220

セットアップメニュー（操作ボタン・ダイヤル設定）	221
フォーカスレバー設定.....	221
クイックメニュー登録 / 編集.....	222
ファンクション (Fn) 設定.....	223
コマンドダイヤル設定.....	226
半押し AF.....	227
半押し AE.....	227
レンズなしリリース.....	228
カードなしリリース.....	228
フォーカスリング.....	229
フォーカスリング操作.....	229
AE/AF-LOCK 設定.....	230
AWB-LOCK 設定.....	230
露出補正ボタン設定.....	230
タッチパネル設定.....	231
ロック.....	232
セットアップメニュー（消費電力設定）	233
自動電源 OFF.....	233
パフォーマンス.....	234
撮影スタンバイモード.....	235
オートパワーセーブ.....	235
セットアップメニュー（保存設定）	236
コマ NO.....	236
処理前画像記録.....	237
ファイル名編集.....	237
カードスロット設定（静止画記録）.....	237
スロット選択 (📷 順次記録時).....	238
スロット選択 (📷 順次記録時).....	238
フォルダ選択.....	238
著作権情報.....	239
セットアップメニュー（接続設定）	240
Bluetooth 設定.....	240
ネットワーク設定.....	242
instax プリンター接続設定.....	243
PC 接続モード.....	244
スマートフォン無線通信周波数設定.....	245
共通設定.....	246
情報表示.....	247
ワイヤレス設定初期化.....	247

9 ショートカット機能	249
ショートカット機能について	250
マイメニュー	251
マイメニュー設定	251
Q (クイックメニュー) ボタン	253
設定の確認と変更	254
クイックメニューの割り当て変更	255
Fn (ファンクション) ボタン	256
ファンクションボタンの割り当て変更	259
10 オプション品・外部機器の使い方	263
交換レンズ	264
レンズの各部名称	264
交換レンズのお手入れ	265
レンズキャップの取り外し方	265
レンズフードの取り付け方	265
絞りリング	266
EVF チルトアダプター	267
取り付け方	268
使い方	269
クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル	270
クリップオンフラッシュ・シンクロターミナルを設定する	271
シンクロターミナル	272
クリップオンフラッシュ	273
MASTER (光通信)	276
11 他機器との接続	281
HDMI 出力	282
HDMI 機器との接続	282
撮影画面の出力	283
再生画面の出力	283
無線通信で接続 (Bluetooth®/ 無線 LAN (Wi-Fi))	284
スマートフォンと通信する (FUJIFILM Camera Remote)	284
PC 撮影機能を使用する (Capture One Pro Fujifilm/Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX/FUJIFILM X Acquire)	286

USB ケーブルでパソコンと接続.....	287
PC 撮影機能を使用する (Capture One Pro Fujifilm/Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX/FUJIFILM X Acquire)	290
メモリーカードに撮影した画像を転送する.....	291
RAW 現像する (FUJIFILM X RAW STUDIO)	292
カメラの設定を保存する / 読み込む (FUJIFILM X Acquire)	292
instax SHARE プリンターと接続.....	293
プリンターとの接続を設定する.....	293
画像をプリントする.....	294

12 資料 295

カメラで使える別売アクセサリ.....	296
カメラで使えるソフトウェア.....	298
FUJIFILM Camera Remote	298
MyFinePix Studio	298
Capture One Express Fujifilm	298
RAW FILE CONVERTER EX.....	298
Capture One Pro Fujifilm.....	299
Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX	299
FUJIFILM X Acquire	299
FUJIFILM X RAW STUDIO	299
お取り扱いにご注意ください.....	300
お手入れについて.....	315
センサークリーニング.....	316
ファームウェア更新情報.....	317
ファームウェアバージョンの確認方法.....	317
トラブルシューティング / FAQ.....	318
警告表示.....	329
標準撮影枚数 / 記録時間.....	333
主な仕様.....	334
索引.....	340
ソフトウェアのお問い合わせ.....	346
アフターサービスについて.....	347

付属品一覧

ご使用前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-T125 (2 個)
- バッテリーチャージャー BC-T125 (1 個)
- プラグアダプター (1 式)
- 交換式ファインダー EVF-GFX2 (1 式)
- ボディキャップ (1 個) (本体に装着)
- ストラップリング (2 個)
- ストラップリング取り付け補助具 (1 個)
- ストラップリングカバー (2 枚)
- ショルダーストラップ (1 本)
- ケーブルプロテクター (1 個)
- ホットシューカバー (1 個) (端子保護用、本体に装着)
- シンクロターミナルキャップ (1 個) (本体に装着)
- 使用説明書 (本書)
- 保証書 (1 部)






- プラグアダプターは、国・地域によって付属されているアダプターが異なります。別紙のお知らせをご確認のうえ、適切なアダプターをご使用ください。
- このカメラで使用できるソフトウェアについては、 298 をご覧ください。

本書について

この説明書には、富士フィルムデジタルカメラ GFX100 の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について

-  カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
-  カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
-  参照ページを記載しています。

画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

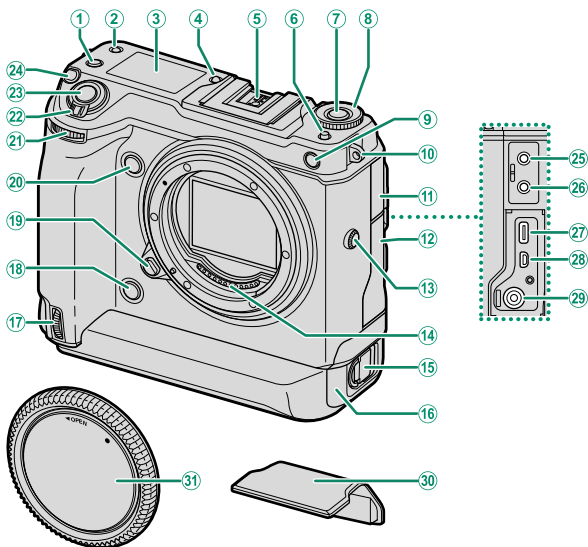
表記について

- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「メモリーカード」と表記します。
- このカメラは、ファインダーと液晶モニターを装備しています。本書では、ファインダーを「EVF」、液晶モニターを「LCD」と表記する場合があります。

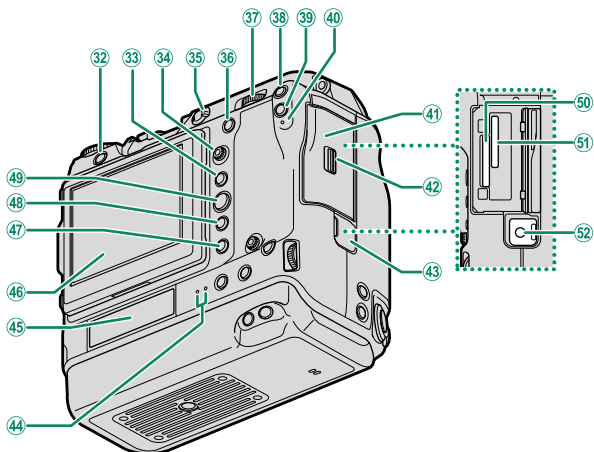
このカメラの概要



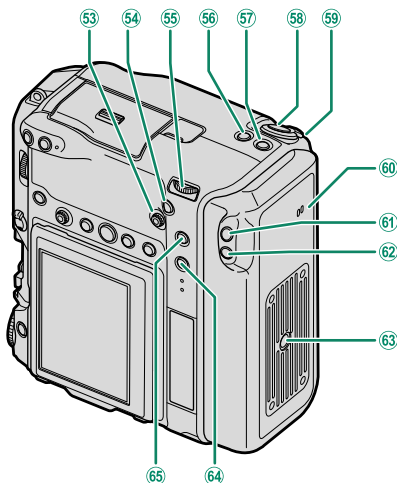
カメラの各部名称と機能



① Fn2 ボタン.....	256	⑩ 端子カバー 1	
② サブ液晶モニター切替ボタン.....	27	⑪ 端子カバー 2	
③ サブ液晶モニター.....	26	⑫ シンクローターミナル.....	272
④ サブ液晶モニター照明ボタン.....	28	⑬ レンズ信号接点	
⑤ ホットシュー.....	271	⑭ バッテリートレイロックレバー.....	45
⑥ ドライブモードダイヤル		⑮ バッテリートレイ.....	45
ロック解除ボタン.....	6		
⑦ ドライブボタン.....	7	⑰ 縦位置フロントコマンドダイヤル	8、36、226
⑧ ドライブモードダイヤル.....	6	⑱ 縦位置 Fn3 ボタン.....	36
⑨ AF 補助光ランプ.....	125	⑲ レンズ取り外しボタン.....	40
セルフタイマーランプ.....	135	⑳ Fn3 ボタン.....	256
⑩ ストラップ取り付け部.....	38	㉑ フロントコマンドダイヤル.....	8、226
⑪ 端子カバー 1		㉒ 電源レバー.....	50
⑫ 端子カバー 2		㉓ シャッターボタン.....	58
⑬ シンクローターミナル.....	272	㉔ Fn1 ボタン	
⑭ レンズ信号接点		☑ (露出補正) ボタン.....	93
⑮ バッテリートレイロックレバー.....	45	㉕ マイク端子.....	165
⑯ バッテリートレイ.....	45	㉖ ヘッドホン端子.....	166
		㉗ USB 端子 (Type-C).....	44、287
		㉘ HDMI マイクロ端子 (Type D).....	282
		㉙ DC-IN15V 端子.....	43
		⑳ ホットシューカバー.....	271
		㉑ ボディキャップ.....	40



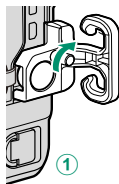
- | | | | | | |
|----|-------------------|----------------|----|-------------------------|------------------|
| ③② | ☒ (消去) ボタン |60 | ④④ | インジケータランプ 2 |9、43 |
| ③③ | AE-L (AE ロック) ボタン |95、256 | ④⑤ | リアサブモニター |29 |
| ③④ | フォーカスレバー |5、82、221 | ④⑥ | チルト式液晶モニター (LCD) |10、18、20、21 |
| ③⑤ | フォーカスモード切換レバー |78 | | タッチパネル |31、132、231 |
| ③⑥ | AF-ON ボタン |95、256 | ④⑦ | ▶ (再生) ボタン |59 |
| ③⑦ | リアコマンドダイヤル |8、175、226 | ④⑧ | DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン |22、173 |
| ③⑧ | Fn4 ボタン |256 | | | |
| ③⑨ | Q (クイックメニュー) ボタン |253 | ④⑨ | MENU/OK (メニュー / 決定) ボタン |30 |
| ④① | インジケータランプ 1 |9 | ⑤① | メモリーカードスロット 1 |47 |
| ④② | メモリーカードスロットカバー |47 | ⑤② | メモリーカードスロット 2 |47 |
| | メモリーカードスロットカバーロック |47 | | リモートリリース端子 |72 |
| ④③ | リモートリリース端子カバー |72 | | | |



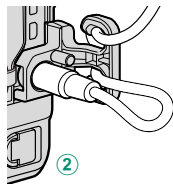
- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| ⑤③ 縦位置フォーカスレバー.....5、36 | ⑤⑨ 縦位置キーロックレバー.....36 |
| ⑤④ 縦位置 AF-ON ボタン.....36、256 | ⑥⑩ スピーカー.....65、204 |
| ⑤⑤ 縦位置リアコマンドダイヤル
.....8、36、256 | ⑥① 縦位置 Fn4 ボタン.....36、256 |
| ⑤⑥ 縦位置 Fn2 ボタン.....36、256 | ⑥② 縦位置 Q (クイックメニュー) ボタン
.....36、253 |
| ⑤⑦ 縦位置 Fn1 ボタン
<input checked="" type="checkbox"/> (露出補正) ボタン
.....36、93、256 | ⑥③ 三脚用ねじ穴 |
| ⑤⑧ 縦位置シャッターボタン.....36、58 | ⑥④ Fn5 ボタン.....80、256 |
| | ⑥⑤ 縦位置 AE-L (AEロック) ボタン
.....36、95、256 |

ケーブルプロテクターについて

- ① ケーブルプロテクターは、AC パワーアダプターや USB ケーブルを使っているときに、ケーブルに引っかかってケーブルが抜れたりするのを防ぐためのものです。プロテクターは、図のように取り付け、ネジを回して固定します。
- ② ケーブルを差し込んで、図のように通します。



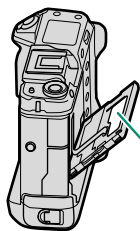
①



②

銘板プレート

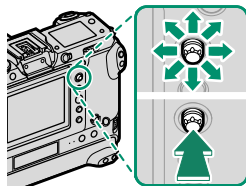
FCC ID、KC マーク、CMIIT ID、シリアル番号などが印刷されていますので、銘板プレートは取り外さないでください。



銘板プレート

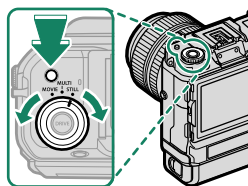
フォーカスレバー

フォーカスレバーを八方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます。メニューを表示しているときは、メニュー項目の選択に使用できます。



ドライブモードダイヤル

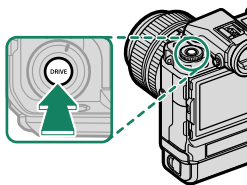
ドライブモードダイヤルでドライブモードを選べます。ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回します。



設定	説明
STILL	一コマ撮影や連続撮影（連写）ができます（ 56、99）。
MULTI	ブラケティング撮影や多重露出撮影で静止画を撮影できます（ 96、101）。
MOVIE	動画が撮影できます（ 62）。

ドライブボタン

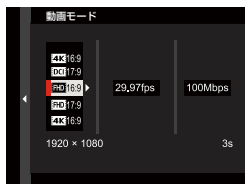
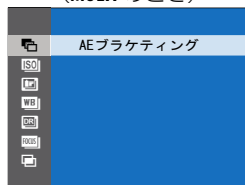
ドライブモードダイヤルが **STILL** または **MULTI** のときにドライブボタンを押すと、ドライブモード選択画面が表示されます。ドライブモードダイヤルが **MOVIE** のときにドライブボタンを押すと、動画モードの設定画面 (151) が表示されます。



ドライブモード選択画面
(**STILL** のとき)



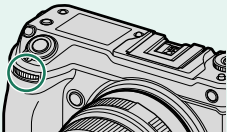


ドライブモード選択画面
(**MULTI** のとき)



動画モードの設定画面
(**MOVIE** のとき)

コマンドダイヤル

フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで、以下の操作ができます。

	フロントコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル
  回転	<ul style="list-style-type: none">メニュータブ、ページの切り替えプログラムシフト絞り値の変更^{*1, 2}前後の画像を表示（再生時）	<ul style="list-style-type: none">メニュー項目の選択プログラムシフトシャッタースピードの変更^{*1, 4}露出補正^{*1} (☒) (露出補正) ボタンを押しながら回転クイックメニューの設定値を変更フォーカスエリアのサイズ変更画像を再生ズーム（再生時）画像をマルチ再生（再生時）
 中央押し	<ul style="list-style-type: none">絞り値、ISO 感度の切り替え^{*2}☒ 操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定の設定切り替え（長押し）	<ul style="list-style-type: none">ピント位置拡大表示^{*3}マニュアルフォーカス時に MF アシストの設定切り替え（長押し）^{*3}ピント位置拡大表示（再生時）

*1 ☒ 操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定で設定を変更可能

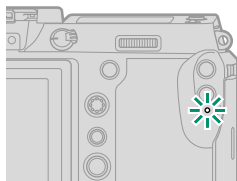
*2 絞りリングに C ポジションがあるレンズで、C ポジションに設定されているとき

*3 ファンクションボタンにフォーカスチェックが割り当てられているときのみに

*4 シャッタースピードがオート以外のとき

インジケータランプ

インジケータランプ1の色や点灯/点滅で、カメラの状態がわかります。



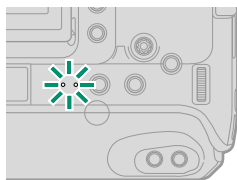
インジケータランプ1	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF警告、シャッター低速警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	電源オン時：メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
	電源オフ後：画像をスマートフォンに転送しています。*
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

* 転送予約した画像がある場合



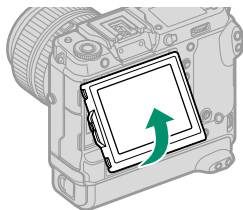
- 画面にも、警告表示が表示されます。
- ファインダーを覗いているときは、インジケータランプは点灯/点滅しません。


電源がオフの場合、バッテリー充電中はインジケータランプ2が緑色に点灯します。右側のランプは右側に入っているバッテリーの状態を表し、左側のランプは左側に入っているバッテリーの状態を表します（[図 43](#)）。



液晶モニター

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。



 液晶モニターはタッチパネルとして操作できます。タッチパネルでは以下の操作ができます。

- タッチ操作による撮影 (32)
- フォーカスエリアの変更 (31)
- タッチファンクション (34)
- 動画サイレント操作 (33)
- 再生時の 1 コマ画面操作 (35)

縦向きチルトについて

このカメラでは、縦向きにしたときも縦方向に液晶モニターをチルトできます。縦位置（ローアングル/ハイアングル）撮影に便利です。

- チルトロック解除ボタンを押して、見やすい角度に調整してください（図1）。
- 縦位置のハイアングル撮影では図のようにカメラを持ち替えると撮影しやすくなります（図2）。

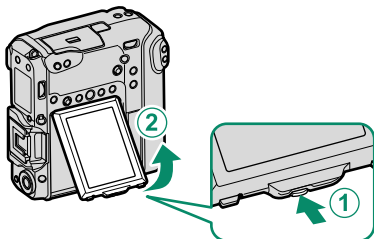


図 1

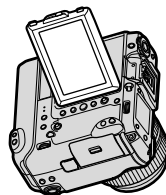
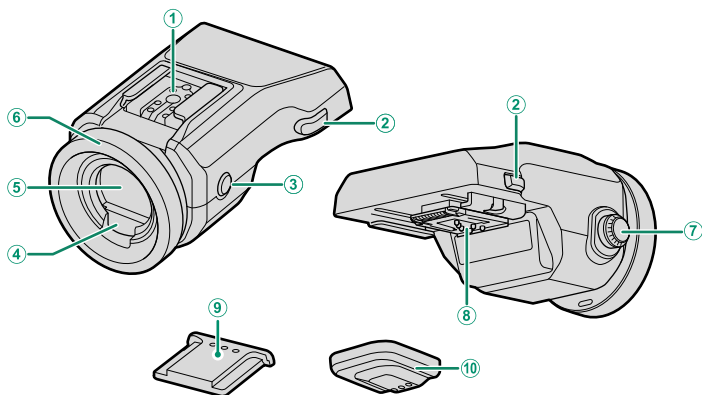


図 2

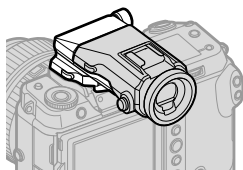
交換式ファインダーの各部名称と機能



- | | | | |
|------------------------|--------------|-------------|---------|
| ① ホットシュー |267、273 | ⑥ アイカップ |14 |
| ② EVF ロック解除ボタン |13 | ⑦ 視度調節ダイヤル |15 |
| ③ VIEW MODE ボタン |20 | ⑧ 接続端子 |13 |
| ④ アイセンサー |20 | ⑨ ホットシューカバー | |
| ⑤ ファインダー (EVF) |16、20 | ⑩ 端子カバー | |

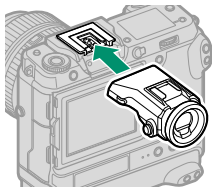
ファインダーについて

別売のEVFチルトアダプター EVF-TL1 を装着すると、ファインダーの角度を左右 ($\pm 45^\circ$)、上下 ($0^\circ \sim 90^\circ$) に変更できます (☞ 267)。



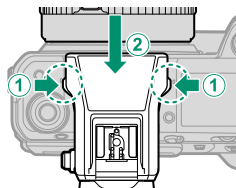
ファインダーの取り付け方

ファインダーを使用すると、被写体をしっかりとらえて撮影しやすくなります。ホットシューカバーを取り外し「カチッ」と音（感触）がするまで押し込み、カメラに取り付けます。



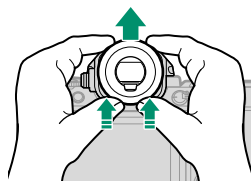
ファインダーを取り外すときは

両方の EVF ロック解除ボタンを押しながら ①、正面側を押さえて ② ファインダーを取り外します。



アイカップ

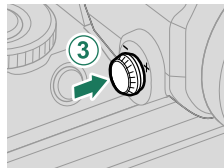
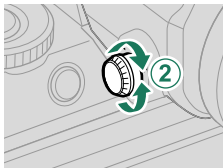
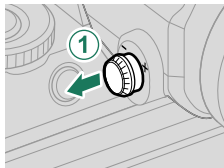
アイカップを取り外すときは、両手でアイカップの下部を押さえて、上に引き上げてください。



視度調節ダイヤル

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーを覗きながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。

- ① 視度調節ダイヤルをつまんで引き出します。
- ② ダイヤルを回して視度を調節します。
- ③ 視度調節ダイヤルを押し込んでロックします。



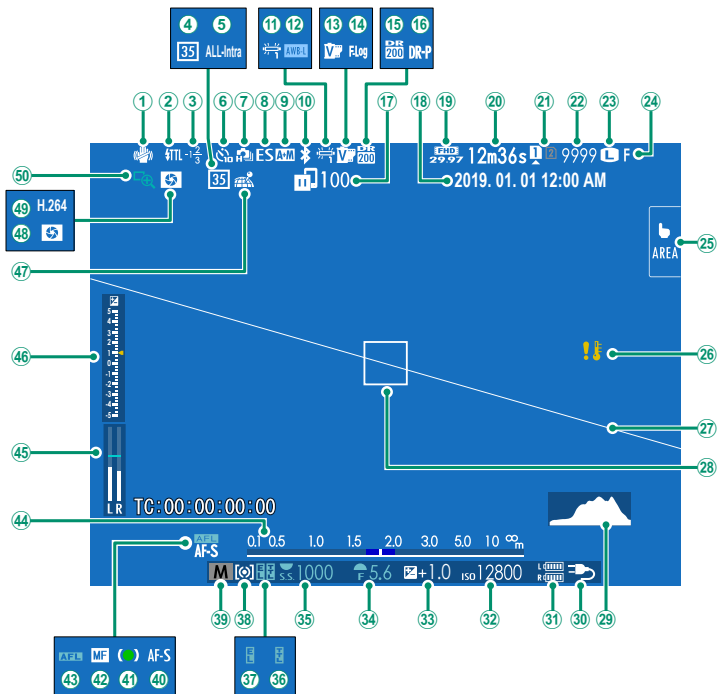
! 視度調節ダイヤルは必ず引き出してから回してください。引き出さずに回すと、故障の原因になりますのでご注意ください。

撮影時の表示画面

撮影時は、ファインダー（EVF）/液晶モニター（LCD）に次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。

EVF の表示画面



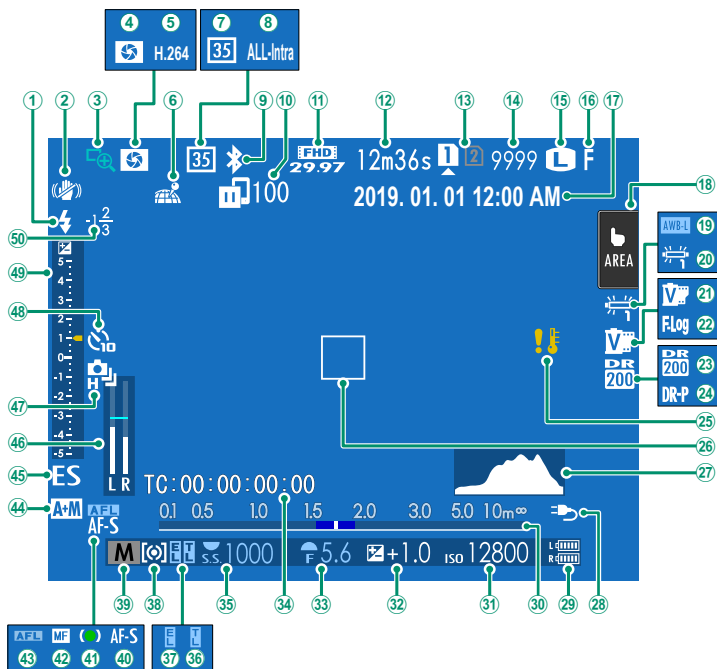
① プレ防止 ^{*2}	143	②⑥ 温度警告.....	332
② フラッシュ (TTL モード).....	273	②⑦ 電子水準器.....	25
③ 調光補正.....	273	②⑧ AF フレーム.....	82、94
④ 35 mmフォーamatモード ^①	146	②⑨ ヒストグラム.....	25
⑤ 動画圧縮方式.....	153	③⑩ 給電中.....	43
⑥ セルフタイマー.....	135	③⑪ バッテリー残量表示.....	51
⑦ 連写モード.....	99	③⑫ ISO 感度.....	90
⑧ シャッター方式.....	141	③⑬ 露出補正.....	93
⑨ AF+MF ^{*2}	128	③⑭ 絞り値.....	69、73、75
⑩ Bluetooth ON/OFF.....	240	③⑮ シャッタースピード ^①	69、70、75
⑪ ホワイトバランス.....	112	③⑯ TTL ロック.....	149、225、261
⑫ AWB ロック.....	230	③⑰ AE ロック.....	95、230
⑬ フィルムシミュレーション.....	107	③⑱ 測光モード.....	92
⑭ F-Log/HLG 撮影.....	158	③⑲ 撮影モード.....	68
⑮ ダイナミックレンジ.....	110	④① フォーカスモード ^{*2}	78
⑯ D レンジ優先.....	111	④② 合焦マーク ^{*2}	79
⑰ 画像転送状況.....	240、284	④③ マニュアルフォーカス ^{*2}	78、85
⑱ 日付・時刻.....	52、54、199	④④ AF ロック.....	95、230
⑲ 動画モード ^{*3}	62、151	④⑤ 距離指標バー ^{*2}	87
⑳ 動画撮影の残り時間 ^{*3}	63	④⑥ マイクレベル ^{*2、3}	165
㉑ カードスロット設定.....	48、237	④⑦ 露出インジケータ.....	75、93
㉒ 撮影可能枚数 ^{*1}	333	④⑧ 位置情報取得状態.....	246、284
㉓ 画像サイズ.....	104	④⑨ 被写界深度確認.....	74、87
㉔ 画質モード.....	105	④⑩ H.265(HEVC)/H.264.....	153
㉕ タッチパネルモード.....	31、132	④⑪ フォーカスチェック.....	88、129

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

*2  表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF) を ON にすると、非表示になります。

*3 動画時のみ表示されます。

LCD の表示画面



① フラッシュ (TTL モード).....	273	②⑥ AF フレーム.....	82、94
② プレ防止* ²	143	②⑦ ヒストグラム.....	25
③ フォーカスチェック.....	88、129	②⑧ 給電中.....	43
④ 被写界深度確認.....	74、87	②⑨ バッテリー残量表示.....	51
⑤ H.265(HEVC)/H.264.....	153	③⑩ 距離指標バー* ²	87
⑥ 位置情報取得状態.....	246、284	③⑪ ISO 感度.....	90
⑦ 35 mmフォーマットモード.....	146	③⑫ 露出補正.....	93
⑧ 動画圧縮方式.....	153	③⑬ 絞り値.....	69、73、75
⑨ Bluetooth ON/OFF.....	240	③⑭ タイムコード.....	167
⑩ 画像転送状況.....	240、284	③⑮ シャッタースピード*.....	69、70、75
⑪ 動画モード* ³	62、151	③⑯ TTL ロック.....	149、225、261
⑫ 動画撮影の残り時間* ³	63	③⑰ AE ロック.....	95、230
⑬ カードスロット設定.....	48、237	③⑱ 測光モード.....	92
⑭ 撮影可能枚数* ¹	333	③⑲ 撮影モード.....	68
⑮ 画像サイズ.....	104	④① フォーカスモード* ²	78
⑯ 画質モード.....	105	④② 合焦マーク* ²	79
⑰ 日付・時刻.....	52、54、199	④③ マニュアルフォーカス* ²	78、85
⑱ タッチパネルモード* ⁴	31、132	④④ AF ロック.....	95、230
⑲ AWB ロック.....	230	④⑤ AF+MF* ²	128
⑳ ホワイトバランス.....	112	④⑥ シャッター方式.....	141
㉑ フィルムシミュレーション.....	107	④⑦ マイクレベル* ^{2、3}	165
㉒ F-Log/HLG 撮影.....	158	④⑧ 連写モード.....	99
㉓ ダイナミックレンジ.....	110	④⑨ セルフタイマー.....	135
㉔ D レンジ優先.....	111	④⑩ 露出インジケータ.....	75、93
㉕ 温度警告.....	332	④⑪ 調光補正.....	273

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

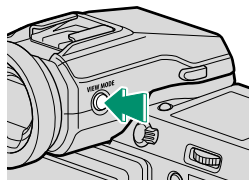
*2 **表示設定 > 情報表示拡大モード (LCD)** を ON にすると、非表示になります。




*3 動画時のみ表示されます。

*4 タッチ操作で切り替えることができます。

EVF と LCD の切り替え

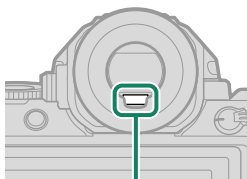
VIEW MODE ボタンを押すごとに、ファインダー（EVF）と液晶モニター（LCD）の表示が以下のように切り替わります。



設定	内容
 アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。
LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
EVF ONLY + 	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。
 アイセンサー + LCD 撮影画像表示	撮影時はファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、自動的にファインダー表示になり、撮影後に目を離すと液晶モニター表示で撮影画像を確認できます。

アイセンサーについて

- 目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。
- 液晶モニターをチルトしている時はアイセンサーが無効になります。




アイセンサー

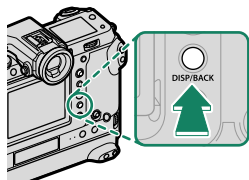
EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整

屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**表示設定 > EVF 明るさ、EVF 鮮やかさ**でファインダー (EVF) の明るさや鮮やかさを調整し、**表示設定 > LCD 明るさ、LCD 鮮やかさ**で液晶モニター (LCD) の明るさや鮮やかさを調整します。

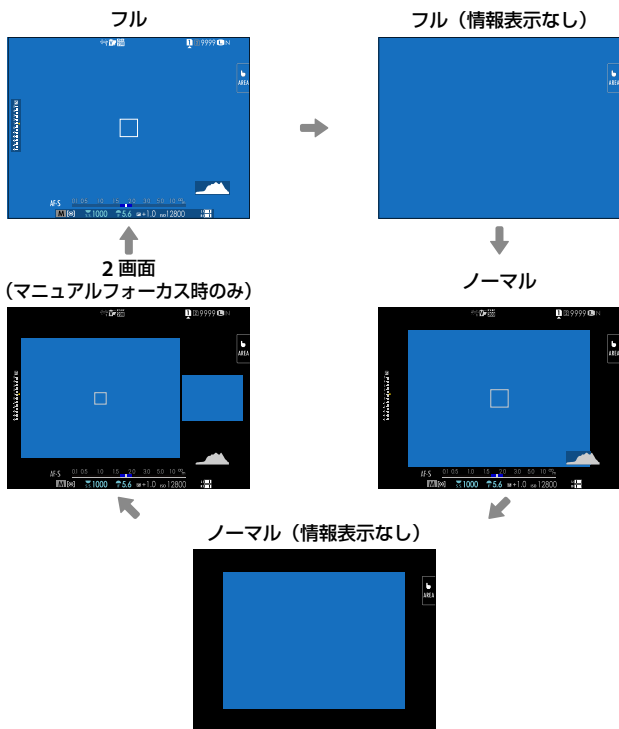
情報表示の切り替え

撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

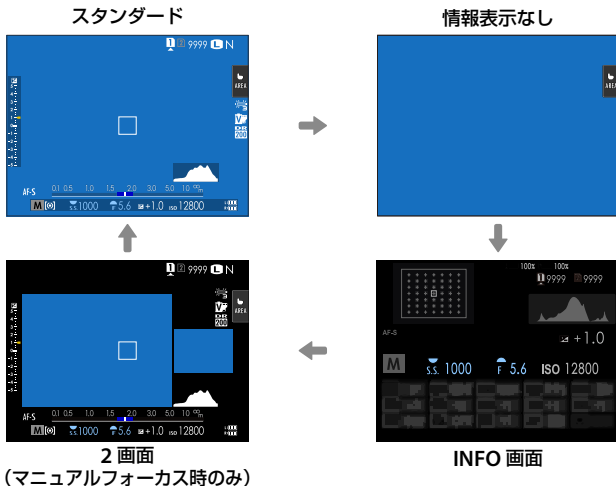
 EVF と LCD は、それぞれ個別に表示の切り替えを行ってください。EVF の表示を切り替えるときは、ファインダーを覗きながら **DISP/BACK** ボタンを押してください。



ファインダー（EVF）



液晶モニター（LCD）



2画面について

「2画面」表示では、撮影画面全体を表示する親画面（大きい画面）とピントを合わせた位置を拡大表示する子画面（小さい画面）の2画面を表示します。

「スタンダード」画面の表示について

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、**表示設定** > **画面のカスタマイズ**で選択できます。

1 DISP/BACK ボタンを押して、「スタンダード」画面に切り替えます。

2 セットアップメニューから **表示設定** > **画面のカスタマイズ**を選びます。

3 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

画面に表示する項目には、**✓** が表示されます。**✓** が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

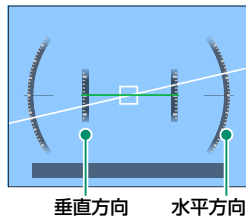
- フレーミングガイド
- 電子水準器
- AF フレーム
- AF 時の距離指標
- MF 時の距離指標
- ヒストグラム
- ライブビューハイライト警告
- 撮影モード
- 絞り / シャッター速度 / ISO
- 情報表示背景
- 露出補正表示
- 露出補正ゲージ
- フォーカスモード
- 測光
- シャッター方式
- フラッシュ
- 連写モード
- プレ防止
- タッチパネルモード
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ブーストモード
- 撮影可能枚数
- 画像サイズ & 画質モード
- 動画モード & 録画時間
- 35mm フォーマットモード
- 画像転送予約
- マイクレベル
- ガイダンスメッセージ
- バッテリー残量表示
- 画面枠

4 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。
設定が保存されます。

5 **DISP/BACK** ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。**電子水準器**を割り当てたファンクションボタンを押すと、図のような3D表示になります（ 223、259）。

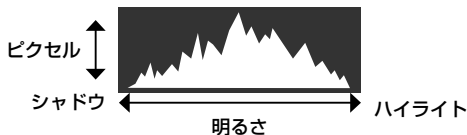


画面枠について

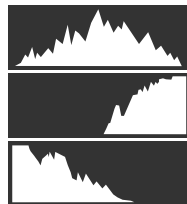
背景が黒いときなど、撮影範囲がわかりにくいときに**画面枠**をオンにすると、撮影画面内の縁に枠が表示されます。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。被写体によってグラフ形状は異なります。

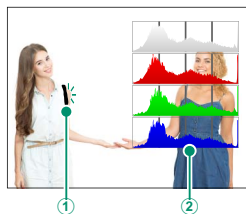


- **適正露出の場合**：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。
- **露出オーバーの場合**：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。
- **露出アンダーの場合**：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



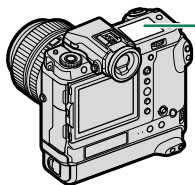
ヒストグラムを割り当てたファンクションボタンを押すと、RGBヒストグラムとライブビューハイライト警告表示（高輝度部分が点滅）になります（ 223、259）。

- ① 高輝度部分が点滅
- ② RGBヒストグラム表示

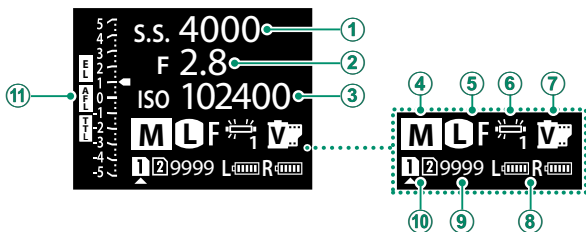


サブ液晶モニター

サブ液晶モニターでシャッタースピードや絞り値、ISO 感度などの設定を確認できます。



サブ液晶モニター



工場出荷時の設定

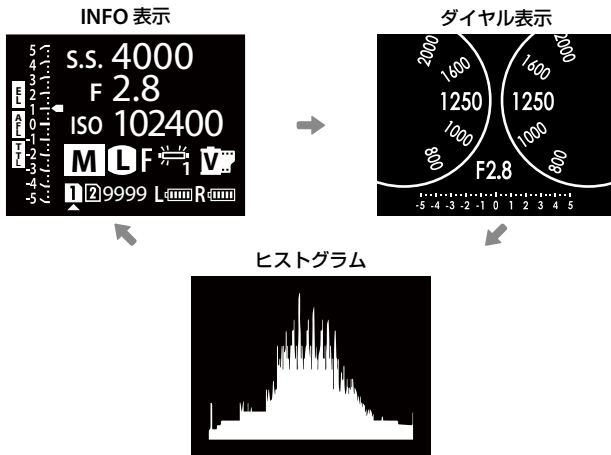
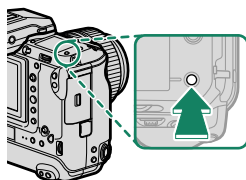
① シャッター速度	⑦ フィルムシミュレーション
② 絞り	⑧ バッテリー残量表示
③ ISO	⑨ 撮影枚数
④ 撮影モード	⑩ カードスロット設定
⑤ 画像サイズ & 画質モード	⑪ <input checked="" type="checkbox"/> ゲージ
⑥ ホワイトバランス	



表示する項目は 表示設定 > サブ液晶モニター設定で変更できます。

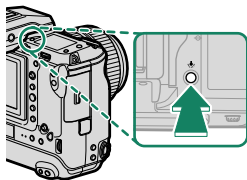
サブ液晶モニターの表示の切り替え

サブ液晶モニター切替ボタンを押すごとに、表示が切り替わります。



サブ液晶モニター照明ボタン

サブ液晶モニターが見えづらいときなどは、サブ液晶モニター照明ボタンを押すと、サブ液晶モニターの照明が点灯します。もう一度押すと、照明が消灯します。

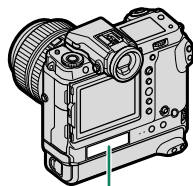


サブ液晶モニター背景色について

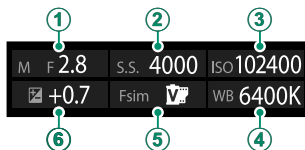
表示設定 > サブ液晶モニター背景色でサブ液晶モニターの背景色を黒（黒背景）または白（白背景）に設定できます。サブ液晶モニターの照明が点灯している間は、常に白背景の表示になります。

リアサブモニター

リアサブモニターで露出補正ゲージやヒストグラムなどの情報を確認できます。



リアサブモニター



工場出荷時の設定

① 絞り	④ ホワイトバランス
② シャッター速度	⑤ フィルムシミュレーション
③ ISO	⑥ 露出補正表示



- リアサブモニターは **表示設定 > リアサブモニター設定** で表示する項目を設定したり、オフにしたりできます。
- アイセンサーが有効のときは、ファインダーに目を近づけるとリアサブモニターがオフになります。

メニューの使い方

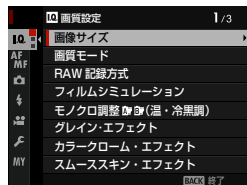
MENU/OK ボタンを押すと、メニューが表示されます。



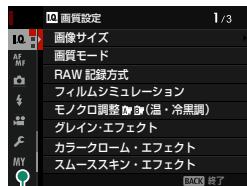
撮影時	再生時

使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。

- 1 MENU/OK ボタンを押して、メニューを表示します。



- 2 フォーカスレバーを左に動かしてタブ選択に移ります。



タブ

- 3 フォーカスレバーで使用する項目のメニュータブ (IQ/AF/MF/☺/📷/📷/📷/📷/📷/📷) を選びます。

- 4 フォーカスレバーを右に動かしてメニューに戻ります。



メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り替え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

タッチ操作について

このカメラでは、液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。

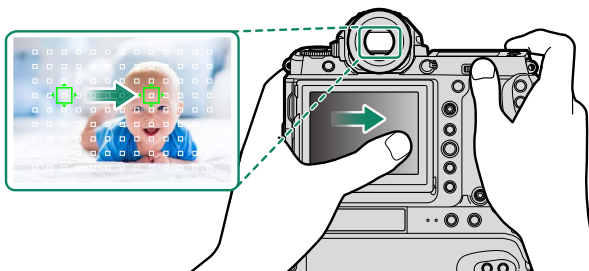
撮影時のタッチ操作について

タッチパネルを使用するときは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定**を ON にします。



EVF 使用時のタッチ操作

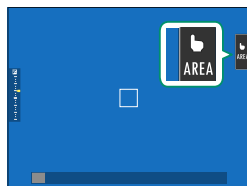
ファインダー（EVF）を使用しているときに液晶パネル（LCD）をタッチパネルとして使用して、フォーカスエリアを変更できます。**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > EVF タッチパネル有効範囲**で動作範囲を設定できます。








AF フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定が顔検出 ON で **顔** 顔セレクト ※ **AF** がオンのときは、タッチ操作でピントを合わせる顔を選べます。


LCD 使用時のタッチ操作

タッチ操作でピントを合わせたり、フォーカスエリアを変更したりすることができます。撮影画面のタッチパネルモードアイコンをタッチするごとに、タッチ操作を変更できます。



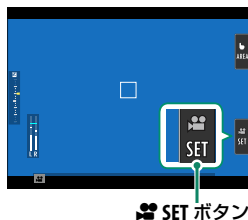
タッチパネルモード	意味
 AF	<ul style="list-style-type: none">フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タッチした場所にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。フォーカスモードが M (MF) のときは、ワンプッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。
 AF OFF	
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 OFF	タッチによるフォーカス切り替え、ピント合わせを行いません。

 ピント位置拡大中は、タッチパネルの動作が異なります (134)。

-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定**が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
- フォーカス設定 > タッチパネルモード**でもタッチ操作を切り替えることができます。動画撮影時のタッチ操作については、「動画撮影時のタッチ操作 (タッチパネルモード： 133)」をご覧ください。

動画サイレント操作

撮影メニューの **動画設定** > **動画サイレント操作** を **ON** にすると、液晶モニターに **SET** ボタンが表示されます。**SET** ボタンを押すと、タッチ操作で次の撮影時の設定を変えられます。動画撮影中にカメラの操作音を記録したくないときに便利です。

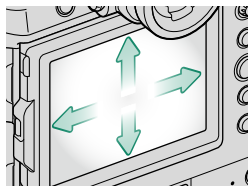


- シャッタースピード*
- 絞り*
- 露出補正
- 感度
- 内蔵マイクレベル設定 / 外部マイクレベル設定
- 風音低減
- ヘッドホン音量
- フィルム シミュレーション
- ホワイトバランス

* **動画サイレント操作** が **ON** のときは、ダイヤル操作は無効になります。

タッチファンクション

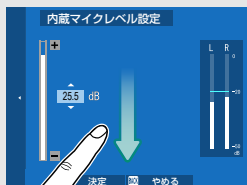
このカメラでは、画面を左右上下にフリックすることで、ファンクションボタンと同様に機能呼び出すことができます（[図 256](#)）。



- **T-Fn1**（画面を上フリック）
- **T-Fn2**（画面を左フリック）
- **T-Fn3**（画面を右フリック）
- **T-Fn4**（画面を下フリック）



- 割り当てた機能によっては、設定画面を表示後、項目の設定をタッチ操作で行えます。



- タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。タッチファンクションを使用する場合は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > Tfn タッチファンクションを ON にしてください。**

再生時のタッチ操作について

☑ 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > ▶ タッチパネル設定が ON のときは、1 コマ再生時に以下のタッチ操作ができます。

スワイプ	ダブルタップ
 <p>画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。</p>	 <p>画面を2回タッチすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。</p>
マルチタッチ (ピンチアウト)	ドラッグ
 <p>画面上に2本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。</p>	 <p>拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。</p>
マルチタッチ (ピンチイン)	
 <p>画面上に2本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、画像を縮小表示できます。</p> <p> 元の表示画像より縮小した画像は表示できません。</p>	

縦位置撮影

縦位置ボタンや縦位置コマンドダイヤル、縦位置フォーカスレバーを使うと、カメラを縦向きにして撮影するときの操作性が向上します。



横向き



縦向き



- 縦位置ボタンや縦位置コマンドダイヤル、縦位置フォーカスレバーを使うには、縦位置キーロックレバーを **LOCK** から ● に設定します。横向きで撮影する場合は **LOCK** に設定すると、縦位置撮影用のボタンなどをロックして誤操作を防止できます。
- 縦位置コマンドダイヤルの機能は横向きのコマンドダイヤルと同じです。

縦表示について

カメラを縦向きで撮影するときは、**表示設定 > 縦横自動回転表示**を **ON** にすると、ファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の情報表示が縦向きになります。

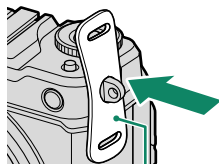
撮影の準備

2

ストラップを取り付ける

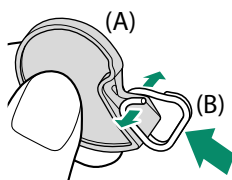
カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

- 1 ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、カメラに取り付けます。

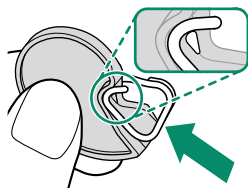


ストラップリングカバー

- 2 ストラップリング取り付け補助具 (A) を使ってストラップリング (B) の切りこみを広げます。



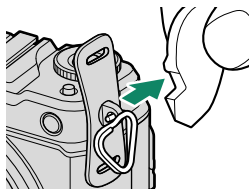
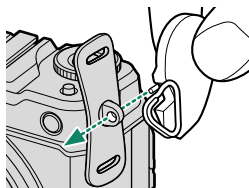
- 3 ストラップリングがストラップリング取り付け補助具の形状に収まる（突起に引っかかる）までしっかり押し込みます。



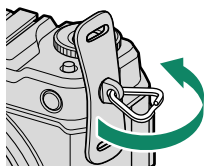
- 4** ストラップリングの切りこみをストラップ取り付け部に引っ掛けて、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。



ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。



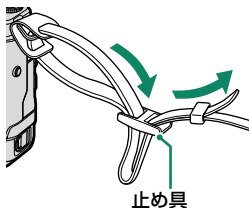
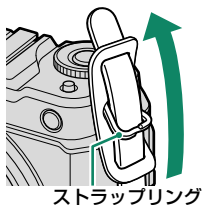
- 5** ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。



- 6** ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通し、ストラップを止め具に通します。



ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

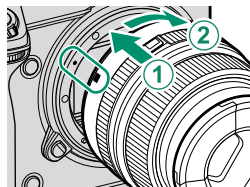


反対側も同様の手順を繰り返して取り付けます。

レンズを取り付ける

このカメラでは、富士フィルム製のFUJIFILM Gマウント対応のレンズが使用できます。

カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外してカメラとレンズの指標に合わせて①、レンズを回し②カメラにレンズを取り付けます。

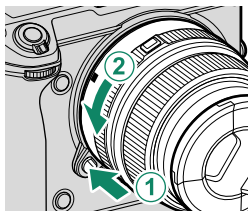


- ① レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。
- カメラ内部には触れないでください。
- 「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズの取り外し方

カメラの電源をオフにしてからレンズ取り外しボタンを押して①、矢印の方向にレンズを回してください②。

- ① レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けてください。



別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フィルム製のFUJIFILM Gマウント対応のアクセサリーが使用できます。

- ① レンズを取り付けたり取り外したりするとき（レンズ交換）は、以下のことにご注意ください。
- ゴミやほこりの付着に注意してください。
- 直射日光など強い光源が当たらないところで行ってください。光源がカメラ内部に入り込むと、カメラ内部で焦点を結んで故障の原因になります。
- レンズキャップを取り付けて行ってください。
- レンズの使い方については、レンズの説明書をご覧ください。

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。

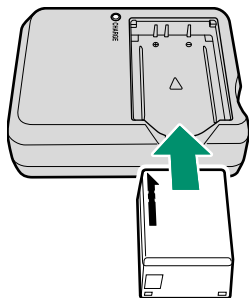
- ❗ このカメラに付属されているバッテリーは NP-T125 です。
- 充電時間は約 140 分です。

1 バッテリーチャージャーにプラグアダプターを取り付けます。

- ❗ プラグアダプターは、国・地域によって付属されているアダプターが異なります。別紙のお知らせをご確認のうえ、適切なアダプターをご使用ください。

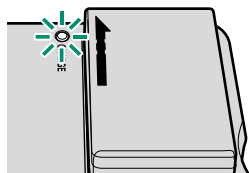
2 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

指標（矢印）の方向を確認し、端子同士が向き合うように取り付けてください。



3 電源プラグを屋内のコンセントに差し込みます。

充電ランプが点灯して、充電を開始します。



4 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

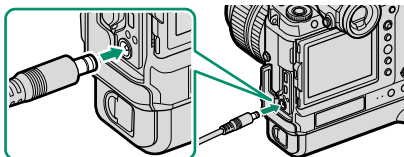


充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください。
	フル充電 (充電終了)	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。

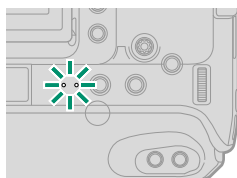
- 付属の充電器は 100 ~ 240V まで対応しており、海外でもご使用いただけます（変換プラグアダプターが必要な場合があります）。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前(1~2日前)には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。




AC パワーアダプターで充電する

カメラにバッテリーを入れた状態で別売の AC パワーアダプター AC-15V を AC 電源に接続すると、バッテリーを充電できます。充電時間は約 120 分です。



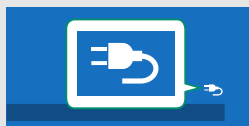
カメラの電源をオン（再生モード）にしているときは画面のアイコンで、オフにしているときはインジケータランプ 2 でバッテリーの充電状態を示します。左側のランプがバッテリー L を、右側のランプがバッテリー R を示します。



電源オン時のアイコン	電源オフ時のインジケータランプ 2	バッテリーの状態
 (黄点灯)	点灯	充電中
 (緑点灯)	消灯	充電完了
 (赤点灯)	点滅	バッテリー異常

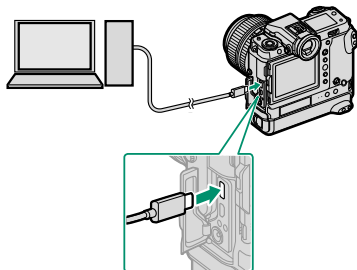
! 充電中にカメラの電源をオンにすると、電源がオフのときよりも充電時間が長くなることがあります。

🔌 AC-15V から給電しているときは、画面に給電中アイコンが表示されます。



パソコンやモバイルバッテリーに接続してバッテリーを充電する

カメラにバッテリーを入れた状態でパソコンやモバイルバッテリーに接続すると、バッテリーを充電できます。カメラの電源はオフにして、USB ケーブルでパソコンと接続してください。



USB 端子 (Type-C)

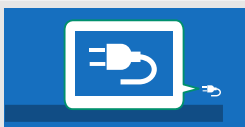
- インジケータランプ 2 でバッテリーの充電状態を示します。

インジケータランプ 2	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	バッテリー異常

- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続し直してください。
- パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- 対応するモバイルバッテリーについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。

! 充電中にカメラの電源をオンにすると充電は中断され、バッテリーは少しずつ消費されます。

🔌 USB ケーブルから給電しているときは、画面に給電中アイコンが表示されます。

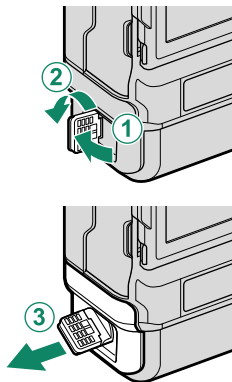


バッテリーを入れる

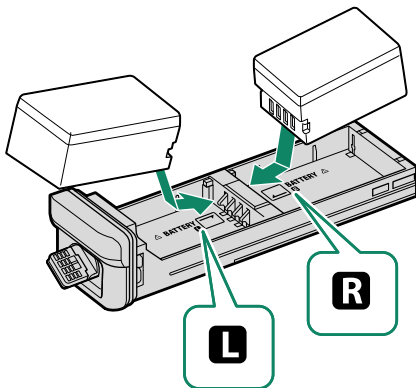
バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーを入れます。

- 1 バッテリートレイロックレバーを回して、バッテリートレイを取り出します。

- ❗ カメラの電源がオンになっているときは、バッテリートレイを取り出さないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリートレイに無理な力を加えないでください。

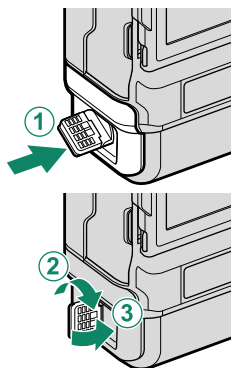


- 2 バッテリーを図のように入れます。



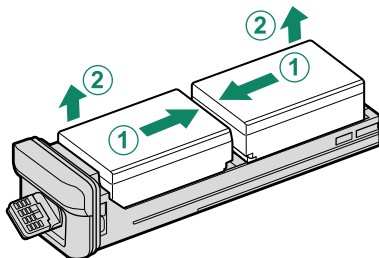
- ❗ バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

- 3 バッテリートレイを押し込みながら、バッテリートレイロックレバーを元に戻します。



バッテリーを取り出すときは


カメラの電源をオフにしてからバッテリートレイロックレバーを回して、バッテリートレイを取り出してください。バッテリーを図のように取り出してください。



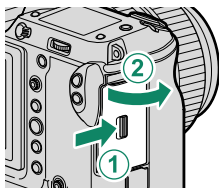
- ⚠ 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

メモリーカードを入れる

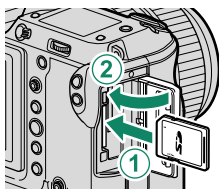
撮影した画像は、市販のメモリーカードに記録します。


 このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。


- 1** メモリーカードスロットカバーロックをスライドさせて、メモリーカードスロットカバーを開けます。




- 2** メモリーカードを入れ、メモリーカードスロットカバーを閉めます。



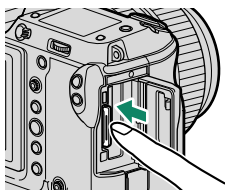
- 3** メモリーカードをフォーマット（初期化）します（ 198）。

 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使ったメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。

-  ・カメラの電源がオンになっているときは、メモリーカードスロットカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- ・メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
 - ・「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからメモリーカードスロットカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を放すと、ロックが外れて取り出せます。



- ① メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押ししてください。
- メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

2枚のメモリーカードを使用する場合

このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。静止画のメモリーカードへの記録方法は、

保存設定 > カードスロット設定 (静止画記録) で変更できます。

設定	説明	画面表示
順次記録 (工場出荷時設定)	スロット1のメモリーカードの空きがなくなったら、スロット2のメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。 保存設定 > スロット選択 (順次記録時) で最初に記録するカードをスロット2に設定しているときは、スロット2のメモリーカードの空きがなくなったらスロット1のメモリーカードに切り替わります。	
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。	
RAW/JPEG 分割記録	スロット1のメモリーカードにはRAW画像を、スロット2のメモリーカードにはJPEG画像をそれぞれ保存します。この設定は 画質設定 > 画質モード が、 SUPER FINE+RAW 、 FINE+RAW 、 NORMAL+RAW のときのみ有効です。	

動画の記録先スロットは、**保存設定 > スロット選択 (順次記録時)** で変更できます。

使用可能なメモリーカード

- このカメラは、SD/SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。また、バスインターフェースは UHS-I/UHS-II に対応しています。
- 高速連写撮影をするときは、UHS-II のメモリーカードをおすすめします。
- ビットレート 400Mbps の動画を撮影するときは、ビデオスピードクラス V60 以上のメモリーカードをご使用ください。ビットレート 400Mbps 以外の動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 またはビデオスピードクラス V30 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。

! ● メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

- メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。

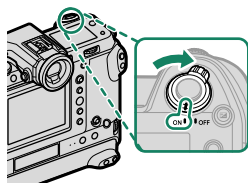


- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



! レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

- ▶** 撮影中に **▶** (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
 - 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
 - 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。
- 消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛りでバッテリー残量を表します。



- 挿入されているバッテリー残量のみ表示されます。
- フル充電のバッテリーを2本使用したときは、次の順序でバッテリー容量が空になります。
 - ① バッテリー L (左)
 - ② バッテリー R (右)

表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 80%です。
	バッテリーの残量は約 60%です。
	バッテリーの残量は約 40%です。
	バッテリーの残量は約 20%です。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

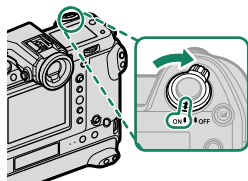
ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。また、このカメラでは、初期設定でスマートフォンとカメラをペアリングすることで、日時の自動設定やスマートフォンへの画像送信が簡単にできるようになります。以下の手順で初期設定を行ってください。

 ペアリングを行う場合は、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールして、起動しておいてください。「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

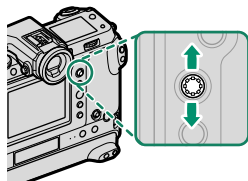
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



2 言語を設定します。

フォーカスレバーで使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



3 スマートフォンとペアリングを行います。


MENU/OK ボタンを押して、「FUJIFILM Camera Remote」の**ペアリング登録**を押します。



 ペアリングを行わない場合は、**DISP/BACK** ボタンを押して、設定をスキップしてください。

4 ペアリングが完了すると、時刻の確認画面が表示されます。

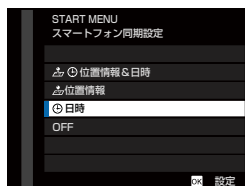
表示されている時刻を確認します。

 **DISP/BACK** ボタンを押すと、手動で時刻を設定できます (54)。




5 カメラの設定情報をスマートフォンと同期します。

 **接続設定 > Bluetooth 設定** で後から設定することもできます。



6 MENU/OK ボタンを押します。

確認した時刻がカメラに設定され、撮影画面が表示されます。



 バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

設定のスキップ

スキップした設定は、次にカメラを起動したときに再度、設定画面を表示させるかどうかを選べます。次回起動時に設定画面を表示させたくない場合は確認画面で**表示しない**を選んでください。


言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** >  **言語/LANG.** を選びます。
- 2 言語を設定します。
フォーカスレバーで使用する言語を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。
設定した言語表示になります。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 日時を設定します。
フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。
日時が設定されます。

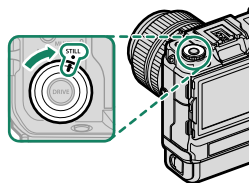
基本的な撮影と再生

3

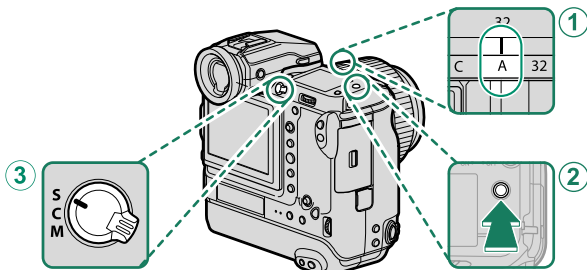
プログラムで静止画を撮影する

ここでは、プログラム（P）モードによる撮影の基本的な流れを説明します。その他のモードの撮影方法は「P、S、A、Mで撮影する」をご覧ください（[目録 68](#)）。

- 1 ドライブモードダイヤルを **STILL** に設定します。



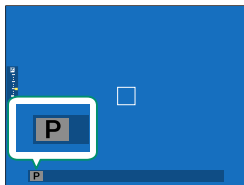
- 2 カメラの設定をプログラム（P）撮影の設定にします。



	設定	
① 絞り設定	A（オート）	68
② シャッタースピード	オート	68
③ フォーカスモード	S（AF-S）	78

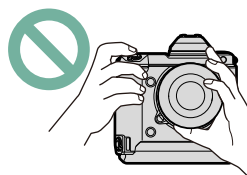
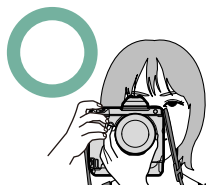
撮影モードが割り当てられているボタン（工場出荷時は **Fn2** ボタン）を押すと、シャッタースピードをオートと任意（自分で設定）で切り替えることができます。また、使用するボタンは変更できます（[目録 259](#)）。

- 3 撮影画面に P が表示されていることを確認します。



- 4 カメラを構えます。

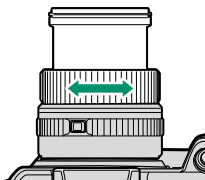
- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



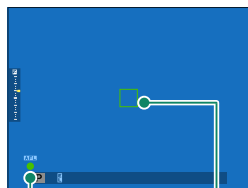
- 5 構図を決めます。

ズームリングがあるレンズを使用している場合

ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。



- 6 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントと露出を合わせます。



合焦マーク
フォーカスフレーム

- **ピントが合うと**、ピピッと音が鳴り、フォーカスフレームが緑色に点灯し、合焦マークが緑色に点灯します。
- **ピントが合わないときは**、フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF**が画面に表示され、合焦マークが白色に点滅します。



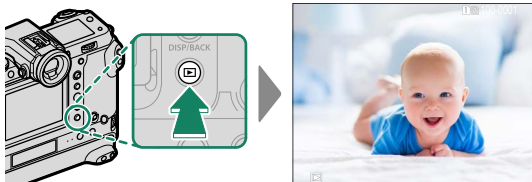
- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

- 7 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。


▶ 静止画を再生する

撮影した画像を再生します。

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。




1つ前の画像を見るにはフォーカスレバーを左に動かします。次の画像を見るにはフォーカスレバーを右に動かします。フォーカスレバーを動かしたままにすると、早送りします。


- ▶ フロントコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- ▶ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに （プレゼントアイコン）が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりする場合があります。


再生するメモリーカードについて

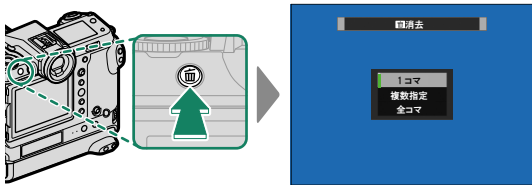
▶ ボタンを長押しすると、再生するメモリーカードを切り替えることができます。
▶ **再生メニュー** > **スロット切り替え**からも再生するメモリーカードの切り替えができます。

画像を消去する

1 コマ再生時に  ボタンを押すと、画像を消去できます。


 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1 コマ再生中に  ボタンを押して、1 コマを選びます。



2 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

-  プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (📖 184)。
- **再生メニュー** > 消去でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は **再生メニュー** > 消去をご覧ください (📖 180)。

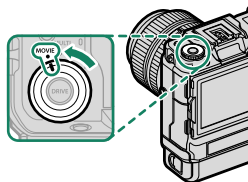
4 動画の撮影と再生



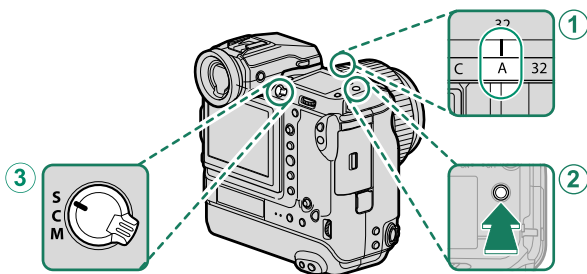
動画を撮影する

ここでは、オートモードの動画を撮影する流れを説明します。

- 1** ドライブモードダイヤルを **MOVIE** に設定します。



- 2** カメラの設定をプログラム (P) 撮影の設定にします。



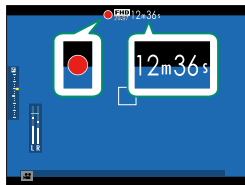
	設定	
① 絞り設定	A (オート)	68
② シャッタースピード	オート	68
③ フォーカスモード	S (AF-S)	78

撮影モードが割り当てられているボタン(工場出荷時は **Fn2** ボタン)を押すと、シャッタースピードをオートと任意(自分で設定)で切り替えることができます。また、使用するボタンは変更できます(頁 259)。

3 シャッターボタンを全押しします。

動画撮影が開始されます。

- 撮影中は、●が表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）が表示されます。



4 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ❗ 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。
- 📷 動画の記録中は背面のインジケータランプ1が点灯します。
- ズームリングがあるレンズを使用している場合は、動画撮影中でもズームリングでズーム操作が行えます。
- 絞りリングの設定（AまたはA以外）は、動画撮影前に行ってください。絞りリングがA以外のときは、動画撮影中もシャッタースピードや絞り値の設定を変更できます。
- 動画撮影中に露出補正を変更できますが、補正段数は±2の範囲内となります。
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。

動画の設定について


- 撮影メニューの **動画設定** > **動画モード** で動画サイズ、フレームレートなどを変更できます。
- 動画の記録先スロットは、**保存設定** > **スロット選択** (🔊 順次記録時) で変更できます。
- 動画撮影時のピント合わせの方法はフォーカスモード切換レバーで設定します。フォーカスモードを **S** にしても、**動画設定** > **顔検出 / 瞳 AF 設定** が **顔検出 ON** のときは、自動的に **C** (コンティニュアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、**顔検出 ON** にしても顔検出は行われません。

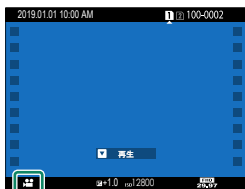
背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。絞りを **A** 以外に設定し、絞り値を調整します。

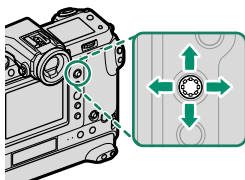
▶ 動画を再生する

撮影した動画をカメラで再生します。

画像の再生時に動画を選択すると、が表示されます。1コマ再生時に動画を選択してからフォーカスレバーを下に動かすと、動画を再生できます。

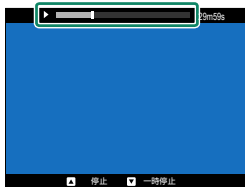



動画再生時の操作は、フォーカスレバーで行います。




	1コマ再生中	▶ 再生中	⏸ 一時停止中
上	—	停止	
下	再生	一時停止	再生
左右	前後の画像に移動	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。

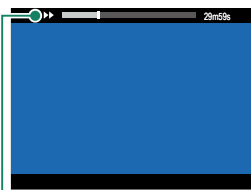


 スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。

 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定 > 再生音量**でも設定できます。

動画の再生速度について

フォーカスレバーの左右で、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの▶(◀)の数で表示されます。▶(◀)の数が多いほど速度が速くなります。



再生アイコン

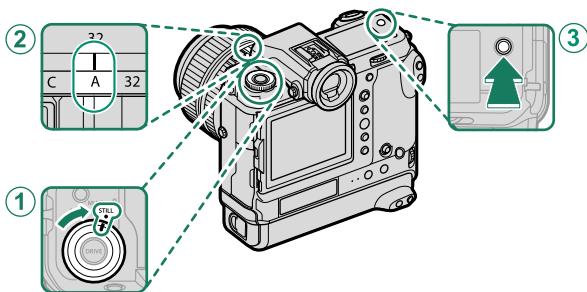
5 撮影に関する設定

P、S、A、Mで撮影する

シャッタースピードと絞り値の設定を変更してP、S、A、Mで撮影します。

プログラム (P) 撮影

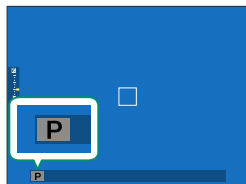
カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。



設定

①	ドライブモードダイヤル	STILL
②	絞り設定	A (オート)
③	シャッタースピード	オート

表示画面に **P** が表示されます。

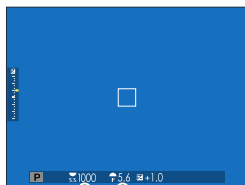


! 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。

📄 撮影モードが割り当てられているボタン (工場出荷時は **Fn2** ボタン) を押すと、シャッタースピードをオートと任意 (自分で設定) で切り替えることができます。また、使用するボタンは変更できます (📖 259)。

プログラムシフトの設定

リアコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせをすることができます。



絞り値
シャッタースピード



次のとき、プログラムシフトは使用できません。

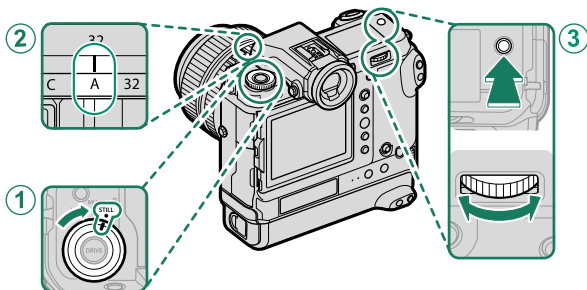
- TTL 自動調光機能付き外部フラッシュを使用しているとき
- **画質設定 > ダイナミックレンジが AUTO のとき**
- 動画を撮影しているとき



電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

シャッタースピード優先 (S) 撮影

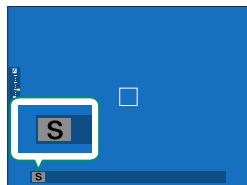
設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。



設定


①	ドライブモードダイヤル	STILL
②	絞り設定	A (オート)
③	シャッタースピード	任意 (自分で設定)

表示画面に **S** が表示されます。



- ❗ 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「—」と表示されます。

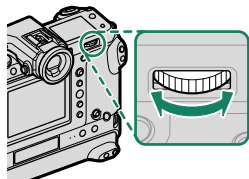


- シャッターボタンを半押ししている間もシャッタースピードを変更できます。
- **撮影モード**が割り当てられているボタン（工場出荷時は **Fn2** ボタン）を押すと、シャッタースピードをオートと**任意**（自分で設定）で切り替えることができます。また、使用するボタンは変更できます（ 259）。
- **撮影モード**が割り当てられているボタンを長押しすると、シャッタースピードをロックします。もう一度長押しすると解除します。
- シャッタースピードを1秒以上に設定したときは、撮影中にカウントダウンで残りの露光時間が表示されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**長秒時ノイズ低減**を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 長時間露光撮影中にカメラが動くとピントがずれるので、三脚のご使用をおすすめします。

バルブ撮影 (B)

シャッタースピードを **B** に設定すると、バルブ撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

1 シャッタースピードを **B** に合わせます。



2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。

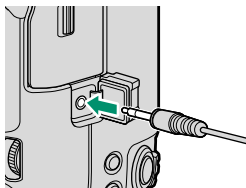
- シャッターが開くのは、最大 60 分間です。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。



- 絞りを **A** (オート) に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

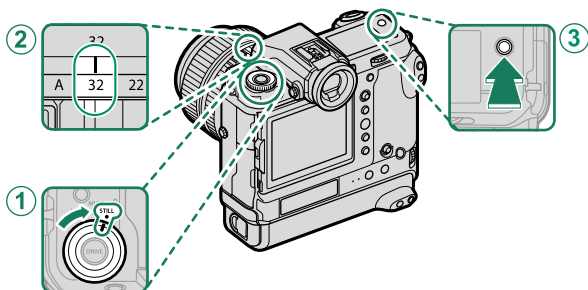
リモートリリースを使用する

長時間露光撮影時には、リモートリリースが便利です。リモートリリース端子に、別売のリモートリリース RR-100 や市販の電子式リモートリリースを取り付けます。



絞り優先 (A) 撮影

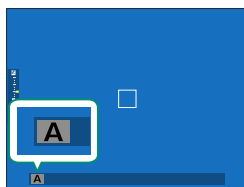
設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。



設定

①	ドライブモードダイヤル	STILL
②	絞り設定	任意 (自分で設定)
③	シャッタースピード	オート


表示画面に **A** が表示されます。

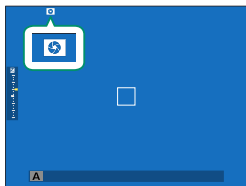


- ❗ 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「—」と表示されます。

- 📷 シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。
- 撮影モードが割り当てられているボタン (工場出荷時は **Fn2** ボタン) を押し、シャッタースピードをオートと任意 (自分で設定) で切り替えることができます。また、使用するボタンは変更できます (📖 259)。

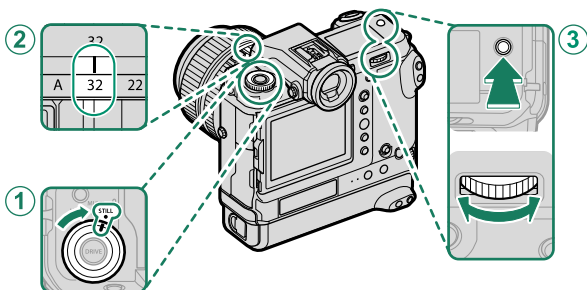
被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに**被写界深度確認**を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、が表示され、そのときの絞り値の被写界深度がスルー画で確認できます。



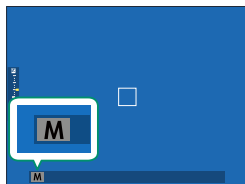
マニュアル (M) 撮影


マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値を撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。



設定	
①	ドライブモードダイヤル STILL
②	絞り設定 任意 (自分で設定)
③	シャッタースピード 任意 (自分で設定)

表示画面に **M** が表示されます。



- 
 撮影モードが割り当てられているボタン（工場出荷時は **Fn2** ボタン）を押すと、シャッタースピードをオートと任意（自分で設定）で切り替えることができます。また、使用するボタンは変更できます（[P.259](#)）。
- 撮影モードが割り当てられているボタンを長押しすると、シャッタースピードをロックします。もう一度長押しすると解除します。

露出設定プレビューについて

表示設定 > マニュアル時モニター露出 / WB 反映が OFF 以外のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。

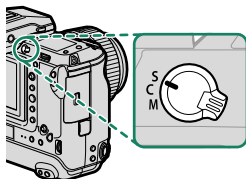


フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、マニュアル時モニター露出 / WB 反映を OFF にしてください。

オートフォーカス撮影

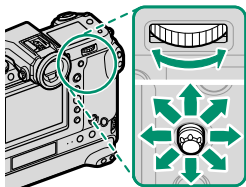
ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。

- 1 フォーカスモード切換レバーを S または C に設定します (88)。



- 2 AF モードを選びます (80)。

- 3 フォーカスエリアの位置やサイズを変更します (82)。

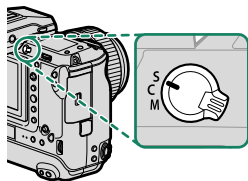


- 4 撮影します。

 AF システムについては、以下のサイトも併せてご覧ください。
<http://fujifilm-x.com/af/ja/index.html>

フォーカスモード

フォーカスモードは、フォーカスモード切換レバーで設定します。



フォーカスモードの種類

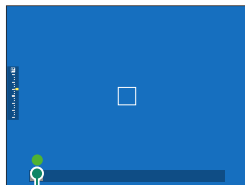
フォーカスモード	内容
S (AF-S)	シングル AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
C (AF-C)	コンティニユアス AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
M (マニュアルフォーカス)	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します (85)。

- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。
- フォーカスモードが **S** または **C** のときは、**フォーカス設定 > プリ AF** を **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。

合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。

合焦マーク	状況
()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	S のときにピントが合って固定されています。
(●) (緑点灯)	C のときにピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
MF	M のときに表示されます。



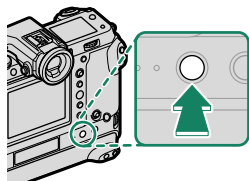
合焦マーク

AFモードの選択

オートフォーカスモード（フォーカスモードが**S**または**C**のとき）とAFモードの組み合わせでさまざまな撮影シーンに応じたフォーカスエリアを選択できます。

AFモードの設定方法

- 1 ファンクションボタン（工場出荷時は**Fn5** ボタン）を押して、AFモードの設定画面を表示します。

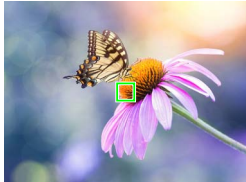

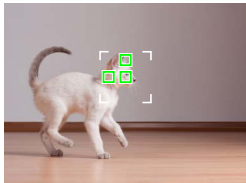








- 2 設定する AF モードを選びます。

- **Fn5** ボタンは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で他の機能を割り当てることができます。また使用するファンクションボタンは変更できます（[p.259](#)）。
- **フォーカス設定 > AFモード**でも AFモードを設定できます。

AFモードの種類

- フォーカスモードが**S (AF-S)**のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	被写体を1点のスポットで捉えるモードで、基本的なAFモードです。フォーカスエリア選択で設定した1点のフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	シングルポイントでは捉えにくい、やや動きのある被写体やスナップなどに向くモードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	

設定	用途例	作例
 ワイド	画面内にあるコントラストが高い被写体に自動でピントを合わせるモードです。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (82、83)、  シングルポイント、  ゾーン、  ワイドの順でフォーカスエリアを選択できます。	


● フォーカスモードが C (AF-C) のとき


設定	用途例	作例
 シングルポイント	前後直線的な動きをスポットで捉えるモードです。フォーカスエリア選択で設定したピンポイントのフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	ある程度予測可能な動きに向けた AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンの中央で捉えた被写体に、常にピントを合わせ続けます。	
 トラッキング	画面内を広く動く被写体に向くモードです。被写体の移動に合わせて全フォーカスエリア内をカメラが自動で追尾します。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (82、83)、  シングルポイント、  ゾーン、  トラッキングの順でフォーカスエリアを選択できます。	

フォーカスエリアの変更

フォーカスモードが**S**または**C**のときのフォーカスエリアを変更できます。

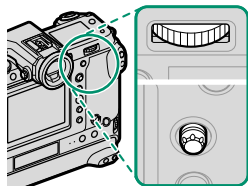
フォーカスエリアの変更方法








- 1** MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
- 2**  フォーカス設定 > フォーカスエリア選択を選び、フォーカスエリア選択画面を表示します。
- 3** フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルでフォーカスエリアを変更します。



 タッチ操作によるフォーカスエリアの変更は「撮影時のタッチ操作について」をご覧ください (p.31)。

フォーカスエリアの操作

フォーカスエリアの移動はフォーカスレバーで、サイズ変更はリアコマンドダイヤルでそれぞれ操作します。**AFモード**の設定によって操作が異なります。




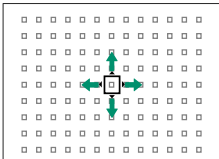
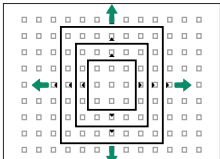
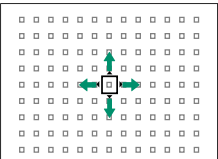
AFモード	フォーカスレバー		リアコマンドダイヤル	
				
	移動した方向にフォーカスエリアが移動	フォーカスエリアが中央に戻る	サイズ変更 (6段階)	100%に戻る
			サイズ変更 (3段階)	
			なし	

  **ワイド/トラッキング**のフォーカスエリアは、フォーカスモードが**C**のときのみ有効です。

フォーカスエリアの選択画面

フォーカスエリアの選択画面は AF モードの設定によって異なります。

 小さな四角 (□) ひとつがフォーカスエリアポイントで、枠で囲んだエリアがフォーカスエリアです。

□	□□	□□□
		
<p>■ フォーカス設定 > フォーカス点数切り替えで フォーカスエリアポイント の点数を 117 と 425 から 選べます。</p>	<p>117 のフォーカスエリア ポイントを 3×3、5×5、 7×7 の範囲で選べます。</p>	<p>トラッキングしたい被写体 の位置にフォーカスエリア を移動できます。</p>

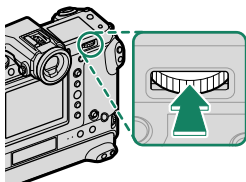
オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前にある被写体など）

拡大表示してピントを確認する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。



通常表示



拡大表示

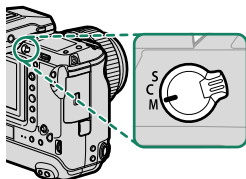


- フォーカスモードが **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。
- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- フォーカスモードが **S** のときは、**AFモード**を シングルポイントに設定してください。
- フォーカスモードが **C** または フォーカス設定 > プリ AF が **ON** のときは、拡大表示できません。
- リアコマンドダイヤルの中央押しは、 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で他の機能を割り当てることができます。また拡大表示の機能を他のボタンに割り当てすることもできます (259)。

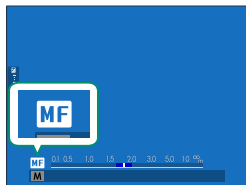
マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **M** に設定します。

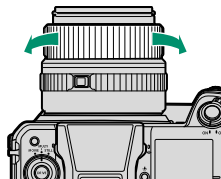


画面に **MF** が表示されます。



- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。


フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



- 3 撮影します。

- フォーカスリングを回す方向は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスリング**で設定できます。
- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。

マニュアルフォーカス時の AF ロック機能について

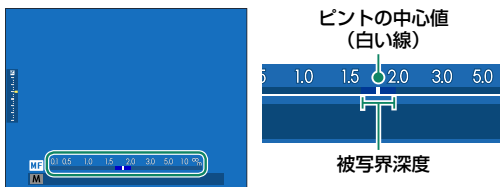
- AFロックまたは**AF-ON**が割り当てられているファンクションボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリアコマンドダイヤルで変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。
-  **フォーカス設定 > ワンプッシュ AF 時の動作**で、AFロックを割り当てたファンクションボタンの動作を変更できます。**AF-S**（シングル AF）のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合わせます。**AF-C**（コンティニュアス AF）のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。


ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定 > 距離指標の単位**でメートルとフィートを切り替えられます。



- 
 距離指標を表示するには、以下の設定が必要です。
 - **表示設定 > 画面のカスタマイズ**で「AF時の距離指標」「MF時の距離指標」に を入れる。
 - **DISP/BACK** ボタンを押して、**スタンダード**（情報表示あり）画面に切り替える。
- 被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を **フォーカス設定 > 被写界深度スケール**で設定できます。**フィルム基準**はプリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にし、**ピクセル基準**はパソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。

拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

フォーカス設定 > **フォーカスチェック**を **ON** にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。



- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- **フォーカス設定** > **MFアシスト**の設定が**フォーカスピーキング**または**スタンダード**のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。**デジタルスプリットイメージ**または**デジタルマイクロプリズム**を設定しているときは、倍率変更できません。

画面に表示された画像で確認する

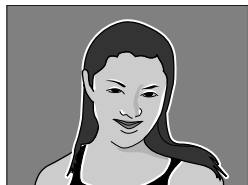
ピントの確認方法を **フォーカス設定** > **MFアシスト**で選べます。



リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、**MFアシスト**の設定を切り替えることができます。

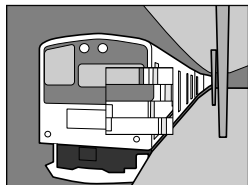
● フォーカスピーキング

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



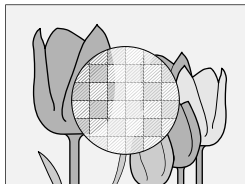
● デジタルスプリットイメージ

画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整してください。



- **デジタルマイクロプリズム**

ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。



ISO 感度を変更

光に対する ISO 感度を変更できます。

☑ 撮影設定 > 感度で ISO 感度を設定します。

設定	説明
AUTO1 AUTO2 AUTO3	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。 AUTO1、AUTO2、AUTO3 にそれぞれ異なった 基準 ISO 感度、上限 ISO 感度、低速シャッター限界 を設定できます (91)。
12800 ~ 100	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
H (102400) H (51200) H (25600) L (50)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。

- ISO 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。
- ☑ **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定**で、フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで ISO 感度を変更できるようにすることができます。

ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

AUTO 設定について

AUTO1、AUTO2、AUTO3 を選ぶと、それぞれ異なった値の**基準 ISO 感度**、**上限 ISO 感度**、**低速シャッター限界**を設定できます。

設定	設定値	工場出荷時の設定値		
		AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	12800 ~ 100	100		
上限 ISO 感度	12800 ~ 200	800	1600	3200
低速シャッター限界	1/500 ~ 1/4 秒、AUTO	1/60 秒		

基準 ISO 感度と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。



- 上限 ISO 感度よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- **基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。








測光モードを変更

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

撮影設定 > 測光で使用する測光モードを設定します。



測光モードを変更するときは、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定**をOFFにしてください。

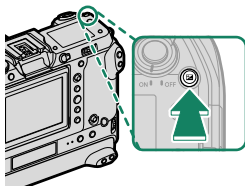
設定	説明
 (マルチ)	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  (マルチ) をおすすめします。
 (中央部重点)	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
 (スポット)	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときに使用します。
 (アベレージ)	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。



露出補正




画像の明るさを調整できます。

 (露出補正) ボタンを押しながらリアコマンドダイヤルを回して、露出を補正します。



モードによって補正段数が制限されることがあります。

(露出補正) ボタンについて

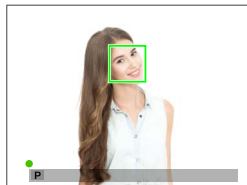
-  操作ボタン・ダイヤル設定 > 露出補正ボタン設定が押下切替のときは、 (露出補正) ボタンを押してからリアコマンドダイヤルで露出を補正し、もう1度ボタンを押して露出補正を終了します。
-  操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で、露出補正を割り当てるボタンを変更できます。

AE/AF ロック撮影



シャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが固定されます。

1 AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。
被写体に露出が合い、AF フレームが緑点灯します。



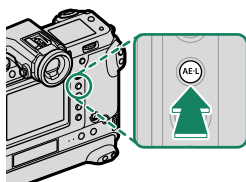
3 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

 シャッターボタンによる AE/AF ロック撮影を行う場合は、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AF、半押し AE** を ON にしておく必要があります。

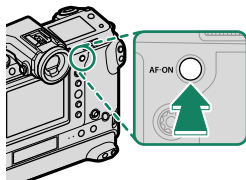
ボタンによる AE/AF ロック

AE-L ボタンを使用すると、AEロックのみを行えます（工場出荷時の設定）。**AF-ON** ボタンに**AF LOCK**のみを割り当てた場合（[図](#) 223、256）、**AF-ON** ボタンを使用すると、AFロックのみを行えます。

- ファンクションボタンでAEロック/AFロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > AE/AF-LOCK 設定**を押下切替にすると、ファンクションボタンを放してもAEロックやAFロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。



AE-L ボタン (AE ロック)



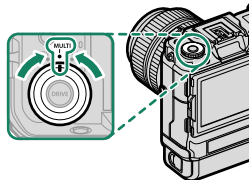
AF-ON ボタン

ファンクションボタンには **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で他の機能を割り当てることができます。また使用するファンクションボタンは変更できます（[図](#) 259）。

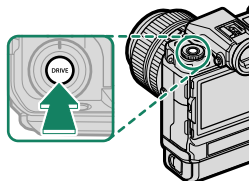
BKT ブラケットング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケットング撮影ができます。

- 1 ドライブモードダイヤルを **MULTI** に設定します。




- 2 ドライブボタンを押してドライブモード選択画面を表示させます。



- 3 フォーカスレバーで使用したいブラケットングを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 4 撮影します。

AE ブラケットिंग

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」に変えながら選んだ撮影コマ数分連続撮影します。 **撮影設定 > AE ブラケットिंग設定**で1コマ/連続撮影やステップ幅、撮影順序などを設定できます。




アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した**ステップ数**で撮影されません。

ISO ブラケットिंग

撮影した1枚の画像から、設定したISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。変化させるISO感度はドライブモード選択画面で $\pm 1/3$ 、 $\pm 2/3$ 、 ± 1 から選べます。

フィルムシミュレーション BKT


撮影した1枚の画像から、それぞれ設定したフィルムシミュレーションの設定に変化させて3枚の画像を作成します。変化させるそれぞれのフィルムシミュレーションの設定は  **撮影設定 > フィルムシミュレーション BKT** で設定します。

WB ホワイトバランス BKT


一度シャッターボタンを押すと、「センター（ノーマル）」、「ブルー（プラス）」、「アンバー（マイナス）」の3枚の画像を作成します。設定したホワイトバランスから**±1**、**±2**、**±3**ステップの幅をドライブモード選択画面で設定できます。

DR ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3枚連続で撮影します。

 ISO感度を固定値に設定しているときは自動的にISO400以上になります。ダイナミックレンジブラケティングを解除すると、ISO感度は元の設定に戻ります。

FOCUS フォーカス BKT

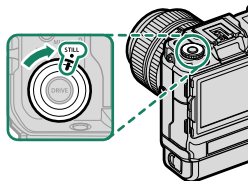
一度シャッターボタンを押すと、設定に応じてピントを変えながら連続で撮影されます。 **撮影設定** > **フォーカス BKT** で撮影コマ数やステップ幅、撮影間隔を設定できます。



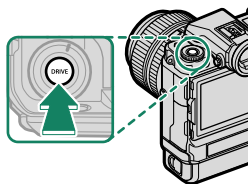
連続撮影（連写）

シャッターボタンを押し続けている間、各連写設定に応じたコマ数で連続撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

- 1 ドライブモードダイヤルを **STILL** に設定します。



- 2 ドライブボタンを押してドライブモード選択画面を表示させます。




- 3 **CL 低速連写**または **CH 高速連写**を選び、シャッターボタンを押すと連続撮影します。


シャッターボタンを放すか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。



- 連写中にファイル No. が 9999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
- 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- 撮影条件によっては、連写速度が低下したり、フラッシュが発光しなかったりする場合があります。
- 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。

露出について

露出を自動で変えながら撮影したいときは、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE** を **OFF** にしてください。

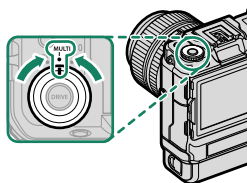
 絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、露出の自動調整が有効にならない場合があります。

多重露出撮影

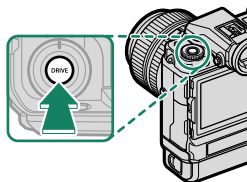
2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します。




- 1 ドライブモードダイヤルを **MULTI** に設定します。



- 2 ドライブボタンを押してドライブモード選択画面を表示させます。



- 3  多重露出を選びます。

- 4 1枚目の画像を撮影します。

5 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚目の撮影画面になります。



- 1 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- **DISP/BACK** ボタンを押すと、1 枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。



6 2 枚目の画像を撮影します。

1 枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら 2 枚目の画像の位置を調整してください。



7 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚の画像を合成した画像が保存されます。



- 2 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。



! PC 撮影時に多重露出撮影はできません (📖 244)。

撮影メニュー


6

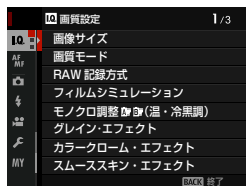
撮影メニュー（画質設定）

撮影時の画質に関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、

IQ（画質設定）タブを選びます。


 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値			
L 4:3	(11648 × 8736)	L 65:24	(11648 × 4304)
L 3:2	(11648 × 7768)	L 5:4	(10928 × 8736)
L 16:9	(11648 × 6552)	L 7:6	(10192 × 8736)
L 1:1	(8736 × 8736)		
M 4:3	(8256 × 6192)	M 65:24	(8256 × 3048)
M 3:2	(8256 × 5504)	M 5:4	(7744 × 6192)
M 16:9	(8256 × 4640)	M 7:6	(7232 × 6192)
M 1:1	(6192 × 6192)		
S 4:3	(4000 × 3000)	S 65:24	(4000 × 1480)
S 3:2	(4000 × 2664)	S 5:4	(3744 × 3000)
S 16:9	(4000 × 2248)	S 7:6	(3504 × 3000)
S 1:1	(2992 × 2992)		

 **画像サイズ**は、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り替えても保持されます。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
SUPER FINE	圧縮率が低い最高画質のモードです。
FINE	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。
SUPER FINE+RAW	SUPER FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する

画質モードで **SUPER FINE**、**FINE**、**NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます（☞ 259）。再度ファンクションボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

設定されている画質モード	ファンクションボタン（RAW を割り当て済み）を押した場合
SUPER FINE	SUPER FINE+RAW
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
SUPER FINE+RAW	SUPER FINE
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

RAW 記録方式


RAW 画像の記録方式を設定できます。

記録方式

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します。「Capture One Express Fujifilm」(298) や、「RAW FILE CONVERTER EX」(298)、「FUJIFILM X RAW STUDIO」(299) などロスレス圧縮 RAW の現像に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落させずに現像できます。 非圧縮に比べてファイルサイズが小さくなります。












出力

設定	説明
16 bit	16 ビットの RAW 画像を出力します。
14 bit	14 ビットの RAW 画像を出力します。


 **16 bit** はドライブモードが **1 コマ撮影** のときのみ有効です。

フィルムシミュレーション



撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
 Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
 ASTIA/ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
 クラシッククローム	発色を抑えて暗部のコントラストを高めます。落ち着いた表現に適しています。
 PRO Neg. Hi	 PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めにしてあります。屋外でのポートレートに適しています。
 PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適しています。
 ETERNA/シネマ	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンで動画の撮影に適しています。
 ACROS*	質感が豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに Ye 、 R 、 G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 モノクロ*	モノトーンの表現を活かしたモノクロです。さらに Ye 、 R 、 G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 セピア	ウォーム調の色合いで温かみのある雰囲気表現に適しています。

* 選んだフィルターの補色の色が濃くなります。**Ye** フィルターは青から紫系が濃くなり、**R** フィルターは青から緑系が深くなります。**G** フィルターは赤系、肌色系が深くなるので人物撮影などに適しています。

-  フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（[250](#)）。
- フィルムシミュレーションについては、以下のサイトも併せてご覧ください。
<http://fujifilm-x.com/ja/x-stories/the-world-of-film-simulation-episode-1/>

モノクロ調整 (温・冷黒調)

フィルムシミュレーションの  ACROS または  モノクロで撮影したモノクロ画像の色調を赤みがかかった温かみのある温黒調（ウォームトーン）や、青みがかかった冷たさを感じる冷黒調（クールトーン）に調整できます。

設定	説明
+9 ~ +1	「+」側に設定するほど、温黒調の効果を強くします。
0	通常のモノクロ（純黒調）になります。
-1 ~ -9	「-」側に設定するほど、冷黒調の効果を強くします。

グレイン・エフェクト

画像にザラっとした粒状の質感を加えます。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

カラークローム・エフェクト

カラー被写体の陰影を強調します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

スムーズスキン・エフェクト

人物の肌をなめらかに補正します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定	おすすめ用途
AUTO (自動調整)	☺100 100% 曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。
	☺200 200% ⇕
☺400 400%	コントラストの強いシーンでの、白とびを抑えます。



ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。



- ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、☺100 100% または ☺200 200% で自動調整され、シャッターボタンを半押しすると絞りとシャッタースピードが表示されます。
- ☺200 200 % は ISO 感度が ISO 200 以上 ISO 12800 以下、☺400 400 % は ISO 400 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。

D レンジ優先

明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。








設定	説明
AUTO	明暗差に応じて、自動的に階調を補正します。
強	階調補正を強くします。明暗差の大きいシーンに適しています。
弱	階調補正を弱くします。明暗差のやや大きいシーンに適しています。
OFF	階調補正を行いません。





- **弱**はISO感度がISO 200以上ISO 12800以下、**強**はISO 400以上ISO 12800以下のときに設定できます。
- **Dレンジ優先**が**OFF**以外に設定されている場合、**ハイライトトーン**、**シャドウトーン**、**ダイナミックレンジ**は自動的に設定されるため、変更することができなくなります。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。


設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
$\Omega_1/\Omega_2/\Omega_3$	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
K	色温度を設定します。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

-  人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO**の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/ 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (p.250)。

WB シフト


ホワイトバランスを選んだあとに、**MENU/OK** ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。



-  ホワイトバランスを選んだあとに、**DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。
- フォーカスレバーによる斜め移動はできません。


カスタムホワイトバランス

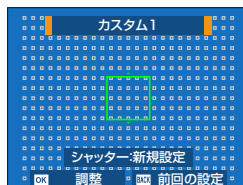
カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。


1 ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス（ $\Omega_1/\Omega_2/\Omega_3$ ）を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面内に表示します。

-  **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。
- カスタムホワイトバランスを取得するエリアのサイズや位置を変更することもできます。



3 シャッターボタンを全押しして設定します。

-  前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。


4 「GOOD!」と表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。
- 「OVER」と表示されたときは -（マイナス）側に露出補正してから、再度測定してください。
- 「UNDER」と表示されたときは +（プラス）側に露出補正してから、再度測定してください。



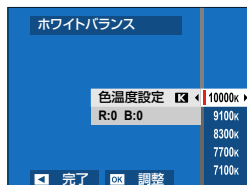
K 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。


1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度の一覧が表示されます。



2 フォーカスレバーで色温度を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

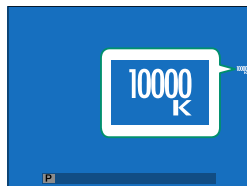
WB シフト画面が表示されます。

 シフト量を調整しないときは、色温度を選んだあとに **DISP/BACK** ボタンを押してください。

3 フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

色温度が設定されます。設定した色温度が画面に表示されます。



色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

ノイズリダクション

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、ノイズリダクションの強弱を調整できます。高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

設定値	
ON	OFF

点像復元処理

ON にすると、レンズごとの焦点距離、絞り値、画面中心から周辺までのデータを高精度に処理することで、絞り込み時の回折ボケやレンズ周辺部のわずかなボケを補正します。画像のすみずみまで高いシャープネスやリアルな立体感が得られます。

設定値	
ON	OFF

色空間

画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。


ピクセルマッピング

撮影画像の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。

1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**画質設定** タブを選びます。

2 **ピクセルマッピング** を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、**ピクセルマッピング** を実行します。

-  ・実行しても、思うように軽減されないことがあります。
 ・十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
 ・カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
 ・処理には数秒程度かかることがあります。

カスタム選択

カスタム登録 / 編集 で保存した **カスタム 1 ~ 7** の設定を呼び出します。

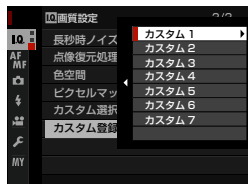
設定値			
カスタム 1	カスタム 2	カスタム 3	カスタム 4
カスタム 5	カスタム 6	カスタム 7	

カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせ保存できます。保存した設定は、**画質設定 > カスタム選択**で呼び出せます。

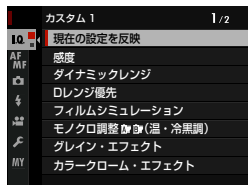
1 撮影メニューから **画質設定 > カスタム登録 / 編集**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 設定を保存したい場所を**カスタム1～7**から選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

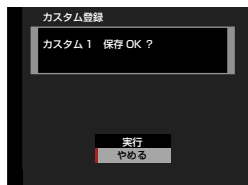


3 カスタムに保存できる項目は、個別に設定を変更できます。保存できる項目は次のとおりです。

- ・感度
- ・ダイナミックレンジ
- ・D レンジ優先
- ・フィルムシミュレーション
- ・モノクロ調整 **AF B7**
(温・冷黒調)
- ・グレイン・エフェクト
- ・カラークローム・エフェクト
- ・スムーズスキン・エフェクト
- ・ホワイトバランス
- ・ハイライトトーン
- ・シャドウトーン
- ・カラー
- ・シャープネス
- ・ノイズリダクション



4 **DISP/BACK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、設定が保存されます。




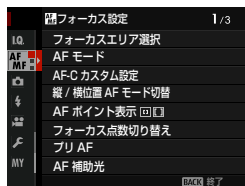
- ・現在の設定を反映を選択して **MENU/OK** ボタンを押すと、現在の設定が**カスタム1～7**に上書きされます。
- ・リセットを選択すると、登録されている設定がリセットされます。
- ・カスタム名編集を選択すると、**カスタム1～7**の名前を変更できます。

撮影メニュー（フォーカス設定）

撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**AF/MF**（フォーカス設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。












フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

AF モード

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します。

設定	用途例
 シングル ポイント	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。  フォーカス設定 > フォーカス点数切り替え でフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。被写体をピンポイントで撮影するときに便利です。
 ゾーン	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。動く被写体を撮影するときに便利です。
 ワイド/ トラッキング	<ul style="list-style-type: none">• フォーカスモードが S のとき (ワイド) : シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。• フォーカスモードが C のとき (トラッキング) : フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。 <p>小さい被写体や高速で動く被写体の場合は、オートフォーカスが合わないことがあります。</p>
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと ( 82、83)、  シングルポイント 、  ゾーン 、  ワイド/トラッキング の順でフォーカスエリアを選択できます。

AF-C カスタム設定

フォーカスモードを **C** に設定したときのピントの追従性を設定します。シーンに応じた **SET 1 ~ 5** を選びます。**SET 6 カスタム** で設定値を任意で設定することもできます。



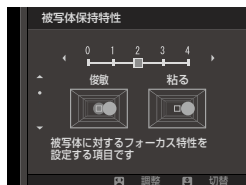
設定	説明
SET 1 汎用性の高い 基本的な設定	動きのある被写体全般に適応する標準的な設定です。
SET 2 障害物があるとき や、フレームアウト しやすいとき	ロックしている被写体にピントを合わせ続けようとします。被写体がフォーカスエリアから外れてしまったり、被写体以外がフォーカスエリアに入ってしまうシーンに適しています。
SET 3 急加速 / 急減速する 被写体向け	急激な加速や減速に反応してピントを合わせようとします。被写体の速度変化が大きいシーンに適しています。
SET 4 急に現れる 被写体向け	フォーカスエリア内に入ってきたものに対して即座にピントを合わせようとします。急に現れる被写体や被写体を切り替えながら撮影する場合に適しています。
SET 5 前後左右に激しく 動く被写体向け	被写体の速度変化が大きく、さらに上下左右にも動いてフォーカスエリアから外れやすいシーンに適しています。
SET 6 カスタム	被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性をお好みで設定できます。 SET 1 ~ 5 で設定されている設定値を参考にして各特性を設定してください (122、124)。

各設定の特性について

それぞれの設定は、**被写体保持特性**、**速度変化特性**、**ゾーンエリア特性**の設定値で構成されています。

被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。設定値が大きいほどピントを合わせようとしている被写体を長く捉えようとします。



設定値

0

1

2

3

4

- ❗ 数値が大きいほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

速度変化特性

被写体が速度変化した場合の被写体位置の予測度合いを決める特性です。数値が大きいほど急速な動きに反応し、ピント精度を上げようとします。



設定値

0

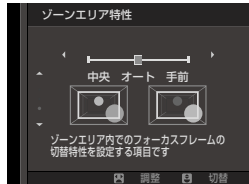
1

2

- ❗ 数値が大きいほど、光の反射やコントラストがない被写体などの AF が苦手な被写体ではピントが不安定になる場合があります。

ゾーンエリア特性

ゾーン AF エリア内のどのエリアを優先してピントを決めるかを定める特性です。



設定	説明
手前	常に手前のエリアを優先してピントを選びます。
オート	初回 AF ではゾーン中央付近の被写体にピントを合わせ（ロック）、そのあとはロックした被写体が含まれるエリアを自動で選びます。
中央	常に中央のエリアを優先してピントを選びます。

ⓘ ゾーンエリア特性は AF モードに  ゾーンを選んでいるときのみ有効です。

SET 1～5 の特性について


SET 1～5 の特性の各設定値は以下のように設定されています。

AF-C カスタム設定	被写体保持特性	速度変化特性	ゾーンエリア特性
SET 1	2	0	オート
SET 2	3	0	中央
SET 3	2	2	オート
SET 4	0	1	手前
SET 5	3	2	オート

SET 6 カスタムの設定手順

- 1 AF-C カスタム設定の SET 6 カスタムを選びます。




- 2 被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性の設定値を設定します。フォーカスレバーで設定する項目を選び、フロントコマンドダイヤルで設定値を変更します。設定画面で  ボタンを押すと、設定をリセットします。
- 3 DISP/BACK ボタンで設定を決定します。

縦 / 横位置 AF モード切替

カメラを横向きで撮影するときと、縦向きで撮影するときのフォーカスエリアポイントの位置を別々に設定できます。

設定	説明
OFF	横向きと縦向きを同じ位置に設定します。
フォーカスエリアのみ	フォーカスエリアの位置のみ別々に設定します。
ON	縦向きと横向きをそれぞれ別々に設定します。

AF ポイント表示

 フォーカス設定 > AF モードがゾーンまたはワイド / トラッキングのときのフォーカスエリアポイント枠を表示するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

フォーカス点数切り替え

AFモードがシングルポイントのときやマニュアルフォーカス時（フォーカスモードがMのとき）のフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。

設定	説明
117点 (9 × 13)	117点(9 × 13)のフォーカスエリアポイントから選べます。
425点 (17 × 25)	425点 (17 × 25) のフォーカスエリアポイントから選べます。

プリ AF

ONにすると、シャッターボタンを半押ししていないときもAFサーチを実行します。常にAFサーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときに有効です。


設定値	
ON	OFF

 ONにすると、バッテリーの消耗が早くなります。

AF 補助光

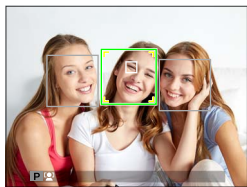
ONにすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF補助光が発光します。AF補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定値	
ON	OFF

-  ・シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- ・被写体に近づいた撮影では、AF補助光の効果が十分に得られない場合があります。
 - ・人の目に近づけて発光させないでください。

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。また、**瞳 AF** で、左右どちらの目にピントを合わせるかを選べます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。



設定	説明
顔検出 ON	顔検出を使用します。さらに瞳 AF の動作を選べます。 <ul style="list-style-type: none">● 瞳 AF OFF : 顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。● 瞳 AF AUTO : 顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。● R 瞳 AF 右目優先 : 顔を検出したときに右目にピントを合わせます。● L 瞳 AF 左目優先 : 顔を検出したときに左目にピントを合わせます。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。



- 顔を検出すると顔の上に緑色の枠が表示されます。カメラが複数の顔を検出した場合は、その他の顔の上にグレーの枠が表示されます。グレーの枠の顔をタッチして、ピントを合わせる顔を変更できます。ピントを合わせる顔を変更すると、 が白から緑色に変わります。
- 顔セレクト** を割り当てたファンクションボタンを押すと、フォーカスレバーやEVF使用時のタッチパネル操作で変更することもできます（[図 225](#)）。
- フォーカスレバーの中央を押すと、ピントを合わせる位置を顔からフォーカスエリアに変更することができます。もう一度押すとピントを合わせる位置は顔に戻ります。
- ピントを合わせた顔が撮影画面から外れると、顔が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、顔以外の場所に緑色の枠が残ることがあります。
- 連写中はピントを合わせる顔は変更できません。
- 撮影条件によっては連写後に選択した顔が解除されることがあります。
- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせるできない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（[図 250](#)）。

AF+MF

ON に設定すると、フォーカスモードが **S** 時に AF ロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）でフォーカスリングを回すと AF ロックが解除され、マニュアルフォーカスで撮影できます。

設定値

ON

OFF




- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスモードを **S**、レンズ側を距離指標モード（MF）に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。
- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください（フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります）。



MFアシストでスタンダードまたはフォーカスピーキングを選んでいる場合は、選んだ MF アシストでピントの確認ができます。


AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

 フォーカス設定 > フォーカスチェックを **ON** にすると、**AF** モードがシングルポイントのときにエリア選択位置でフォーカス位置を拡大表示できます。拡大倍率はリアコマンドダイヤルを回して切り替えます。

MF アシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します。


設定	説明
スタンダード	通常表示です（デジタルスプリットイメージ/デジタルマイクロプリズム/フォーカスピーキング機能を使用しません）。
デジタルスプリットイメージ	画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整できます。スプリットイメージは モノクロ 、 カラー のいずれかを選べます。
デジタルマイクロプリズム	ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。

 リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、**MF アシスト**の設定を切り替えることができます。

フォーカスチェック

ON にすると、マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF

-  リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。
- 拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

測光 & フォーカスエリア連動

ON にすると、測光がスポットで AF モードがシングルポイントのときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定値	
ON	OFF

ワンプッシュ AF 時の動作

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）の AF ロックまたは **AF-ON** を割り当てたファンクションボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
AF-S	ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

被写界深度スケール

被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を変更できます。

設定	説明
ピクセル基準	パソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。
フィルム基準	プリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にします。

レリーズ優先 / フォーカス優先





シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときのそれぞれを個別に設定できます。

設定	説明
レリーズ	ピントが合っていないなくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。




タッチパネルモード



液晶画面（LCD）のタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

静止画撮影時のタッチ操作

タッチパネルモード	意味
 AF	<ul style="list-style-type: none">フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タッチした場所にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。フォーカスモードが M (MF) のときは、ワンプッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。
 AF OFF	
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 OFF	タッチによるフォーカス切り替え、ピント合わせを行いません。

動画撮影時のタッチ操作

タッチパネルモード	意味
 AF	<p>ピントを合わせたいところの画面をタッチして、ピント合わせを行います。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所でピントを合わせ直します。 フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。 フォーカスモードが M (MF) のときは、ワンプッシュ AF の動作を行い、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアを移動させます。
 エリア選択	<p>フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。ピント合わせをする場合は、AF-ON を割り当てたボタンを押してください。 フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。 フォーカスモードが M (MF) のときは、タッチした場所にフォーカスエリアを移動させます。
 OFF	<p>タッチによるフォーカス切り替え、ピント合わせを行いません。</p>

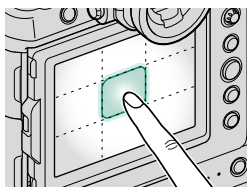
 **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  タッチパネル設定が OFF のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。**

ピント位置拡大中のタッチパネルの動作

ピント位置拡大中（フォーカスチェックがオンのとき）は、タッチパネルの動作が異なります。

■ 画面の中央をタッチしたときの動作

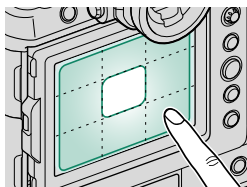
画面の中央をタッチしたときは、以下のように動作します。



タッチパネルモード	静止画時	動画時
AF	AF-S : AF	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF	MF : ワンプッシュ AF
エリア選択	AF-S : AF	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF	MF : ワンプッシュ AF
OFF	AF-S/MF : OFF	AF-S/MF : OFF

■ 画面の中央以外の場所をタッチしたときの動作

タッチパネルモードや静止画 / 動画撮影の状態に関わらず、シングルタッチすると常に拡大表示する位置が移動するだけで、他の動作は行いません。

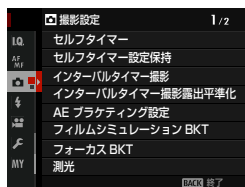


📷 撮影メニュー（撮影設定）

撮影時の設定を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
📷（撮影設定）タブを選びます。

📷 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



設定	説明
🕒 2 秒	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
🕒 10 秒	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
OFF	セルフタイマーを使用しません。

- ⚠️ シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適度な明るさにならなかったりすることがあります。
- セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。

セルフタイマー設定保持

ON のときは、セルフタイマー撮影後に続けてシャッターボタンを押すと、設定されている時間でセルフタイマー撮影できます。また、電源をオフにしてもセルフタイマーの設定は維持されます。

設定値	
ON	OFF

インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影の撮影間隔と撮影回数を設定できます。

- 1 撮影メニューから 撮影設定 > インターバルタイマー撮影を選び、MENU/OK ボタンを押します。
インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。





- 2 フォーカスレバーで撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OK ボタンを押します。
開始時間設定画面が表示されます。



- 3 フォーカスレバーで開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。
インターバルタイマー撮影が開始されます。




 バルブ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

-  三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れに注意してください。AC パワーアダプター AC-15V をご使用ください。
 - インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
 - 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。
 - 撮影回数を ∞ に設定すると、インターバルタイマー撮影設定前の画面に表示されていた撮影可能枚数まで撮影します。

インターバルタイマー撮影露出平準化

ON にすると、インターバルタイマー撮影時にカメラが自動で露出を調整し、直前に撮影された画像と明るさが大きく変化しないようにします。

設定値	
ON	OFF

-  被写体の明るさが大きく変化するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合、**インターバルタイマー撮影の撮影間隔**を短くすることをおすすめします。
- マニュアル（M）撮影のときは、**感度**が AUTO のときのみ露出の平準化を行います。













AEブラケットング設定

AEブラケットング撮影の撮影コマ数などを設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数 / ステップ数設定	AEブラケットングで撮影するコマ数と明るさの変化量（ステップ数）を設定できます。 <ul style="list-style-type: none">• コマ：撮影するコマ数を選びます。• ステップ：明るさの変化量を選びます。
1コマ / 連続	<ul style="list-style-type: none">• 1コマ：シャッターボタンを押すたびに1枚ずつ撮影します。• 連続：シャッターボタンを1度押すと、コマ数 / ステップ数設定の設定にしたがって連続撮影します。
撮影順序設定	AEブラケットングの撮影順序を設定できます。

フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーション BKT 撮影する3枚の画像に対するフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ設定します。

設定	説明
 PROVIA / スタンダード	各フィルムの特徴は「フィルムシミュレーション」(P.107)を参照してください( ACROS と  モノクロ は、さらに Ye 、 R 、 G のフィルターを選べます)。
 Velvia / ビビッド	
 ASTIA / ソフト	
 クラシッククローム	
 PRO Neg. Hi	
 PRO Neg. Std	
 ETERNA / シネマ	
 ACROS	
 モノクロ	
 セピア	

フォーカス BKT

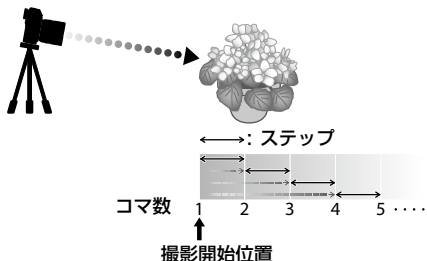
フォーカス BKT 撮影の撮影コマ数などを設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数	撮影するコマ数を選びます。
ステップ	ピントの変化量を選びます。
撮影間隔	次の撮影までの時間を選びます。

 撮影中は、ズーム操作を行わないでください。

コマ数 / ステップとピント位置の関係について

コマ数 / ステップとピント位置の関係は図のようになります。








- ピント位置は、撮影開始位置から無限遠側に向かって移動します。
- ステップの数値が小さいとピント位置の間隔は狭くなり、大きいと広くなります。
- ピント位置が無限遠に到達すると、コマ数の設定に関わらず撮影を終了します。

測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

! 測光モードを変更するときは、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定**を**OFF**にしてください。

設定	説明
 (マルチ)	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  (マルチ) をおすすめします。
 (中央部重点)	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
 (スポット)	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 (アベレージ)	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影することもできます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
EF 電子先幕シャッター	カメラが状況に応じて 電子先幕 または メカニカルシャッター で撮影します。
M/E メカニカル+電子	カメラが状況に応じて メカニカル または 電子シャッター で撮影します。
^{EF} E 電子先幕シャッター+電子	カメラが状況に応じて 電子先幕 、 電子 、 メカニカルシャッター のいずれかで撮影します。

EF 電子先幕シャッターに設定していても高速シャッターを使用すると、MS メカニカルシャッターになります。



- 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
 - 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
 - 高速シャッター使用時においても、手持ち撮影すると画像が歪んで撮影される場合があります。三脚のご使用をおすすめします。
 - 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
 - シャッター音を消して撮影できますが（ 204）、被写体のプライバシーや肖像権などに十分配慮の上、お客様の責任でお使いください。
- 電子先幕シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
 - シャッタースピードが高速になるほど露光ムラが大きくなり、被写体のボケ像が欠けて写ることがあります。



電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。

- ISO 感度は 12800 ~ 100 に制限されます。
- 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
- フラッシュは発光しません。

フリッカー低減

ON にすると、蛍光灯などの照明下で画面や画像に発生するちらつき（フリッカー現象）を低減します。

設定値

ON

OFF



- フリッカー低減を ON にすると、撮影にかかる時間が長くなります。また、電子シャッターは使えません。
- 動画撮影では、使用できません。

感度

光に対する ISO 感度を変更できます。

設定	説明
AUTO1 AUTO2 AUTO3	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。
12800 ~ 100	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
H (102400) H (51200) H (25600) L (50)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。




感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。

ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

ブレ防止モード

手ブレを軽減します。

設定	説明
常時	常に手ブレ軽減を行います。
撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードがCのときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。三脚使用時などカメラが固定されている場合は、ブレ防止モードを OFF にしてください。 OFF のときは、  が表示されます。



- レンズに手ブレ補正のスイッチ（OISスイッチ）がある場合、レンズ側の設定が優先されます。
- 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じることがあります。

マウントアダプター設定

マウントアダプターを装着したときの設定を行います。

シャッター選択

レンズシャッター付きレンズをご使用の場合は、シャッター制御を**ボディ**（カメラ本体）で行うか、**レンズ**のシャッターで行うかを選びます。

❗ ご使用になるレンズによっては、機能しない場合があります。

レンズ登録

レンズ1～レンズ6にそれぞれレンズの設定を登録できます。**OFF**を選ぶとレンズの補正は行いません。

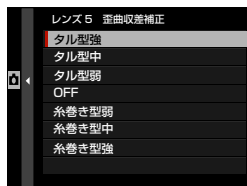
焦点距離設定

ご使用になるレンズの実焦点距離をフォーカスレバーで設定します。



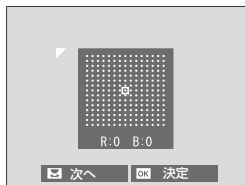
歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。**タル型**と**糸巻き型**の補正を、それぞれ**強**、**中**、**弱**の3段階で補正できます。




色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。

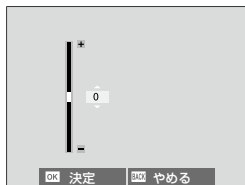


- 1 リアコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。
- 2 フォーカスレバーで補正值（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。
 - レッド/シアン（横軸方向）：-9～+9の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
 - ブルー/イエロー（縦軸方向）：-9～+9の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。


 色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

周辺光量補正


画像の周辺光量を補正できます。補正量は、-5～+5と0（ゼロ）の計11段階から選べます。



- プラス側に補正すると周辺光量が上がり、オールレンズでの補正に有効です。
- マイナス側に補正すると周辺光量が下がり、古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。

 周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。




35mm フォーマットモード

撮影メニューの  **撮影設定** で **35mm** フォーマットモードを設定すると、画角が 35mm になり、画面の表示も変更されます。



設定	説明
ON	画角が 35mm になり、画面の表示も変更されます。
OFF	35mm フォーマットモードを使用しません。
AUTO	自動検出に対応しているマウントアダプターを装着しているときは、35mm フォーマットモードに自動で切り替わります。



- セットアップメニューの  **表示設定** > **画面のカスタマイズ** で **35mm** フォーマットモードのアイコンを表示させるかどうか（工場出荷時の設定値は ）設定できます（ 24、211）。
- 撮影メニューの  **画質設定** > **画像サイズ** は **L 3:2** 固定になります。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。




「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

⚡ 撮影メニュー（フラッシュ設定）

撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**⚡**（フラッシュ設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます。使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。




 各フラッシュの設定は「オプション品・外部機器の使い方」の「クリップオンフラッシュ」をご覧ください（P.270）。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光+補正処理	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光とデジタル補正による赤目補正を行います。
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
補正処理	デジタル補正による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。

- 
- 赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。
 - 顔が検出できないときは、デジタル補正は使用できません。
 - RAW ファイルの画像は、デジタル補正は使用できません。

TTL-LOCK モード

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにプレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件でロックします。
調光発光してロック	調光発光して、その調光結果でロックします。



- TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに **TTL-LOCK** を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます（[図 259](#)）。
- ロックしていても調光補正はできません。
- **直前の発光条件でロック**を設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。

LED ライト設定

フラッシュの LED ビデオライトを静止画撮影時の AF 補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LED ライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF 補助光	AF 補助光としてのみ使用します。
AF 補助光+ キャッチライト	AF 補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。




フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

MASTER 設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。

 フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

CH 設定


マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

設定値			
CH1	CH2	CH3	CH4



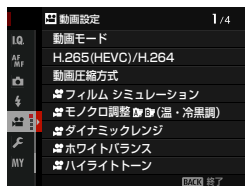
撮影メニュー（動画設定）

動画撮影に関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、（動画設定）タブを選びます。

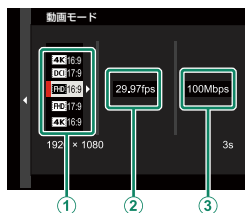



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



動画モード

撮影する動画の画像サイズとアスペクト比、フレームレート、ビットレートを変更できます。



- 1 撮影メニューから  動画設定 > 動画モードを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 フォーカスレバーの上下で動画の画像サイズとアスペクト比を選び (①)、フォーカスレバーを右に動かします。


- **4K 16:9**、**DCI 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16 : 9 または 17 : 9 の 4K 動画を撮影します。
- **FHD 16:9**、**FHD 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16 : 9 または 17 : 9 の FULL HD 動画を撮影します。

3 フレームレートをを選び (②)、フォーカスレバーを右に動かします。

設定値					
59.94P	50P	29.97P	25P	24P	23.98P

4 ビットレートをを選び (③)、MENU/OK ボタンを押します。

設定値			
400Mbps	200Mbps	100Mbps	50Mbps

 フレームレート、ビットレートは、動画モードによって選択できる設定値が異なります。

H.265(HEVC)/H.264

撮影する動画のコーデックを変更できます。

設定	説明
H.265(HEVC)	圧縮効率が高く、より高画質に撮影できます。再生機器がH.265(HEVC)に対応している必要があります。
H.264	汎用性の高いコーデックです。幅広い再生機器が対応しています。











動画圧縮方式

撮影する動画の圧縮方式を変更できます。



設定	説明
ALL-Intra	撮影したコマを1コマずつ圧縮する方式です。データ量は大きくなりますが、各コマのデータが保存されているので編集を前提とした動画撮影に適しています。
Long GOP	良好な画質と高い圧縮率を備えた圧縮方式です。データ量は小さく、長時間の撮影に適しています。

👤 フィルムシミュレーション

動画撮影時のフィルムシミュレーションの設定を変更できます。

設定	説明
 PROVIA/ スタンダード	各フィルムの特徴は「フィルムシミュレーション」(📖 107) を参照してください。
 Velvia/ ビビッド	
 ASTIA/ ソフト	
 クラシッククローム	
 PRO Neg. Hi	
 PRO Neg. Std	
 ETERNA/ シネマ	
 ACROS	
 モノクロ	
 セビア	





👤 モノクロ調整 (温・冷黒調)

フィルムシミュレーションの  ACROS または  モノクロで撮影したモノクロ動画の色調を赤みがかった温かみのある温黒調(ウォームトーン)や、青みがかった冷たさを感じる冷黒調(クールトーン)に調整できます。





設定	説明
+9 ~ +1	「+」側に設定するほど、温黒調の効果を強くします。
0	通常のモノクロ(純黒調)になります。
-1 ~ -9	「-」側に設定するほど、冷黒調の効果を強くします。

ダイナミックレンジ

撮影する動画のダイナミックレンジを変更できます。









設定	説明
 100%	それぞれの設定については「ダイナミックレンジ」（  110）を参照してください。
 200%	
 400%	



-  動画設定の  ダイナミックレンジには、**AUTO**（自動調整）はありません。
-  200%は ISO 感度が ISO 400 以上 ISO 12800 以下、 400%は ISO 800 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。
-  動画設定 > **F-Log/HLG 撮影**が    の場合に設定できます。

ホワイトバランス

動画撮影時のホワイトバランスの設定を変更できます。

設定	説明
AUTO	それぞれの設定については「ホワイトバランス」（  112）を参照してください。
$\Omega_1/\Omega_2/\Omega_3$	
 K	
	
	
	
	
	
	

ハイライトトーン

動画のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

シャドウトーン

動画のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

カラー

動画の色の濃さを設定します。色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

シャープネス

動画の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

ノイズリダクション


高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、ノイズリダクションの強弱を調整できます。高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

フレーム間ノイズリダクション















ON にすると、フレーム間のノイズを軽減します。

設定値	
ON	OFF












-  フレーム間ノイズリダクションは、**4K** または **DCI** で、フレームレートを **29.97P** 以下に設定しているときのみ有効です。
- カメラを動かした場合や動いている被写体を撮影した場合は、残像が出ることがあります。

F-Log/HLG 撮影

F-Log 撮影および HLG (Hybrid Log-Gamma) による映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
   	メモリーカードと外部レコーダーの両方にフィルムシミュレーション映像が記録・出力されます。
 F-Log  F-Log	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log で撮影された映像が記録・出力されます。
   F-Log	メモリーカードにはフィルムシミュレーション映像が記録され、外部レコーダーには F-Log で撮影された映像が出力されます。
 F-Log  	メモリーカードには F-Log で撮影された映像が記録され、外部レコーダーにはフィルムシミュレーション映像が出力されます。
 HLG  HLG	メモリーカードと外部レコーダーの両方に HLG で撮影された映像が記録・出力されます。




- **F-Log** は、撮影後の映像処理 (ポストプロダクション) を前提としたやわらかいガンマカーブで、広い色空間の映像になります。ISO 感度は ISO 800 以上、ISO 12800 以下になります。
- **HLG** (Hybrid Log-Gamma) は、国際標準規格 (ITU-R BT2100) に準拠した動画撮影方式のひとつです。HLG 方式で記録した映像を HLG 対応ディスプレイで再生することで、明暗差の大きいシーンや、彩度が高い被写体においてリアリティのある高品位な映像を表現できます。ISO 感度は ISO 1250 以上、ISO 12800 以下になります。撮影メニューの  **動画設定** > **H.265(HEVC)/H.264** で **H.265(HEVC)** を選んでいるときに撮影可能です。
- フィルムシミュレーションの映像 () は、撮影メニューの  **動画設定** >  **フィルムシミュレーション** で選んでいる設定になります。
-    **F-Log** または  **F-Log**   のときは、HDMI 出力とカメラ内 SD カード記録で、異なる画像サイズ (4K、Full HD) を選択することはできません。また、 **動画設定** の以下のメニューは使用できません。
 - 動画モードのフレームレート：59.94P、50P
 - **4K** フレーム間ノイズリダクション
 - HDMI 出力情報表示

周辺光量補正

ON にすると、動画の周辺光量を補正します。

設定値	
ON	OFF

- 別売のMマウントアダプター「FUJIFILM M MOUNT ADAPTER」を使用して、カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着した場合、**ON** にすると、撮影メニューの  **撮影設定** > **マウントアダプター設定** > **周辺光量補正** (📖 145) で設定した内容で、動画の周辺光量を補正します。
- 撮影した動画に縞模様が発生する場合は **OFF** にしてください。

フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときに、動画撮影に使うピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

動画 AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	カメラが自動的にピントを合わせます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。

AF-C カスタム設定

動画撮影時にフォーカスモードを**C**に設定したときのピントの追従性を設定します。

被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。被写体保持特性については、「AF-C カスタム設定」の「各設定の特性について」の「被写体保持特性」(📖 122)を参照してください。

設定値

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

AF 速度

AF でピントを合わせる速度を調整します。

設定値

-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5
----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----

📷 顔検出 / 瞳 AF 設定

動画撮影時の顔検出の設定ができます。

設定	説明
顔検出 ON	設定については「顔検出 / 瞳 AF 設定」（📖 126）を参照してください。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

❗ 動画撮影時はフォーカスモード切換レバーを **S** にしても、📷 フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定が顔検出 ON のときは、自動的に **C**（コンティニュアス AF）になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON にしても顔検出は行われません。

📷 MF アシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します。

設定	説明
スタンダード	通常表示です（フォーカスピーキング機能を使用しません）。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。









📷 フォーカスチェック





ON にすると、マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、動画撮影時のピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF

4K 映像出力先





カメラを HDMI ケーブルで 4K 対応の外部レコーダーなどに接続する場合、4K 映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。


設定	説明
 	メモリーカードと外部レコーダーの両方に 4K 映像が記録・出力されます。
 	メモリーカードには 4K 映像が記録され、外部レコーダーには FULL HD 映像が出力されます。
 	メモリーカードには FULL HD 映像が記録され、外部レコーダーには 4K 映像が出力されます。
 	メモリーカードには何も記録されず、外部レコーダーには 4K 映像が出力されます。




 あらかじめ、撮影メニューの  動画設定 > 動画モードで  または  を設定してください。

FULL HD 映像出力先

カメラを HDMI ケーブルで外部レコーダーなどに接続する場合、FULL HD 映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
 	メモリーカードと外部レコーダーの両方に FULL HD 映像が記録・出力されます。
 	メモリーカードには何も記録されず、外部レコーダーには FULL HD 映像が出力されます。



- あらかじめ、撮影メニューの  動画設定 > 動画モードで  または  を設定してください。
- HDMI 出力情報表示が OFF のときは、4:2:2 10bit で HDMI 出力されます。

HDMI 出力情報表示

ON にすると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定値	
ON	OFF

4K HDMI 出力解像度（スタンバイ時）

HDMI ケーブルで 4K 対応の外部レコーダーなどとの接続時、スタンバイ中に HDMI 出力解像度を 4K から FULL HD に切り替えるかどうかを設定します。

設定	説明
4K	スタンバイ中も HDMI 出力解像度を 4K のまま維持します。
FHD	スタンバイ中は HDMI 出力解像度を FULL HD に切り替えます。バッテリーの消費を抑えます。



HDMI レックコントロール

動画撮影時に、シャッターボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI 機器に送るかどうかを設定します。

設定値	
ON	OFF

ゼブラ設定

動画モードの画面に、露出オーバーで白とびが発生しそうな高輝度部分を縞状のパターン（ゼブラ）で表示できます。

設定	説明
ゼブラ右	 右上がりのゼブラ表示になります。
ゼブラ左	 左上がりのゼブラ表示になります。
切	ゼブラ表示しません。

ゼブラレベル

ゼブラ設定のゼブラレベル（輝度レベル）を設定します。

設定値										
100	95	90	85	80	75	70	65	60	55	50

オーディオ設定

動画撮影時の音声に関する設定を変更できます。

内蔵マイクレベル設定

内蔵マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	フォーカスレバーを右に動かすと、マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

外部マイクレベル設定

外部マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	フォーカスレバーを右に動かすと、マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

マイクレベルリミッター

マイクへの音声信号の過大入力による音割れを抑制します。

設定値	
ON	OFF

風音低減

動画撮影時に風音によるノイズを低減して録音します。

設定値

ON

OFF

ローカットフィルター

動画撮影時に低域ノイズをカットして録音します。

設定値

ON

OFF

ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を設定します。

設定	説明
10 ~ 1	音量を 1 ~ 10 に設定します。
0	音量をオフに設定します。

タイムコード設定

動画撮影時の時間を表すタイムコード（時間 / 分 / 秒 / フレーム）についての設定ができます。

タイムコード表示

ON にすると、動画撮影画面や再生画面にタイムコードを表示します。

設定値	
ON	OFF

開始時間設定

タイムコード値を調整できます。

設定	説明
手動設定	フォーカスレバーを右に動かすと、タイムコードの開始時間を手動で設定できます。
現在時刻	現在のカメラの時間 / 分 / 秒がタイムコードの開始時間になります。
リセット	00 時間 00 分 00 秒にタイムコードをリセットします。

■ カウントアップ設定

タイムコードのカウントを動画撮影中のみ行うか、常時カウントを行うかを選べます。

設定	説明
レックラン	動画撮影中のみ、タイムコードのカウントを行います。
フリーラン	常時タイムコードのカウントを行います。

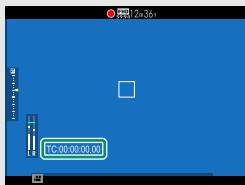
■ ドロップフレーム

動画のフレームレートが **59.94P** と **29.97P** の場合に、タイムコードのカウントと実際の映像時間に生じた小数点以下の部分の差のズレを補正するためにタイムコードを間引く（ドロップフレームを行う）かどうかを設定できます。

設定	説明
ON	ドロップフレームを行います。タイムコードと映像時間を厳密に合わせたいときに選びます。
OFF	ドロップフレームを行いません。



- ドロップフレームの設定により、タイムコードの表示が異なります。



TC:00:00:00:00

ON

TC:00:00:00:00

OFF

- 動画のフレームレートが **23.98P** の場合、ドロップフレームは常に **OFF** になります。

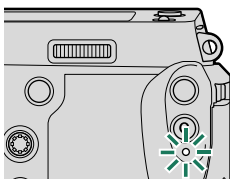
■ HDMI タイムコード出力

動画を HDMI で出力するときに、タイムコードを付加するかどうかを選びます。

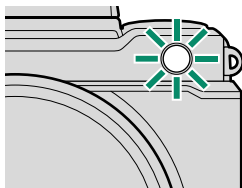
設定値	
ON	OFF

タリーランプ









動画撮影中に点灯するランプの切り替え（インジケータランプまたは AF 補助光ランプ）や点灯または点滅の設定を変更できます。




インジケータランプ 1



AF 補助光ランプ

設定	説明
前面 OFF 背面 	動画撮影中はインジケータランプが点灯します。
前面 OFF 背面 	動画撮影中はインジケータランプが点滅します。
前面  背面 	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点灯します。
前面  背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点灯します。
前面  背面 	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点滅します。
前面  背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点滅します。
前面 OFF 背面 OFF	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプは消灯します。

動画サイレント操作

ON にすると、動画撮影中にカメラの操作音が記録されないように、タッチ操作で撮影時の設定を変えられます（ダイヤル操作は無効になります）。動画サイレント操作で設定できる機能については、「動画サイレント操作」（ 33）を参照してください。

設定値

ON

OFF

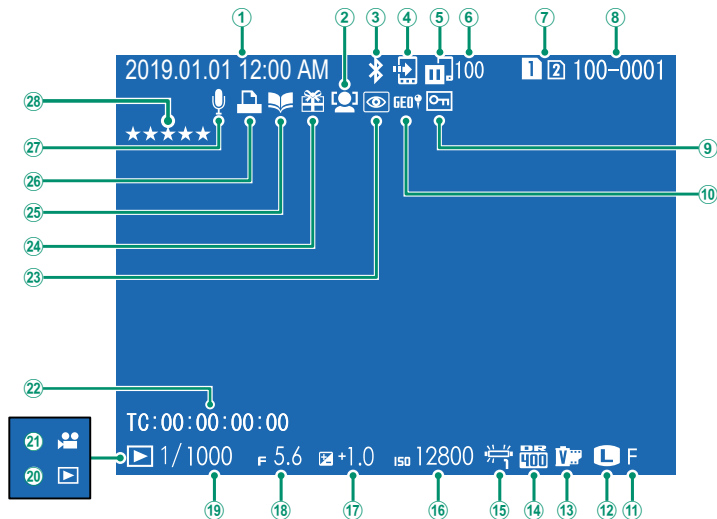
画像の再生と再生メニュー

7

再生時の表示画面

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。

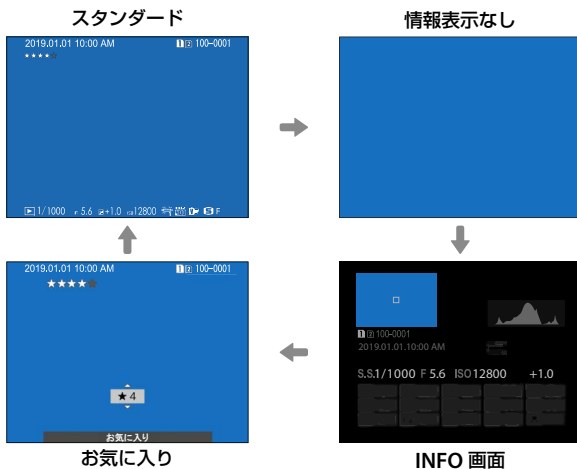
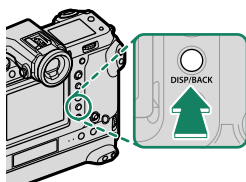
❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



① 日付・時刻.....	52、54、199	⑮ ホワイトバランス.....	112
② 顔検出.....	126	⑯ ISO感度.....	142
③ Bluetooth ON/OFF.....	240	⑰ 露出補正.....	93
④ 画像転送予約.....	189	⑱ 絞り値.....	69、73、75
⑤ 画像転送状況.....	240、284	⑲ シャッタースピード.....	69、70、75
⑥ 画像転送予約枚数.....	189	⑳ 再生モード.....	59
⑦ カードスロット.....	177	㉑ 動画アイコン.....	65
⑧ コマNO.....	236	㉒ タイムコード.....	167
⑨ プロテクト.....	184	㉓ 赤目補正.....	148、186
⑩ 位置情報.....	246、285	㉔ プレゼント.....	59
⑪ 画質モード.....	105	㉕ フォトブックアシスト.....	191
⑫ 画像サイズ.....	104	㉖ プリント予約.....	193
⑬ フィルムシミュレーション.....	107	㉗ ボイスメモ.....	187
⑭ ダイナミックレンジ.....	110	㉘ お気に入り.....	173

情報表示の切り替え

再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

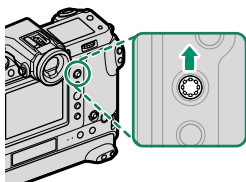


お気に入りを設定する

1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、お気に入りのランクが表示され、ランクを設定できます。フォーカスレバーで ★ の数 (0～5) を設定します。

撮影時の情報確認

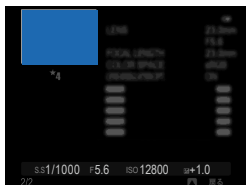
1 コマ再生時にフォーカスレバーを上動かすと撮影時の情報を確認できます。



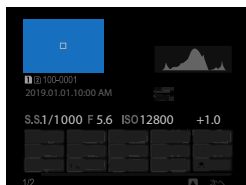
1 コマ再生



INFO 画面 2

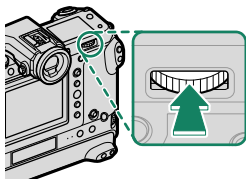


INFO 画面 1



ピントの位置を拡大表示する

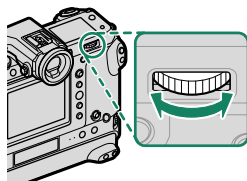
リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと、1 コマ再生に戻ります。



再生方法

再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時にリアコマンドダイヤルで操作します。



1コマ再生画面



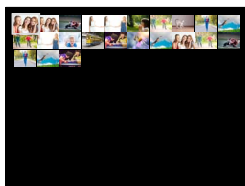
マルチ再生



9コマ再生



マイクロサムネイル再生



DISP/BACK
MENU/OK



拡大再生 1



拡大再生 2



再生ズーム

1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すか、リアコマンドダイヤルの中央を押します。

- 最大ズーム倍率は、撮影時の **画質設定 > 画像サイズ** によって変わります。
- 再生メニュー > リサイズ** または **トリミング** の **640** で保存された画像を再生ズームすることはできません。

ナビゲーションについて

拡大表示中にフォーカスレバーで、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

マルチ再生

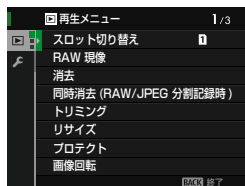
1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9コマ、100コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。

- フォーカスレバーで画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示できます。
- フォーカスレバーの上下でページを切り替えることもできます。

再生メニュー


画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。



スロット切り替え

画像を再生するメモリーカードを選びます。

-  ボタンを長押ししても、再生するメモリーカードを切り替えることができません。

RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルまたは TIFF ファイルとして保存（現像）できます。

現像手順

1 再生画面で現像する RAW 画像を選びます。

2 再生メニュー > RAW 現像を選びます。

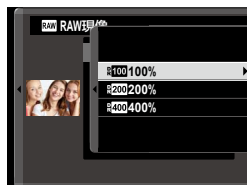
3 MENU/OK ボタンを押します。

設定できる機能の一覧が表示されます。



4 フォーカスレバーを上下に動かして変更する項目を選びます。

5 フォーカスレバーを右に動かして設定の変更に移ります。



6 フォーカスレバーを上下に動かして設定を変更します。

7 MENU/OK ボタンを押して、決定します。


手順3の画面に戻ります。手順7までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 Q ボタンを押します。


保存する JPEG ファイルまたは TIFF ファイルのプレビューが表示されます。

9 MENU/OK ボタンを押します。

JPEG または TIFF 画像が保存されます。

 RAW 画像の再生時に Q ボタンを押しても、RAW 現像を表示できます。

RAW 現像設定項目一覧

項目	機能
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
ファイル形式	保存するファイル形式を変更できます。
画像サイズ	記録する画像の大きさを変更できます。
画質モード	記録する画像の圧縮率を変更できます。
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。
D レンジ優先	明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。
モノクロ調整  (温・冷黒調)	モノクロ画像の温黒調 (ウォームトーン) / 冷黒調 (クールトーン) を調整します。
グレイン・エフェクト	画像にザラっとした粒状の質感を加えます。
カラークローム・エフェクト	カラー被写体の陰影を強調します。
スムーズスキン・エフェクト	人物の肌をなめらかに補正します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定します。
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。
点像復元処理	回折現象やレンズ周辺部のわずかなボケを補正し、解像感を向上させます。
色空間	画像に適用する色空間を設定します。

消去

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。



誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

設定	説明
1コマ	画像を1コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

1 コマ消去

1 消去メニューから1コマを選びます。


2 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。




- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去


- 1 消去メニューから複数指定を選びます。
- 2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は が表示されます。
 - 選択を解除するときは、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定したあと、**DISP/BACK** ボタンを押します。
消去実行画面が表示されます。
- 4 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

 プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、 が表示されます。

全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
 - 2 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。
-  **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- プリント予約を設定している画像を消去しようとする、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。


同時消去 (RAW/JPEG 分割記録時)


 保存設定 > カードスロット設定 (静止画記録) を RAW/JPEG 分割記録にして 2 枚のカードに記録した RAW 画像と JPEG 画像を同時に消去するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	RAW 画像を消去すると、別のカードに同時記録した JPEG 画像も消去されます。
OFF	RAW 画像を消去しても、別のカードに同時記録した JPEG 画像は消去されません。

トリミング


撮影した画像の必要な部分をトリミング (切り抜く) できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。


- 1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > トリミングを選びます。
- 3 リアコマンドダイヤルとフォーカスレバーでトリミングしたい部分を調整します。
- 4 MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5 MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。

-  拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、実行が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、4:3 になります。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > リサイズを選びます。
- 3 変更するサイズを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1 再生メニュー > プロテクトを選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 <ul style="list-style-type: none">手順3のあとに、続けてフォーカスレバーで設定 / 解除する画像を選べます。
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

4 DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

画像転送予約している画像をプロテクトすると、転送予約は解除されます。

画像回転

撮影した画像を回転して再生できます。

- 1 再生画面で回転したい画像を選びます。
- 2 回再生メニュー > 画像回転を選びます。
- 3 フォーカスレバーの下（時計回りに 90° 回転）または上（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。
- 4 MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。




- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
- 表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

赤目補正


人物の赤目を補正できます。赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2  再生メニュー > 赤目補正を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押して、赤目補正を開始します。



- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じたりすることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 赤目補正済みの () 画像は、それ以上赤目補正できません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

ボイスメモ設定

静止画に音声を記録できます。

1 再生メニュー > ボイスメモ設定を ON にします。

2 再生画面でボイスメモを記録したい画像を選びます。

3 フロントコマンドダイヤルの中央を押している間、ボイスメモが記録されます。

30 秒経過すると、記録は終了します。



- すでにボイスメモが記録されている画像に再度記録すると、上書き記録されます。
- プロテクトされている画像にボイスメモは記録できません。
- 画像を消去すると、記録されているボイスメモも消去されます。

ボイスメモの再生について

再生時にボイスメモが記録されている画像を選択すると、🔊が表示されます。

- フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、ボイスメモを再生できます。
- ボイスメモ再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。
- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。再生音量は、**音設定 > 再生音量**でも設定できます。

画像コピー

カメラのメモリーカードスロット1(以下、スロット1)に装着したメモリーカードとメモリーカードスロット2(以下、スロット2)に装着したメモリーカードとの間で、画像をコピーできます。

1 再生メニュー > 画像コピーを選びます。

2 コピーの方法を選びます。

設定	説明
スロット1 → スロット2	スロット1のメモリーカードの画像をスロット2のメモリーカードにコピーします。
スロット2 → スロット1	スロット2のメモリーカードの画像をスロット1のメモリーカードにコピーします。

3 フォーカスレバーを右に動かします。

4 コピーするコマ数を選びます。

設定	説明
1コマ	表示中の画像をコピーします。 <ul style="list-style-type: none">手順5のあとにフォーカスレバーを左右に動かして、続けてコピーする画像を選べます。
全コマ	すべての画像をコピーします。

5 MENU/OK ボタンを押して、コピーを開始します。

- ❗ コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
- 32GB以下のSDメモリーカード(32GBを含む)の場合、ファイルサイズが4GBを超えたファイルはコピーされず、コピーを終了します。

画像転送予約

Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに転送する画像を予約できます。

1 再生メニュー > 画像転送予約 > コマ選択を選びます。

2 転送予約する画像を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押して、画像を転送予約します。



手順 2 と 3 を繰り返して、転送したい画像をすべて予約します。

4 DISP/BACK ボタンを押して、画像の転送予約を終了します。

再生画面に戻ります。



■ 接続設定 > Bluetooth 設定 > Bluetooth ON/OFF が ON で、撮影後自動画像転送が ON のときは、再生画面に戻ってしばらくするか、カメラの電源をオフにすると、画像転送予約した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。



- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで転送予約することができます。
- 以下の画像は転送予約できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - RAW 画像
 - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）
- ■ 接続設定 > 共通設定 > 設定ボタン設定をペアリング / 転送予約に設定しておくと、Fn1 ボタンを押しても転送予約できます。
- 画像転送予約 > 予約リセットを選ぶと、すべての転送予約を解除できます。
- ■ 接続設定 > Bluetooth 設定 > 撮影後自動画像転送を ON にして、撮影した画像を自動的に転送予約することもできます。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。



「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 再生メニュー>フォトブックアシストを選びます。

2 新規 BOOK を選び、MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

フォーカスレバーを上にかすと表示されている画像を選択または選択解除し、下にかすと表示されている画像を表紙にします。



- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、あとからでも変更できます。

4 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ばると、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

■ 作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。フォーカスレバーの左右で次や前の画像に移動できます。

■ 作成したフォトブックを編集 / 削除する


- 1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 編集または削除を選びます。
 - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
 - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておくと、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。


1 再生メニュー > プリント予約 (DPOF) を選びます。

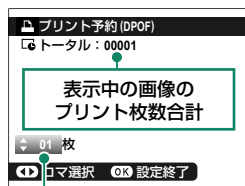
2 日付の有無を設定します。

設定	説明
日付あり設定 	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。


3 プリント予約する画像を選びます。

4 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。



 DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまでフォーカスレバーを下に動かします。



プリント枚数

 手順 3 と 4 を繰り返して、プリントする画像をすべて予約します。

5 合計枚数を確認して、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

-  DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に  が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。あらかじめ **接続設定** > **instax プリンター接続設定** で、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力しておく必要があります。

1 プリンターの電源を入れます。

2 **再生メニュー** > **instax プリンタープリント** を選ぶと、カメラとプリンターの接続が始まります。



3 プリントしたい画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

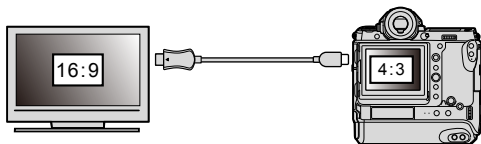


- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。


4 画像がプリンターに送信され、プリントが始まります。

表示比率

4:3 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



		設定	
		16:9	4:3
イメージ			

 **16:9** で撮影された画像は **16:9** に設定してください。**4:3** で撮影された画像を再生すると、左右に黒い枠が表示されます。


セットアップメニュー

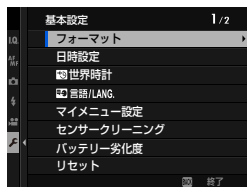
8



セットアップメニュー（基本設定）


カメラの基本的な設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**基本設定**を選びます。

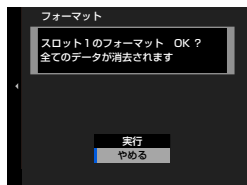


フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

1 セットアップメニューから  **基本設定** > **フォーマット**を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



3 **実行**を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。



確認画面で**やめる**を選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。



- プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリートレイを取り出さないでください。



（消去）ボタンを長押し中にリアコマンドダイヤルの中央を押してもフォーマット画面を表示できます。

日時設定

日付と時刻を設定します。

- 1 セットアップメニューから **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 フォーカスレバーの上下で年月日の並び順を選びます。
- 3 フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押すと、日時が設定されます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
ホーム	現在設定されている日時を表示します。
現地	旅行先の日時を表示します。

現地時間の設定方法

- 1 **現地** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 フォーカスレバーの左右で設定する項目（+/-、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。

現地 を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に と日時が約3秒間黄色で表示されます。

言語/LANG.


メニューなどを表示する言語を設定します。

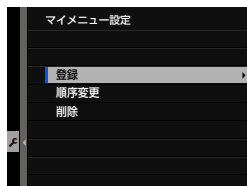
マイメニュー設定

よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY** (マイメニュー) タブを選ぶと表示されます。

1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定** を選びます。


メニューが表示されます。

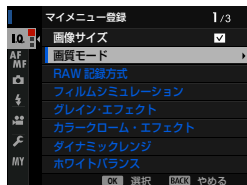
 **順序変更** を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除** を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。



2 登録を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

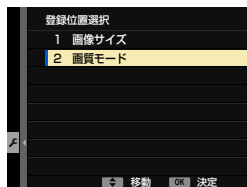
登録可能なメニューが青文字で表示されます。

 登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。



3 登録するメニューの順序を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。


マイメニューが登録されます。



4 **MENU/OK** ボタンを押します。

マイメニュー登録画面に戻ります。



5 手順 3 と 4 を繰り返して、マイメニューを登録します。

 最大 16 項目 (8 × 2 ページ) のメニューが登録できます。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。


設定	説明
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。

 センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、ブLOWERでセンサーをクリーニングしてください（ 316）。

バッテリー劣化度

バッテリーの劣化状態をチェックできます。バッテリーの劣化状態を0～4の目盛りの位置で表示します。数値が大きいほどバッテリーの劣化が進んでいることを示します。



 バッテリーが劣化すると、バッテリーの消耗が早くなります。新しいバッテリーをお買い求めいただくことをおすすめします。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

- 1 リセットするメニューを選び **MENU/OK** ボタンを押します。

設定	説明
撮影メニューリセット	撮影メニューの カスタム登録 / 編集 の内容、ホワイトバランスの カスタム の内容以外がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの 日時設定、世界時計、著作権情報、接続設定 の接続に関する設定以外がリセットされます。


- 2 確認画面で**実行**を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

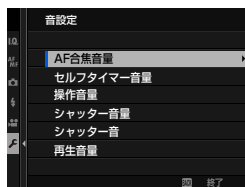
認証

製品の認証情報を表示します。

セットアップメニュー（音設定）





カメラの音に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、音設定を選びます。







AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。





セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。





操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。




シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
 1サウンド 1	シャッター音 1 に設定します。
 2サウンド 2	シャッター音 2 に設定します。
 3サウンド 3	シャッター音 3 に設定します。

再生音量

動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
10 ~ 1	音量を 1 ~ 10 に設定します。
0	音量をオフに設定します。

🔍 セットアップメニュー（表示設定）

カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**🔍**（セットアップ）タブを選び、**表示設定**を選びます。



EVF 明るさ

EVF（ファインダー）の明るさを調整できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的に適切な明るさを調整します。
マニュアル	+5 ~ -7 の明るさを手動で調整します。

EVF 鮮やかさ

EVF（ファインダー）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

EVF 色調整

EVF（ファインダー）の色調を調整できます。

1 フォーカスレバーで色調を調整します。



2 MENU/OK ボタンで決定します。

LCD 明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

LCD 鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

LCD 色調整

LCD（液晶モニター）の色調を調整できます。

1 フォーカスレバーで色調を調整します。

2 MENU/OK ボタンで決定します。

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、 OFF になります。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

縦横自動回転表示

ON にすると、撮影時にカメラが縦向きの場合、ファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の表示が縦向きになります。

設定値	
ON	OFF

マニュアル時モニター露出 /WB 反映

マニュアル (M) 撮影で、撮影画面に露出やホワイトバランスを反映できます。

設定	説明
露出反映 /WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。タングステンモニタリングランプを使用したフラッシュ撮影など、撮影時に露出、ホワイトバランスの条件が変わる場合に使用します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は OFF にしてください。


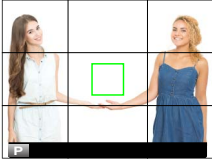

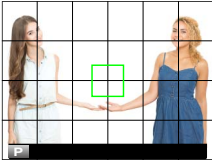

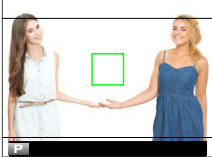
ナチュラルライブビュー


撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピアでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。
OFF	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
 方眼 9 分割	縦横にガイド線が表示されます（9 コマ）。	
 方眼 24 分割	縦横にガイド線が表示されます（24 コマ）。	
 HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。	

 フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面のカスタマイズ」をご覧ください（[P.211](#)）。

縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定値	
ON	OFF

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル (m) に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート (ft.) に設定します。


2 画面モード表示設定

情報表示切り替えの「2 画面」の表示設定を変更できます。

設定	説明
R: フォーカス L: フレーム	R (右) 側の子画面 (小さい画面) にピントを合わせた位置を拡大表示し、L (左) 側の親画面 (大きい画面) に撮影画面全体を表示します。
R: フレーム L: フォーカス	R (右) 側の子画面 (小さい画面) に撮影画面全体を表示し、L (左) 側の親画面 (大きい画面) にピントを合わせた位置を拡大表示します。

画面のカスタマイズ

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます。

- 1 DISP/BACK ボタンを押して、「スタンダード」画面に切り替えます。
- 2 セッアップメニューから  表示設定 > 画面のカスタマイズを選びます。
- 3 表示したい項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。
画面に表示する項目には、 が表示されます。 が表示されている状態で MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。

表示項目	工場出荷時	表示項目	工場出荷時
フレーミングガイド	<input type="checkbox"/>	連写モード	<input checked="" type="checkbox"/>
電子水準器	<input type="checkbox"/>	ブレ防止	<input checked="" type="checkbox"/>
AF フレーム	<input checked="" type="checkbox"/>	タッチパネルモード	<input checked="" type="checkbox"/>
AF 時の距離指標	<input type="checkbox"/>	ホワイトバランス	<input type="checkbox"/>
MF 時の距離指標	<input checked="" type="checkbox"/>	フィルムシミュレーション	<input type="checkbox"/>
ヒストグラム	<input type="checkbox"/>	ダイナミックレンジ	<input checked="" type="checkbox"/>
ライブビューハイライト警告	<input type="checkbox"/>	ブーストモード	<input checked="" type="checkbox"/>
撮影モード	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影可能枚数	<input type="checkbox"/>
絞り / シャッター速度 / ISO	<input checked="" type="checkbox"/>	画像サイズ & 画質モード	<input type="checkbox"/>
情報表示背景	<input checked="" type="checkbox"/>	動画モード & 録画時間	<input type="checkbox"/>
露出補正表示	<input type="checkbox"/>	35mm フォーマットモード	<input checked="" type="checkbox"/>
露出補正ゲージ	<input type="checkbox"/>	画像転送予約	<input checked="" type="checkbox"/>
フォーカスモード	<input checked="" type="checkbox"/>	マイクレベル	<input checked="" type="checkbox"/>
測光	<input checked="" type="checkbox"/>	ガイダンスメッセージ	<input checked="" type="checkbox"/>
シャッター方式	<input checked="" type="checkbox"/>	バッテリー残量表示	<input type="checkbox"/>
フラッシュ	<input checked="" type="checkbox"/>	画面枠	<input type="checkbox"/>

- 4 DISP/BACK ボタンを押します。
設定が保存されます。
- 5 DISP/BACK ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

情報表示拡大モード (EVF)

ON にすると、EVF 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大 表示設定** で変更できます。



OFF



ON



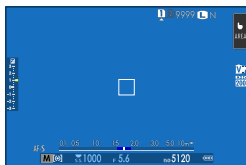
情報表示拡大モード (EVF) を ON にすると、一部のアイコンが非表示になります (図 17)。



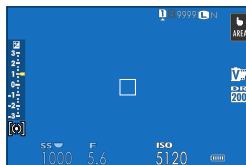
ファンクションボタンに情報表示拡大モードを割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで情報表示拡大モードの ON/OFF を切り替えられます (図 223、259)。

情報表示拡大モード (LCD)

ON にすると、LCD 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大 表示設定** で変更できます。



OFF



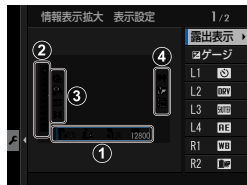
ON

! 情報表示拡大モード (LCD) を ON にすると、一部のアイコンが非表示になります (19)。

📄 ファンクションボタンに情報表示拡大モードを割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで情報表示拡大モードの ON/OFF を切り替えられます (223、259)。

情報表示拡大 表示設定

表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF)、情報表示拡大モード (LCD) を ON にしたときに拡大表示する項目を変更できます。



サブメニュー	説明
① 露出表示	画面の下部に表示する項目を選びます。画面に表示する項目には、 <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。 <input checked="" type="checkbox"/> が表示されている状態で MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。
② <input checked="" type="checkbox"/> ゲージ	ON にすると、露出補正ゲージが拡大表示されます。
③ L1、L2、L3、L4	画面の左側に拡大表示するアイコンを最大4つまで選択できます。
④ R1、R2、R3、R4	画面の右側に拡大表示するアイコンを最大4つまで選択できます。

情報表示コントラスト調整


表示画面のコントラストを調整できます。

設定	説明
高コントラスト	コントラストを高め（明暗差を大きく）設定します。
通常	通常表示です。
低コントラスト	コントラストを低め（明暗差を小さく）設定します。
暗所	暗い環境で使用するときに適したコントラストに設定します。

サブ液晶モニター設定


サブ液晶モニターに表示する画面を設定します。設定は静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。設定できる画面は次のとおりです。

設定	説明
情報表示	カメラの設定を表示します。表示する項目は変更できます。
ダイヤル	ISO感度とシャッタースピードをダイヤルのイラストで表示します。
ヒストグラム	ヒストグラムを表示します。

 サブ液晶モニター切替ボタンを押すことで、それぞれの画面を切り替えることができます。

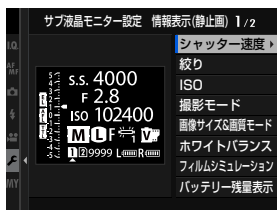
情報表示に表示する項目を変更する

情報表示に表示する項目は次のように変更できます。

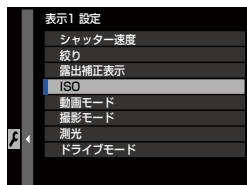
- 1 セットアップメニューから  表示設定 > サブ液晶モニター設定を選びます。
- 2 静止画撮影時または動画撮影時を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 3 情報表示を選び、MENU/OK ボタンを押します。



4 表示を変更する場所を選び、MENU/OK ボタンを押します。



5 表示する項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。

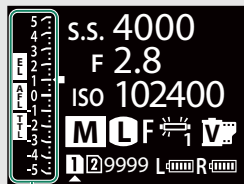


割り当て可能な項目は次のとおりです。

- シャッター速度
- 絞り
- 露出補正表示
- ISO
- 動画モード
- 撮影モード
- 測光
- ドライブモード
- フォーカスモード
- ホワイトバランス
- 画像サイズ & 画質モード
- シャッター方式
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 35mm フォーマットモード
- ブーストモード
- プレ防止
- セルフタイマー
- 表示なし

6 手順 4 と手順 5 を繰り返して、表示項目を設定します。



ゲージの場所はゲージのオンまたはオフのみ選べます。



ゲージ


リアサブモニター設定

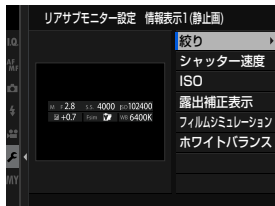
リアサブモニターに表示する項目を設定します。設定は静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

設定	説明
情報表示 1	情報表示 1 または情報表示 2 にあらかじめ設定した項目を表示します。
情報表示 2	
 露出補正ゲージ	露出補正ゲージを表示します。
 ヒストグラム	ヒストグラムを表示します。
OFF	リアサブモニターをオフにします。

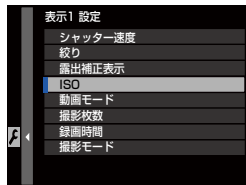
情報表示 1 と情報表示 2 に表示する項目を変更する

情報表示 1 または情報表示 2 に表示する項目は次のように変更できます。

- 1 セットアップメニューから  表示設定 > リアサブモニター設定を選びます。
- 2 静止画撮影時または動画撮影時を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 3 情報表示 1 または情報表示 2 を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 4 表示を変更する場所を選び、MENU/OK ボタンを押します。



5 表示する項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。



割り当て可能な項目は次のとおりです。

- シャッター速度
- 絞り
- 露出補正表示
- ISO
- 動画モード
- 撮影枚数
- 録画時間
- 撮影モード
- 測光
- ドライブモード
- フォーカスモード
- ホワイトバランス
- 画像サイズ & 画質モード
- バッテリー残量表示
- シャッター方式
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 画像転送予約
- 35mm フォーマットモード
- H.265(HEVC)/H.264
- 動画圧縮方式
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- ノイズリダクション
- グレイン・エフェクト
- カラークロム・エフェクト
- スムーススキン・エフェクト
- プーストモード
- プレ防止
- フラッシュ
- セルフタイマー
- 表示なし

6 手順 4 と手順 5 を繰り返して、表示項目を設定します。

サブ液晶モニター背景色

周囲の明るさや暗さに応じてサブ液晶モニターの背景色を変えることで、サブ液晶モニターを見やすくできます。

設定	説明
黒	暗い場所で撮影するときに選びます。
白	明るい場所で撮影するときに選びます。



サブ液晶モニターの照明が点灯している間は、常に白背景の表示になります。

リアサブモニター明るさ


リアサブモニターの明るさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

セットアップメニュー

(操作ボタン・ダイヤル設定)


カメラの操作ボタンや操作ダイヤルに関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**操作ボタン・ダイヤル設定**を選びます。



フォーカスレバー設定

フォーカスレバーの設定を変更できます。

設定	説明
OFF (ロック)	撮影中はフォーカスレバーは使用できません。
 ボタンで ON	フォーカスレバーの中央を押すとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。
ON	フォーカスレバーを動かすとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。

クイックメニュー登録 / 編集



クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

1 セットアップメニューから 操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録 / 編集を選びます。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。

2 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

割り当てられるメニューは次のとおりです。

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 画像サイズ | <input type="radio"/> AF-C カスタム設定 |
| <input type="radio"/> 画質モード | <input type="radio"/> 顔検出 / 瞳 AF 設定 |
| <input checked="" type="radio"/> フィルムシミュレーション | <input type="radio"/> MF アシスト |
| <input checked="" type="radio"/> モノクロ調整   (温・冷黒調) | <input type="radio"/> タッチパネルモード |
| <input checked="" type="radio"/> グレイン・エフェクト | <input type="radio"/> セルフタイマー |
| <input checked="" type="radio"/> カラークローム・エフェクト | <input type="radio"/> 測光 |
| <input checked="" type="radio"/> スムーススキン・エフェクト | <input type="radio"/> シャッター方式 |
| <input checked="" type="radio"/> ダイナミックレンジ | <input type="radio"/> フリッカー低減 |
| <input checked="" type="radio"/> D レンジ優先 | <input checked="" type="radio"/> 感度 |
| <input checked="" type="radio"/> ホワイトバランス | <input type="radio"/> フラッシュ機能設定 |
| <input checked="" type="radio"/> ハイライトトーン | <input type="radio"/> フラッシュ調光補正 |
| <input checked="" type="radio"/> シャドウトーン | <input type="radio"/> 動画モード |
| <input checked="" type="radio"/> カラー | <input type="radio"/> 内蔵 / 外部マイクレベル設定 |
| <input checked="" type="radio"/> シャープネス | <input type="radio"/> EVF/LCD 明るさ |
| <input checked="" type="radio"/> ノイズリダクション | <input type="radio"/> EVF/LCD 鮮やかさ |
| <input checked="" type="radio"/> カスタム選択 | <input type="radio"/> なし |
| <input type="radio"/> AF モード (動画 AF モード) | |

※ 印はカスタム登録が可能なメニュー



- **なし**を選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
- **カスタム選択**を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。

3 割り当てるメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。


クイックメニューにメニューが割り当てられます。



クイックメニューの割り当ては、撮影画面で **Q** ボタンを長押ししても変更できません。

ファンクション（Fn）設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます。


- 1 セットアップメニューから  **操作ボタン・ダイヤル設定** > **ファンクション（Fn）設定** を選びます。
- 2 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 割り当てる機能を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- **AE LOCK** のみ、**AF LOCK** のみ、**AE/AF LOCK**、**AF-ON**、**AWB LOCK** のみを **T-Fn1** ～ **4**（タッチファンクション）に割り当てることはできません。
- ファンクションボタンの割り当ては、**DISP/BACK** ボタンを長押ししても変更できません。

割り当て可能な機能

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- 露出補正
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンズ優先
- ホワイトバランス
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔セレクト ※ 
- 顔検出 ON/OFF
- セルフタイマー
- AE ブラケティング設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- 感度
- プレ防止モード
- 35mm フォーマットモード
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 動画サイレント操作
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器
- 情報表示拡大モード
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- AWB LOCK のみ
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影後自動画像転送
- ペ어링接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- 再生モード
- 撮影モード
- なし

※ なし：ファンクションボタンの割り当てなし

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押すと、シャッターボタン半押しの状態になります。

モデリング発光の割り当て

モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光** を割り当てたボタンを押すと、モデリング発光を行います。撮影前に被写体の影の出かたなどを確認できます。

TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**Ⓛ フラッシュ設定 > TTL-LOCK** モードで設定されているモードでロックできます（[図 149](#)）。

顔セレクト の割り当て

顔セレクト  を割り当てたボタンで、**顔セレクト ** のオンとオフを切り替えることができます。

オンにすると、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定** でピントを合わせる顔を、フォーカスレバーや EVF 使用時のタッチ操作（[図 31](#)）で選択できます。




オンにすると、フォーカスレバー、EVF 使用時は以下の操作になります。

- フォーカスレバーを動かしてピントを合わせる人物の顔を選択できます。フォーカスレバーの中央を押すと、ピントを合わせる位置を顔ではなく、フォーカスエリアに変更することができます（[図 82](#)）。もう一度押すとピントを合わせる位置は顔に戻ります。
- EVF 使用時はタッチパネル（液晶モニター）の操作やフォーカスレバーでピントを合わせる人物の顔を選択できます。

コマンドダイヤル設定

フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルの機能を設定できます。

設定	説明
フロントコマンドダイヤル 1	フロントコマンドダイヤル 1 にシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト)) または絞り値 (絞り (プログラムシフト))* を割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 2	フロントコマンドダイヤル 2 とフロントコマンドダイヤル 3 に、シャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り (プログラムシフト))*、ISO 感度 (ISO)、またはなしを割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 3	
リアコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル回転時の機能をシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り (プログラムシフト))*、ISO 感度 (ISO)、またはなしに割り当てます。
露出補正割り当て	 (露出補正) ボタンを押したときに、フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルのどちらか、または両方で露出補正をするかを選びます。

* 絞りリングが C の位置のとき



- コマンドダイヤル設定は、フロントコマンドダイヤルの中央を長押ししても設定できます。
- フロントコマンドダイヤルの中央を押すたびに、フロントコマンドダイヤル 1、フロントコマンドダイヤル 2、フロントコマンドダイヤル 3 の順に切り替えます。
- 縦位置コマンドダイヤルの設定も同時に変更されます。

半押し AF


ON にすると、シャッターボタン半押し時にオートフォーカスでピントを合わせます。

サブメニュー	説明
AF-S	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせ、ピントを固定します。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。
AF-C	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：シャッターボタンを半押ししている間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。

半押し AE

ON にすると、シャッターボタン半押し時にAEロック（露出を固定）します。

サブメニュー	説明
AF-S/MF	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：シャッターボタンを半押しすると、AE ロック（露出を固定）します。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししても AE ロックしません。
AF-C	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：シャッターボタンを半押ししている間、AE ロック（露出を固定）し続けます。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししても AE ロックしません。

 連写時に露出を追従させたいときは、**OFF** にしてください。

レンズなしリリース

ON にすると、レンズを未装着でシャッターがきれます。

設定値

ON

OFF

カードなしリリース

メモリーカードが未挿入時の動作を設定できます。

設定	説明
ON	メモリーカードが未挿入のときもシャッターがきれ、動作を確認できます。撮影メニューやセットアップメニューも表示できます。
OFF	メモリーカードが未挿入のときはシャッターがきれません。メモリーカードの入れ忘れ防止などに便利です。

フォーカスリング

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
🕒 時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 時計回りに設定します。
🕒 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 反時計回りに設定します。

フォーカスリング操作

フォーカスリングの操作に応じたピント移動について設定できます。

設定	説明
ノンニア	リング操作の回転速度に応じて、移動量可変でピントを移動します。
ニア	回転速度に応じず、回転量に対してニアにピント移動します。

AE/AF-LOCK 設定

AE ロックまたは AF ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、固定されます。
押下切替	ボタンを押すと固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

AWB-LOCK 設定

AWB（オートホワイトバランス）ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。AWB ロックを使用すると、ホワイトバランス設定が **AUTO** のときにホワイトバランスを固定できます。

設定	説明
AWB-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、AWB ロックします。
押下切替	ボタンを押すと AWB ロックされ、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

露出補正ボタン設定

露出補正を割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
<input checked="" type="checkbox"/> 押下中のみ (P)	ボタンを押している間、リアコマンドダイヤルで露出を補正できます。
<input checked="" type="checkbox"/> 押下切替 (S)	ボタンを押してからリアコマンドダイヤルで露出を補正し、もう 1 度ボタンを押して露出補正を終了します。

タッチパネル設定

液晶画面（LCD）のタッチ操作を行うかどうかを設定できます。

サブメニュー	説明
 タッチパネル設定	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：撮影時に液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用します。 ● OFF：タッチパネルとして使用しません。
 ダブルタップ拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：撮影時に液晶画面（LCD）を2回タッチすると、画像が拡大します。 ● OFF：タッチによる画像拡大はしません。
 タッチファンクション	タッチファンクションを使用するかどうかを設定します。
 タッチパネル設定	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：再生時に液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用します。 ● OFF：タッチパネルとして使用しません。
EVF タッチパネル有効範囲	<p>EVF 使用時に液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タッチパネルの有効範囲を次の中から選びます。 <ul style="list-style-type: none"> - <input type="checkbox"/>（全面で動作） - <input checked="" type="checkbox"/>（左半分で動作） - <input checked="" type="checkbox"/>（右半分で動作） - <input checked="" type="checkbox"/>（左上 1/4 側で動作） - <input checked="" type="checkbox"/>（右上 1/4 側で動作） - <input checked="" type="checkbox"/>（左下 1/4 側で動作） - <input checked="" type="checkbox"/>（右下 1/4 側で動作） ● OFF を選ぶと、タッチパネルとして使用しません。


ロック

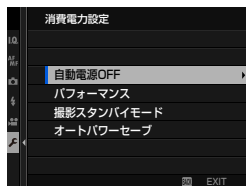
カメラのボタンや機能をロックして誤操作を防止できます。機能別にロックするボタンや機能を選ぶこともできます。

サブメニュー	内容
ロック指定	<ul style="list-style-type: none">解除：ロック指定を解除します。全てロック：機能別ロック設定で選択できるすべてのボタンや機能を一括でロックします。機能別ロック：機能別ロック設定で選んだボタンや機能をロックします。
機能別ロック設定	ロック指定で機能別ロックを選んだときにロックするボタンや機能を選びます。

セットアップメニュー（消費電力設定）

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、消費電力設定を選びます。




自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2分	
1分	
30秒	
15秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

パフォーマンス

ブーストを選ぶと、カメラの AF 性能やファインダー表示の性能がアップします。

設定	説明
ブースト	<p>カメラの AF 性能やファインダー表示の性能がアップします。バッテリーの持続時間はノーマルよりも短くなります。</p> <p>次の中から優先する項目を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none">• AF 優先：オートフォーカスの動作速度を速くします。• EVF 表示解像度優先：ファインダー表示の解像度を高めます。• EVF 表示フレームレート優先：ファインダー表示のフレームレートを高くして、動きをなめらかにします。 <p> 液晶モニター表示の場合は、AF 優先で動作します。</p>
ノーマル	<p>カメラの AF 性能やファインダー表示の性能、バッテリーの持続時間を標準の性能にします。</p>

撮影スタンバイモード

撮影スタンバイモードになるまでの時間を設定できます。

設定	説明
5分	設定した時間カメラを操作しないと、カメラ機能が休止し省電力モードになります。
2分	
1分	
30秒	
15秒	
OFF	撮影スタンバイモードは使用しません。


オートパワーセーブ

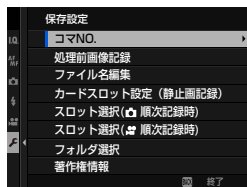
バッテリーを長持ちさせるモードに設定できます。

設定	説明
ON	一定時間何も操作しないしていると、フレームレートが低下して、自動的にバッテリーを長持ちさせるモードになります。ボタンを操作すると通常のフレームレートに戻ります。
OFF	オートパワーセーブは使用しません。

セットアップメニュー（保存設定）

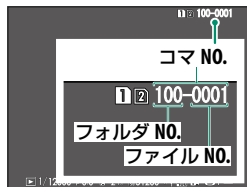
画像の保存に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**保存設定**を選びます。





コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO.（フォルダ NO. - ファイル NO.）の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。

-  コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
-  **基本設定** > **リセット**を行っても**コマ NO.** はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

処理前画像記録

ON にすると、赤目補正の処理前の画像も同時に記録します。

設定値	
ON	OFF

ファイル名編集

ファイル名（DSCF****/_DSF****）をそれぞれ変更できます。

設定	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****

カードスロット設定（静止画記録）

2枚のメモリーカードへの記録方法を変更できます。

設定	説明
順次記録	使用しているメモリーカードスロットのメモリーカードの容量がなくなったら、もうひとつのメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。
RAW/JPEG 分割記録	メモリーカードスロット1のメモリーカードにはRAW画像を、メモリーカードスロット2のメモリーカードにはJPEG画像をそれぞれ保存します。

スロット選択 (📷 順次記録時)

カードスロット設定 (静止画記録) が順次記録のときに、記録するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

設定値	
スロット 1	スロット 2

スロット選択 (🎥 順次記録時)

動画を記録するメモリーカードスロットを変更できます。

設定	説明
スロット 1	動画ファイルをメモリーカードスロット 1 に挿入されているメモリーカードに記録します。
スロット 2	動画ファイルをメモリーカードスロット 2 に挿入されているメモリーカードに記録します。

フォルダ選択

記録フォルダの切り替えや新規作成ができます。

設定	説明
フォルダ選択	フォーカスレバーを上下に動かして既存のフォルダを選択し、 MENU/OK ボタンを押すと、次に撮影する画像は選んだフォルダに保存されます。
フォルダ作成	5 文字のフォルダ名を入力すると、フォルダを新規作成します。次に撮影すると、入力した名前のフォルダが作成され、画像はそのフォルダに保存されます。

著作権情報


撮影時の著作権情報を画像の Exif 情報に記録できます。画面の内容にしたがってそれぞれ情報を入力すると、設定後に撮影された画像に著作権情報が記録されます。

設定	説明
著作権情報の表示	現在登録されている著作権情報を表示します。
作成者名の入力	作成者名を入力します。
著作権者名の入力	著作権者名を入力します。
著作権情報の削除	現在登録されている著作権情報を削除します。画像に著作権情報を残したくない場合は、 著作権情報の削除 を行ってから撮影してください。



セットアップメニュー（接続設定）

他機器との接続に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**接続設定**を選びます。



無線通信の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

Bluetooth 設定

Bluetooth 接続に関する設定を行います。

サブメニュー	内容
ペアリング登録	スマートフォンにインストールされている「FUJIFILM Camera Remote」の ペアリング登録 を押すと、ペアリングを開始します。
ペアリング 接続先選択	ペアリング登録 で登録したスマートフォンの中から接続するスマートフォンを選びます。 接続なし を選択するとスマートフォンとのペアリングは行いません。
ペアリング削除	ペアリング登録されているスマートフォンの情報を削除できます。削除するスマートフォンを選んでください。削除されたスマートフォンは ペアリング接続先選択 のリストからも削除されます。
Bluetooth ON/OFF	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：カメラの電源をオンにすると、常にペアリング登録されているスマートフォンと Bluetooth 接続します。 ● OFF：Bluetooth 接続しません。
撮影後 自動画像転送	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：撮影後に画像を転送予約します。転送予約できる画像は JPEG のみです。 ● OFF：撮影後に画像を転送予約しません。
スマートフォン 同期設定	ペアリング登録されているスマートフォンと同期する内容を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 位置情報 & 日時：位置情報と日時を同期します。 ● 位置情報：位置情報のみを同期します。 ● 日時：日時のみを同期します。 ● OFF：スマートフォンと同期しません。



- スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。
- **Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、**撮影後 自動画像転送** が **ON** のときや再生メニューの**画像転送予約**を設定しているときは、再生画面に戻ってしばらくするか、カメラの電源をオフにすると、撮影した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。**撮影後 自動画像転送**が **OFF** の場合は、**再生メニュー** > **画像転送予約**で、転送予約する画像を選んで転送予約することもできます。

ネットワーク設定

無線 LAN（ワイヤレス）に関する設定を変更できます。

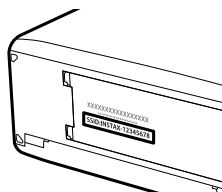
サブメニュー	内容
ワイヤレスアクセス ポイント設定	<ul style="list-style-type: none">• 簡単設定：アクセスポイントに簡単接続で接続します。• 手動設定：アクセスポイントにマニュアル操作で接続します。無線 LAN ルーター選択、SSID 入力を手動で行います。
ワイヤレス IP アドレス設定	<ul style="list-style-type: none">• 自動：IP アドレスを自動で設定します。• 手動：IP アドレスを手動で設定します。IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイの設定をそれぞれ手動で行います。

instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名（SSID）とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。

プリンター名（SSID）とパスワード


instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。




PC 接続モード

パソコンとカメラを接続して使用する機能を設定します。

設定	説明
USBカードリーダー	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的にメモリーカードのデータをパソコンに転送するモードになります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。
USB テザー撮影 自動	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的にPC 撮影モードになります。FUJIFILM X Acquireを使って、カメラの設定の保存、読み込みを行うこともできます。カメラの設定全体を瞬時に切り替えたり、複数の同一機種カメラ間で設定を共有するときに便利です。 接続していないときは通常のカメラとして動作します。
USB テザー撮影 固定	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続していない時もPC 撮影モードになります。工場出荷時の設定では撮影画像がメモリーカードに記録されません。PC 撮影中にUSB ケーブルが抜けるなどの異常が発生した場合も、再度USB ケーブルを接続すると、撮影画像がパソコンに転送、保存されます。
ワイヤレス テザー撮影 固定	ワイヤレス接続でPC 撮影モードになります。 ☑ 接続設定 > ネットワーク設定 でアクセスポイントを設定してください。
USB RAW 現像 / 設定保存読み	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的に「USB RAW 現像」「設定保存読み」が可能になります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。 <ul style="list-style-type: none">• USB RAW 現像：(使用ソフトウェア：FUJIFILM X RAW STUDIO) カメラに搭載している画像処理エンジンで、高速、高品質にRAW 現像を行います。• 設定保存読み：(使用ソフトウェア：FUJIFILM X Acquire) カメラの設定の保存、読み込みができます。カメラの設定全体を瞬時に切り替えたり、複数の同一機種カメラ間で設定を共有したりするときに便利です。接続していないときは通常のカメラとして動作します。


 **消費電力設定 > 自動電源 OFF** の設定は、PC 撮影中にも有効になります。PC 撮影中にオートパワーオフをさせたくない場合は、**自動電源 OFF** を **OFF** に設定してください。

-  「Capture One Pro Fujifilm」、Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC を使用すると、PC 撮影機能が使用できます。「Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC」を使用する場合は Adobe Exchange サイトから、「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」を入手してください。「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」は無償で入手可能です。
- カメラ側操作で PC 撮影する場合は、「FUJIFILM X Acquire」もご利用いただけます。「FUJIFILM X Acquire」は富士フィルムのホームページから無償でダウンロードできます。

スマートフォン無線通信周波数設定

Camera Remote を使用して無線 LAN 通信を行うときの周波数を設定します。







設定値	
2.4GHz (IEEE802.11 b/g/n)	5GHz (IEEE802.11 a/n/ac)

 5GHz の一部のチャンネルについて、屋外での使用が禁止されている国・地域があります。ご使用になる前に 5.2GHz 帯 (W52) が使用可能かご確認ください。

- 国・地域によって選べる設定値は異なります。

共通設定

無線 LAN 機能に関する共通設定を変更できます。

サブメニュー	内容
名前	無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。
スマートフォン送信時  圧縮	スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。スマートフォン送信時  圧縮を ON にして画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。 <ul style="list-style-type: none">• ON：画像サイズを  に圧縮して送信します。ON でのご使用をおすすめします。• OFF：元画像のサイズのままで送信します。
位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録させるかどうかを設定します。
位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。
 ボタン設定	ファンクションボタンにワイヤレス通信を割り当てたときの設定を変更できます。 <ul style="list-style-type: none">•  ペ어링 / 転送予約：ファンクションボタンを押すと、ペ어링または転送予約を行います。•  ワイヤレス通信：ファンクションボタンを押すと、ワイヤレス通信を行います。

情報表示

カメラ本体の MAC アドレスと Bluetooth アドレスを表示します。

ワイヤレス設定初期化

無線通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。

ショートカット機能

9

ショートカット機能について

用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

このカメラでは、よく使う機能のメニューを **Q** (クイックメニュー) やマイメニューに登録して使用したり、**Fn** (ファンクション) ボタンで機能をダイレクトで呼び出したりできます。

ショートカット機能	内容	頁
マイメニュー	よく使うメニューなどを選んでマイメニューに登録しておくことができます。 MENU/OK ボタンを押して、 MV (マイメニュー) タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます。	251
Q (クイックメニュー)	Q ボタンを押すと Q (クイックメニュー) が表示され、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。 Q (クイックメニュー) で設定値を変更することもできます。	253
ファンクションボタン	あらかじめ割り当てられている機能のファンクションボタンを押すと、ダイレクトで割り当てた機能呼び出すことができます。	256

MY マイメニュー

よく使うメニューを自由にまとめて登録できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**MY** (マイメニュー) タブを選びます。



! **MY** マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY** (マイメニュー) タブを選ぶことはできません。

マイメニュー設定

よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY** (マイメニュー) タブを選ぶと表示されます。

- 1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定** を選びます。
メニューが表示されます。



📁 **順序変更** を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除** を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

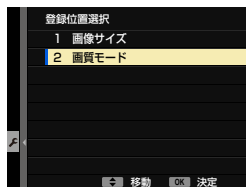
- 2 **登録** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
登録可能なメニューが青文字で表示されます。



📁 登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

3 登録するメニューの順序を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。


マイメニューが登録されます。



4 **MENU/OK** ボタンを押します。

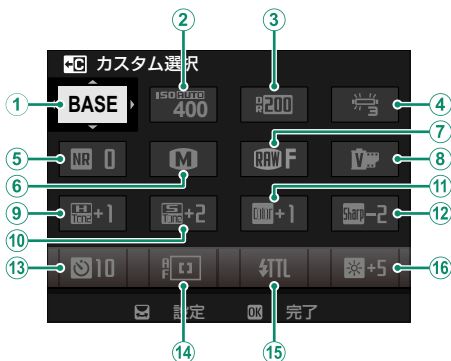
マイメニュー登録画面に戻ります。

5 手順 3 と 4 を繰り返して、マイメニューを登録します。

 最大 16 項目 (8×2 ページ) のメニューが登録できます。

Q (クイックメニュー) ボタン

Q ボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。



工場出荷時の設定

① カスタム選択	⑨ ハイライトトーン
② 感度	⑩ シャドウトーン
③ ダイナミックレンジ	⑪ カラー
④ ホワイトバランス	⑫ シャープネス
⑤ ノイズリダクション	⑬ セルフタイマー
⑥ 画像サイズ	⑭ AF モード
⑦ 画質モード	⑮ フラッシュ機能設定
⑧ フィルムシミュレーション	⑯ EVF/LCD 明るさ

各メニュー (② ~ ⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ替えることができます。

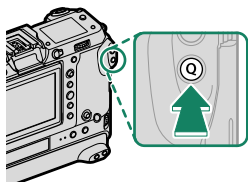
カスタム選択について

カスタム選択 (①) には、カスタム設定の読み込み状態が表示されます。

- **BASE** : カスタム設定を読み込んでいないときに表示します。
- **C1 ~ C7** : **画質設定 > カスタム登録 / 編集** で登録されたカスタム設定を表示します。
- **番号** ~ **番号** : 読み込まれたカスタム設定を表示します。

設定の確認と変更

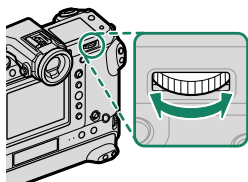
- 1 撮影画面でQボタンを押します。
クイックメニューが表示されます。




- 2 設定を変更するメニュー項目をフォーカスレバーで選びます。



- 3 リアコマンドダイヤルで設定値を選びます。
 - 各設定内容を変更して読み込めますが、カスタム登録設定内容は変更できません。
 - **C1**～**C7** を選択中にカスタム登録項目を変更すると赤いマークがつきます。



- 4 Qボタンを押します。
表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

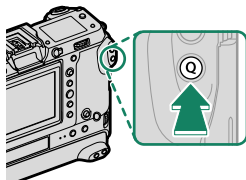
 クイックメニューの操作はタッチ操作でも行えます。

クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

1 撮影画面で Q ボタンを長押しします。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



2 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

割り当てられるメニューは次のとおりです。

- | | |
|--------------------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 画像サイズ | <input type="radio"/> AF-C カスタム設定 |
| <input type="radio"/> 画質モード | <input type="radio"/> 顔検出 / 瞳 AF 設定 |
| <input checked="" type="radio"/> フィルムシミュレーション | <input type="radio"/> MF アシスト |
| <input checked="" type="radio"/> モノクロ調整 (温・冷黒調) | <input type="radio"/> タッチパネルモード |
| <input type="radio"/> グレイン・エフェクト | <input type="radio"/> セルフタイマー |
| <input type="radio"/> カラークローム・エフェクト | <input type="radio"/> 測光 |
| <input type="radio"/> スムーススキン・エフェクト | <input type="radio"/> シャッター方式 |
| <input type="radio"/> ダイナミックレンジ | <input type="radio"/> フリッカー低減 |
| <input type="radio"/> D レンジ優先 | <input checked="" type="radio"/> 感度 |
| <input type="radio"/> ホワイトバランス | <input type="radio"/> フラッシュ機能設定 |
| <input type="radio"/> ハイライトトーン | <input type="radio"/> フラッシュ調光補正 |
| <input type="radio"/> シャドウトーン | <input type="radio"/> 動画モード |
| <input type="radio"/> カラー | <input type="radio"/> 内蔵 / 外部マイクレベル設定 |
| <input type="radio"/> シャープネス | <input type="radio"/> EVF/LCD 明るさ |
| <input type="radio"/> ノイズリダクション | <input type="radio"/> EVF/LCD 鮮やかさ |
| <input type="radio"/> カスタム選択 | <input type="radio"/> なし |
| <input type="radio"/> AF モード (動画 AF モード) | |

※ 印はカスタム登録が可能なメニュー



- ・ **なし**を選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
- ・ **カスタム選択**を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。

3 割り当てるメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

クイックメニューにメニューが割り当てられます。



クイックメニューの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録 / 編集**からも設定できます。

Fn (ファンクション) ボタン

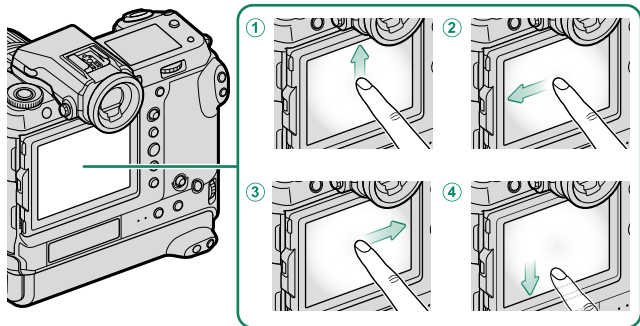
各ファンクションボタンにはそれぞれ機能を1つ割り当てられます。ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は以下のとおりです。



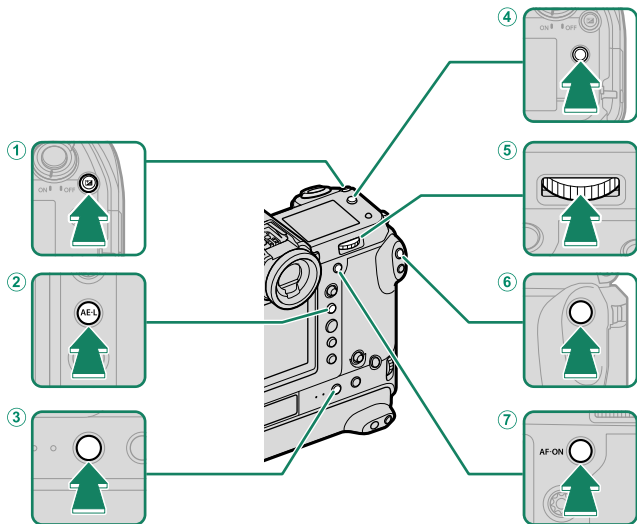
- このカメラでは **T-Fn1** ~ **4** の機能はタッチパネル (液晶画面) のフリック動作で機能呼び出します。
- タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。タッチファンクションを使用する場合は、**操作ボタン・ダイヤル** 設定 > **タッチパネル設定** > **Tfn** タッチファンクションを **ON** にしてください。

タッチファンクション



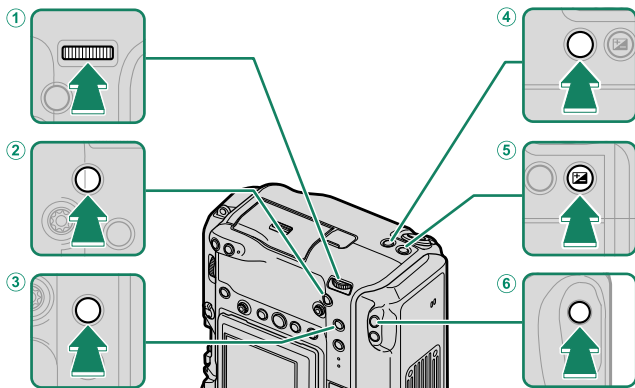
ファンクションボタン	割り当てられている機能
① T-Fn1 (液晶画面を上フリック)	ヒストグラム
② T-Fn2 (液晶画面を左フリック)	フィルムシミュレーション
③ T-Fn3 (液晶画面を右フリック)	ホワイトバランス
④ T-Fn4 (液晶画面を下フリック)	電子水準器

背面のファンクションボタン



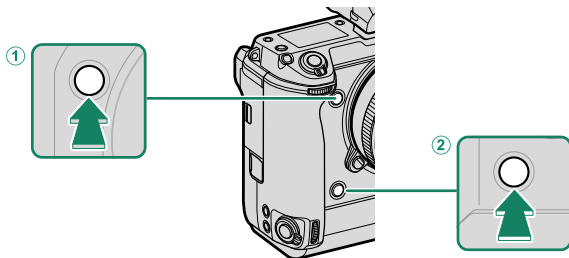
ファンクションボタン	割り当てられている機能
① Fn1 ボタン	露出補正
② AE-L ボタン	AE LOCK のみ
③ Fn5 ボタン	AF モード
④ Fn2 ボタン	撮影モード
⑤ リアコマンドダイヤル中央押し	フォーカスチェック
⑥ Fn4 ボタン	顔検出 ON/OFF
⑦ AF-ON ボタン	AF-ON

背面のファンクションボタン（縦位置）



ファンクションボタン	割り当てられている機能
① 縦位置リアコマンドダイヤル中央押し	フォーカスチェック
② 縦位置 AF-ON ボタン	AF-ON
③ 縦位置 AE-L ボタン	AE LOCK のみ
④ 縦位置 Fn2 ボタン	撮影モード
⑤ 縦位置 Fn1 ボタン	露出補正
⑥ 縦位置 Fn4 ボタン	顔検出 ON/OFF

前面のファンクションボタン

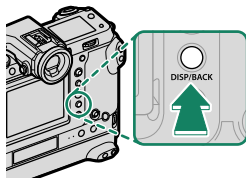


ファンクションボタン	割り当てられている機能
① Fn3 ボタン	パフォーマンス
② 縦位置 Fn3 ボタン	パフォーマンス

ファンクションボタンの割り当て変更

DISP/BACK ボタンを長押しすると、ファンクションボタンの割り当て設定画面を表示できます。

- 1 撮影画面で **DISP/BACK** ボタンを長押しします。



- 2 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。


- 3 割り当てる機能を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- AE LOCK のみ、AF LOCK のみ、AE/AF LOCK、AF-ON、AWB LOCK のみを T-Fn1 ~ 4 (タッチファンクション) に割り当てることはできません。
- ファンクションボタンの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**からも設定できます。

割り当て可能な機能

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- 露出補正
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔セレクト ※ 
- 顔検出 ON/OFF
- セルフタイマー
- AE ブラケティング設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- 感度
- プレ防止モード
- 35mm フォーマットモード
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 動画サイレント操作
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器
- 情報表示拡大モード
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- AWB LOCK のみ
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影後自動画像転送
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- 再生モード
- 撮影モード
- なし

※ なし：ファンクションボタンの割り当てなし

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押すと、シャッターボタン半押しの状態になります。

モデリング発光の割り当て


モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、モデリング発光を行います。撮影前に被写体の影の出かたなどを確認できます。

TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**⚡ フラッシュ設定 >**
TTL-LOCK モードで設定されているモードでロックできます (📖 149)。

顔セレクト の割り当て

 顔セレクト  を割り当てたボタンで、 顔セレクト  のオンとオフを切り替えることができます。

オンにすると、 フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定でピントを合わせる顔を、フォーカスレバーや EVF 使用時のタッチ操作 (31) で選択できます。



オンにすると、フォーカスレバー、EVF 使用時は以下の操作になります。

- フォーカスレバーを動かしてピントを合わせる人物の顔を選択できます。フォーカスレバーの中央を押すと、ピントを合わせる位置を顔ではなく、フォーカスエリアに変更することができます (82)。もう一度押すとピントを合わせる位置は顔に戻ります。
- EVF 使用時はタッチパネル (液晶モニター) の操作やフォーカスレバーでピントを合わせる人物の顔を選択できます。

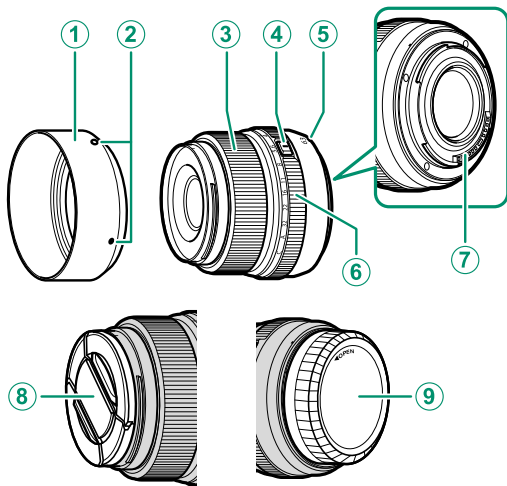
10

オプション品・ 外部機器の使い方

交換レンズ

このカメラでは、富士フィルム製のFUJIFILM G マウント対応の交換レンズが使用できます。

レンズの各部名称



① レンズフード

② 取り付け指標

③ フォーカスリング

④ 絞りリングロック解除ボタン

⑤ 取り付け指標（焦点距離）

⑥ 絞りリング

⑦ レンズ信号接点

⑧ レンズフロントキャップ

⑨ レンズリアキャップ



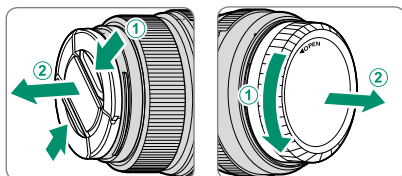
ここでは、GF63mmF2.8 RWR を例に説明しています。

交換レンズのお手入れ

- 使用後は、ブローブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 交換レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

レンズキャップの取り外し方

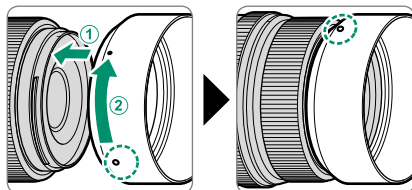
図のようにレンズキャップを取り外します。



❗ レンズキャップは形状が異なることがあります。

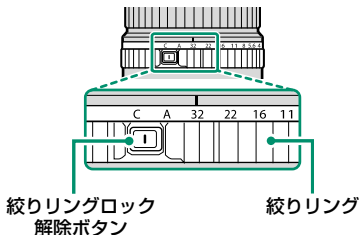
レンズフードの取り付け方




レンズフードを取り付けると、画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。




絞りリング

絞りリングで、撮影時の絞り (F 値) の設定方法を選択できます。

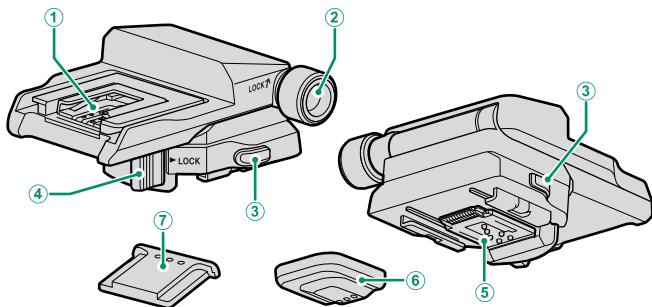


設定	説明
 C ポジション	絞りリングを C ポジションに合わせると、カメラ本体のコマンドダイヤルで絞り (F 値) を設定できます。
 A ポジション	絞りリングを A ポジションに合わせると、カメラが自動で撮影条件に適した絞り (F 値) を選択します。
 絞り目盛り (A/C ポジション以外)	絞りリングの目盛りで、絞り (F 値) を設定できます。

 絞りリングを **A/C** ポジションに合わせるときや、**A/C** ポジションから解除するときには、絞りリングロック解除ボタンを押しながら絞りリングを回してください。

EVF チルトアダプター

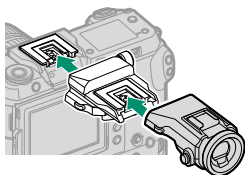
別売の EVF チルトアダプター EVF-TL1 を装着すると、ファインダーの角度を左右 ($\pm 45^\circ$)、上下 ($0^\circ \sim 90^\circ$) に変更できます。



- | | |
|-----------------|-------------|
| ① ホットシュー | ⑤ 接続端子 |
| ② チルトロックつまみ | ⑥ 端子カバー |
| ③ アダプターロック解除ボタン | ⑦ ホットシューカバー |
| ④ 回転ロックレバー | |

取り付け方

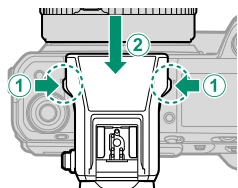
カメラに EVF チルトアダプター EVF-TL1 を装着して、交換式ファインダー EVF-GFX2 を装着します。



カメラと EVF チルトアダプターのホットシューカバーと端子カバーを取り外してから装着してください。

取り外し方

交換式ファインダー EVF-GFX2 を取り外して、両方のアダプターロック解除ボタンを押しながら (①)、正面側を押さえて (②) EVF チルトアダプターを取り外します。



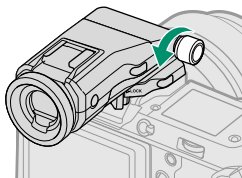
複数の EVF チルトアダプターを取り付けしないでください。

使い方

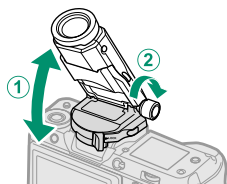
見やすい角度にファインダーを動かします。

上下の角度を変える

チルトロックつまみを緩めると、EVFの上下の角度を 0° ～ 90° で調整できます。

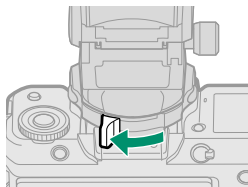


角度の調整が終わったら (①)、チルトロックつまみを締めて固定します (②)。

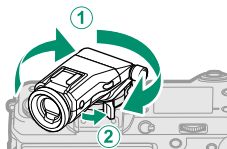


左右の向きを変える

回転ロックレバーを左側にスライドすると、EVFの左右の向きを $\pm 45^{\circ}$ で調整できます。



左右の調整が終わったら (①)、回転ロックレバーを右側にスライドしてロックします (②)。



クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル

別売のクリップオンフラッシュを使うと、大光量の撮影ができます。別売のクリップオンフラッシュには、同調速度よりも高速シャッターに対応するFP（ハイスピードシンクロ）発光対応の製品や、単灯フラッシュとしてだけでなく、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとしてもご使用いただける製品もあります。

! カメラでセットアップメニューを表示しているときなど、フラッシュのテスト発光ができない場合があります。

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、

[1] フラッシュ設定 > 赤目補正を OFF 以外に設定します。**[2]** フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出を ON に設定する必要があります。

クリップオンフラッシュ・シンクローターミナルを設定する


1 使用するフラッシュをカメラに接続します。

2 撮影メニューの **1** フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選びます。

カメラに接続しているフラッシュの状態により、表示されるメニューや設定可能な項目が異なります。



フラッシュ設定	説明	
シンクローターミナル	別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。シンクローターミナル、他社製フラッシュ等ホットシューのX接点のみを使用した撮影で使用します。	272
クリップオンフラッシュ	別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	273
MASTER (光通信)	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したマスターフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	276

 ホットシューに何も接続されていない場合やカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、**シンクローターミナル**の設定画面が表示されます。

3 フラッシュの設定を変更します。

フォーカスレバーで変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



4 DISP/BACK ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。

シンクローターミナル

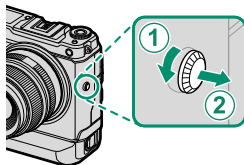
別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。



項目	設定 / 説明
① モード (発光モード)	<p>ホットシュー X 接点 (シンクローターミナル) からトリガー信号を発行するかどうかを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none">● M: 撮影に同期して、ホットシュー X 接点 (シンクローターミナル) からトリガー信号が発行されます。撮影は同調速度よりも長いシャッタースピードを使用する必要があります。また、発光時間の長いフラッシュ、応答の遅いフラッシュなどを使用する場合は、さらに遅いシャッタースピードを設定してください。● OFF: ホットシュー X 接点 (シンクローターミナル) からトリガー信号を発行しません。
② 同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none">● FRONT (先幕): シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。● REAR (後幕): シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

シンクローターミナルについて

シンクロコードを必要とするフラッシュをお使いになるときは、シンクロコードをシンクローターミナルに接続してください。




クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを使用するときに表示されます。



項目	設定 / 説明
①モード (発光モード)	<p>フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TTL：TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整できます。 • M：被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光量で発光強度を変更できます。 • Multi：対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光（マルチ発光）します。 • OFF：フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。

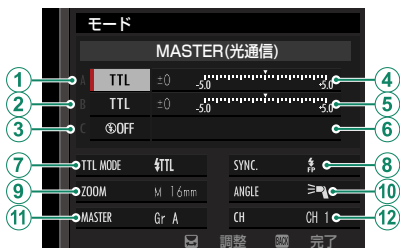
項目	設定 / 説明
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<ul style="list-style-type: none"> • モードが TTL のときに、調光補正量を調整できます。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42、EF-X500 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。 • モードが M のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光 (1/1) から 1/512 発光まで、1/3 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。 • モードが Multi のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、1/4 発光から 1/512 発光まで 1/3 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。
③ TTL モード	<p>TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 罫 (フラッシュ発光 AUTO) : 被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。 • 犂 (スタンダード) : 一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。 • 罫 (スローシンクロ) : 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

項目	設定 / 説明
④同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FRONT (先幕): シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。 ● REAR (後幕): シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。 ● ⚡ (AUTO FP(HSS)): FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、先幕 となります。
⑤ズーム設定	<p>照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。</p>
⑥配光設定 (配光特性)	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光 (照射角) 特性を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ☞ (光量優先): フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。 ● ☞ (スタンダード): 撮影画角に対して最適な照射角にします。 ● ☞ (配光優先): 照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。
⑦LEDライト 設定	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵のLEDライトの用途を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 👁 (キャッチライト): キャッチライトのみ使用します。 ● AF (AF 補助光): AF 補助光のみ使用します。 ● 👁 (AF 補助光+キャッチライト): AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。 ● OFF: どちらも使用しません。
⑦TIMES* (発光回数)	<p>モードが Multi のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。</p>
⑧Hz* (発光周波数)	<p>モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。</p>

* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

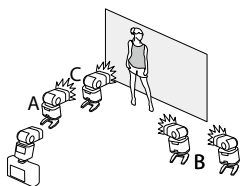
MASTER (光通信)

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュを接続している場合に表示されます。













富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムでは、マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルをCH1～CH4から設定することができます。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分ける際に便利です。

また、システムを構成するフラッシュをA、B、Cの3つのグループに分けて、グループごとに発光モード、発光量を設定できます。



項目	設定 / 説明
① A グループ モード ② B グループ モード ③ C グループ モード (発光モード)	<p>それぞれのグループの発光モードを設定します。A、Bグループは TTL/TTL%/M/Multi/OFF から選択できます。Cグループは TTL/M/Multi/OFF から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TTL : TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。 • TTL% : A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。 • M : M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。 • Multi : A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。 • OFF : OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。
④ A グループ 調光補正 / 発光量 ⑤ B グループ 調光補正 / 発光量 ⑥ C グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<p>グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • モードが TTL に設定されているときは調光補正を設定できます。 • モードが M/Multi に設定されているときは発光強度を設定できます。 • モードが TTL% に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。 <p>補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</p>

項目	設定 / 説明
⑦ TTL モード	<p>TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none">  (フラッシュ発光 AUTO) : 被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。  (スタンダード) : 一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。  (スローシンクロ) : 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
⑧ 同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none">  (先幕) : シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。  (後幕) : シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。  (AUTO FP(HSS)) : FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、先幕となります。
⑨ ズーム設定	<p>照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。また、ご使用のフラッシュによっては、カメラで照射角ズームを設定できます。AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。</p>
⑩ 配光設定 (配光特性)	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画面に対するフラッシュ光の配光 (照射角) 特性を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none">  (光量優先) : フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。  (スタンダード) : 撮影画面に対して最適な照射角にします。  (配光優先) : 照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。

項目	設定 / 説明
⑪ MASTER 設定 (MASTER 発光設定)	<p>モードが TTL、TTL%、M のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Gr A : A グループに設定します。 • Gr B : B グループに設定します。 • Gr C : C グループに設定します。 • OFF : 撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。
⑪ TIMES (発光回数)	<p>モードが Multi のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。</p>
⑫ CH 設定	<p>マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。</p>
⑫ Hz (発光周波数)	<p>モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。</p>

11

他機器との接続

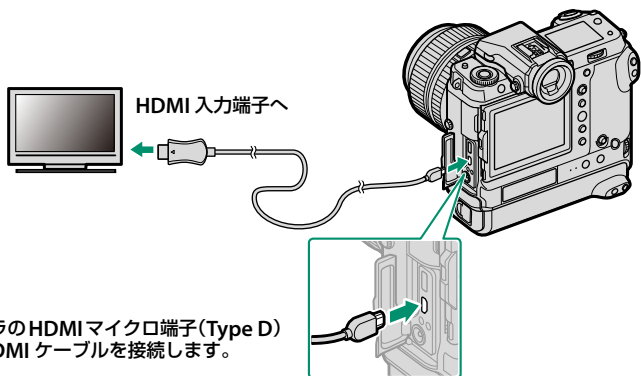
HDMI 出力

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して撮影画面や再生画面を出力できます。

HDMI 機器との接続

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続します。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。




- 3 テレビの入力を HDMI 入力に切り替えます。
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。
- 4 カメラの電源をオンにします。
テレビの画面に液晶モニターの内容が表示されます。再生モードではカメラに表示されません (📖 283)。

- ❗ ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。

撮影画面の出力

4K 映像または FULL HD 映像のライブビューや動画をテレビに表示したり、外部レコーダーに保存したりできます。

再生画面の出力

撮影した静止画や動画をテレビなどに表示できます。カメラの電源をオンにして  (再生) ボタンを押すと、カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。



- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声出力されます。
- テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。
- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

無線通信で接続

(Bluetooth®/ 無線 LAN (Wi-Fi))

カメラとスマートフォンやパソコンを無線で通信できます。無線通信の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

スマートフォンと通信する (FUJIFILM Camera Remote)

カメラとスマートフォンは、Bluetooth または無線 LAN の 2 つの方法で接続できます。



カメラとスマートフォンを無線で通信するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。

FUJIFILM Camera Remote について

通信後は、「FUJIFILM Camera Remote」を使って以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信
- スマートフォンでカメラのシャッターをきる
- カメラのファームウェアアップデート

「FUJIFILM Camera Remote」については以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

Bluetooth® でスマートフォンとペアリングする

☑ **接続設定** > **Bluetooth** 設定の**ペアリング登録**で、スマートフォンとカメラをペアリングできます。スマートフォンとペアリングすると、スマートフォンへ画像を簡単に転送できます。



- 画像の転送は無線 LAN による通信で行われます。
- ペアリングすると、スマートフォンの位置情報や日時をカメラに同期できます (📖 240)。
- ペアリング登録したスマートフォンやタブレット (最大7デバイス) を選択して通信できます。

無線 LAN でスマートフォンと通信する


☑ **撮影設定**または🔄 **再生メニュー** > **ワイヤレス通信**で、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。



PC 撮影機能を使用する (Capture One Pro Fujifilm/ Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX/ FUJIFILM X Acquire)

- カメラをあらかじめ **接続設定 > PC 接続モード > ワイヤレステザー撮影 固定** に設定してください。
- 「Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC」、 「FUJIFILM X Acquire」などのソフトウェアをご使用ください。「Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC」でご利用いただく場合は、Adobe Exchange サイトから、「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」を入手してください。「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」は無償で入手可能です。



-  テザー撮影の詳しい方法は、以下のサイトをご覧ください。
<http://app.fujifilm-dsc.com/jp/#tether>
- 「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」、 「FUJIFILM X Acquire」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」(298) をご覧ください。

USB ケーブルでパソコンと接続

USB ケーブルでパソコンに接続すると、PC 撮影機能を使用したり、メモリーカードに撮影した画像をパソコンに転送したりできます。



実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。

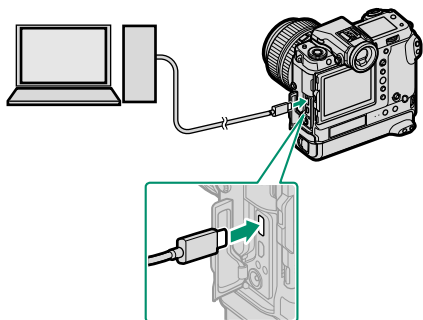
1 パソコンを起動します。

2 カメラを用途に応じた設定にします。

設定方法については、「PC 撮影機能を使用する (FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX/FUJIFILM X Acquire)」(290)、「メモリーカードに撮影した画像を転送する」(291)、「RAW 現像する (FUJIFILM X RAW STUDIO)」(292)、「カメラの設定を保存する / 読み込む (FUJIFILM X Acquire)」(292) をご覧ください。

3 カメラの電源をオフにします。

4 USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



USB 端子 (Type-C)



USB ケーブルは、長さが 1.5m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

5 カメラの電源をオンにします。

6 用途に応じたパソコンのソフトウェアを使用して操作します。

- **PC 撮影機能をご使用の場合**：「Capture One Pro Fujifilm」、 「Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」、 「FUJIFILM X Acquire」などで PC 撮影を行ってください。
- **画像転送機能をご使用の場合**： MyFinePix Studio や OS 標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。
- **RAW 現像機能をご使用の場合**： 「FUJIFILM X RAW STUDIO」で RAW 現像を行ってください。カメラの画像処理エンジンを使用することで、高速に RAW 現像機能をご利用いただけます。
- **カメラの設定を保存 / 読みを行う場合**： 「FUJIFILM X Acquire」でカメラの設定を保存 / 読み込んでください。お好みのカメラ設定を一括でファイルに保存したり、複数のカメラ間で設定を同期したりできます。



- USB ケーブルを取り外すときは、カメラの電源をオフにしてください。
- USB ケーブルは、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯、もしくは緑色に点灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、USB ケーブルを抜かないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

PC 撮影機能を使用する (Capture One Pro Fujifilm/ Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX/ FUJIFILM X Acquire)

- カメラをあらかじめ **接続設定 > PC 接続モード > USB テザー撮影 自動** に設定してください。
- 「Capture One Pro Fujifilm」、 「Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」、 「FUJIFILM X Acquire」 などのソフトウェアをご使用ください。



- **USB テザー撮影固定**は、カメラをテザー撮影専用の状態で使用する場合には選択してください。この状態では USB ケーブルを抜いてもカメラは通常のカメラとして機能せず、撮影した画像がメモリーカードに保存されませんのでご注意ください。
- テザー撮影の詳細な方法は、以下のサイトをご覧ください。
<http://app.fujifilm-dsc.com/jp/#tether>
- 「Capture One Pro Fujifilm」、 「Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」、 「FUJIFILM X Acquire」 の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」 (298) をご覧ください。

メモリーカードに撮影した画像を転送する

- カメラをあらかじめ **接続設定 > PC 接続モード > USB カードリーダー** に設定してください。
- お使いのパソコンに適したソフトウェアをご使用ください。



Mac OS X / macOS をお使いの方

Mac OS X / macOS をお使いの方は、OS 標準アプリケーションの「イメージキャプチャ」などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

- ❗ ファイルサイズが4GBを超える場合は、カードリーダーでファイルを取り込んでください。

Windows をお使いの方 (MyFinePix Studio)


Windows をお使いの方は「MyFinePix Studio」を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。

- 📖 「MyFinePix Studio」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」(P.298)をご覧ください。

RAW 現像する (FUJIFILM X RAW STUDIO)

- カメラをあらかじめ **接続設定 > PC 接続モード > USB RAW 現像 / 設定保存読込** に設定してください。
- 「FUJIFILM X RAW STUDIO」をご使用ください。




 「FUJIFILM X RAW STUDIO」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」(図 298)をご覧ください。

カメラの設定を保存する / 読込む (FUJIFILM X Acquire)

- カメラをあらかじめ **接続設定 > PC 接続モード > USB RAW 現像 / 設定保存読込** に設定してください。
- 「FUJIFILM X Acquire」をご使用ください。



 「FUJIFILM X Acquire」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」(図 298)をご覧ください。

instax SHARE プリンターと接続

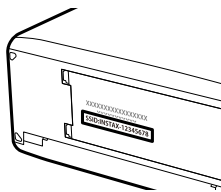
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できません。

プリンターとの接続を設定する

☑ **接続設定** > **instax プリンター接続設定**を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。


プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



画像をプリントする

1 プリンターの電源を入れます。

2  再生メニュー > instax プリンター
プリントを選ぶと、カメラとプリンターの
接続が始まります。



3 プリントしたい画像を選び、**MENU/OK** ボタン
を押します。



- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが始まります。

12

資料

カメラで使える別売アクセサリ

このカメラでは、以下の富士フィルム製別売アクセサリを使用できます。最新情報については、<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>をご覧ください。

充電式バッテリー NP-T125：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

バッテリーチャージャー BC-T125：充電式バッテリー NP-T125 を充電します (AC100V～240V、50/60Hz 対応)。

AC パワーアダプター AC-15V：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください (AC100V～240V、50/60Hz 対応)。カメラ本体内のバッテリーを充電することもできます。

GF シリーズレンズ：FUJIFILM G マウント専用の交換レンズです。

EVF チルトアダプター EVF-TL1：装着することでファインダーの角度を左右 (±45°)、上下 (0°～90°) に変更できます。

アイカップ EC-XH W/EC-XT L/EC-XT M/EC-XT S/EC-GFX：ファインダー接眼部に装着するアイカップです。

マウントアダプター H MOUNT ADAPTER G：GX645AF 用の交換レンズ SUPER EBC FUJINON HC レンズ 9 本とテレコンバータ 1 本をカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

マクロエクステンションチューブ MCEX-18G WR/MCEX-45G WR：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

ビューカメラアダプター VIEW CAMERA ADAPTER G：「CM FUJINON」など、往年のフジノン大判カメラ用レンズなどを使用して撮影を行う際に使用するビューカメラアダプターです。

クリップオンフラッシュ EF-X500：ガイドナンバー最大 50 (ISO 100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光に対応しています。また、富士フィルム光通信多灯システムのマスターフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。TTL 自動調光機能、マニュアル発光機能、24～105mm (35mm フィルム換算) のオートズーム機能を搭載しております。バウンス角度は上 90°、下 10°、左 135°、右 180°です。単三電池 4 本を使用し、別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。

クリップオンフラッシュ EF-42：ガイドナンバー最大 42 (ISO 100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、24～105mm (35mm フィルム換算) のオートズーム機能、マニュアル発光機能を搭載しております。バウンス角度は上 90°、左 180°、右 120°です。単三電池 4 本を使用します。

クリップオンフラッシュ EF-X20：ガイドナンバー 20 (ISO 100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。単四電池 2 本を使用した小型、軽量のフラッシュで、TTL 調光補正、マニュアル発光強度をダイヤルで設定できます。

クリップオンフラッシュ EF-20：ガイドナンバー 20 (ISO 100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能のみを搭載しており、マニュアル発光には対応していません。バウンス角度は上 90°です。単三電池 2 本を使用します。

リモートレリーズ RR-100：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。

ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

グリップベルト GB-001：本体に装着することでホールド感を高めます。

ボディキャップ BCP-002：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

instax SHARE プリンター SP-1/SP2/SP-3：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

カメラで使えるソフトウェア

このカメラでは、以下のソフトウェアを使用できます。

FUJIFILM Camera Remote

カメラとスマートフォンを無線で通信できるスマートフォンアプリケーションです (284)。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

MyFinePix Studio

画像管理ソフトウェアです。カメラで撮影した大量の画像を簡単に管理、閲覧、プリントでき、またアップロードや画像編集などを楽しむこともできます (291)。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

ダウンロードしたファイル「MFPS_Setup.EXE」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。表示される指示にしたがって、インストールしてください。

Capture One Express Fujifilm

RAW 画像をパソコン上で現像できるパソコン用アプリケーションです。Phase One 社から無償で入手可能です。

<https://www.phaseone.com/fujifilm/>

RAW FILE CONVERTER EX

RAW 画像をパソコン上で現像できるパソコン用アプリケーションです。富士フィルムウェブサイトから無償で入手可能です。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

Capture One Pro Fujifilm

Phase One 社の PC 撮影、RAW 現像に対応した ワークフローソフトウェアです。

<https://www.phaseone.com/fujifilm/>

Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX

Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC に、専用のプラグインソフトウェア FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX を追加することで PC 撮影が可能になります。FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX は Adobe Exchange サイトから無償で入手可能です。


FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX

<http://fujifilm-x.com/x-stories/fujifilm-tether-plug-in-pro-features/>

FUJIFILM X Acquire

カメラとパソコン（Windows/Mac）を USB ケーブルまたは Wi-Fi 経由で接続し、撮影した画像をパソコンに自動転送して指定したフォルダに保存したり、USB 接続によりカメラ設定をバックアップ/リストアしたりすることができるパソコン用アプリケーションソフトウェアです。

<http://fujifilm-x.com/x-stories/fujifilm-x-acquire-features-users-guide/>

 一部のカメラは撮影した画像の自動転送（テザー撮影機能）に対応していません。

FUJIFILM X RAW STUDIO

パソコンとデジタルカメラを USB ケーブルで接続して、パソコンに代わり、デジタルカメラに搭載している独自の画像処理エンジンを使用して演算することで、高速かつ高品質な RAW 現像を実現します。

<http://fujifilm-x.com/x-stories/fujifilm-x-raw-studio-features-users-guide/>

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください


安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。


- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。


 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプター、USB ケーブルを外す。



電源プラグを
抜く

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。

カメラ内部や接続コードに水や異物を落とさない。

カメラ内部や接続コードを水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らした場合は、使用しないでください。



水ぬれ禁止

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプター、USB ケーブルを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。



風呂、シャワー
室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。

警告

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。



接触禁止

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。
- 一度端子部分が曲がってしまったコネクタは使用しないでください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

移動中の使用はしない。



歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性（ \oplus \ominus ）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。



指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



フラッシュを人の目に近づけて発光させない。

視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。

⚠ 警告

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合には、三脚などをお使いください。



- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

電源を入れたまま長時間、身体と同じ個所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合には、三脚などをお使いください。



- 長時間ご使用になる場合
- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼る。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。



メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

小さいお子様の手の届くところに置かない。



誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。



飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。



火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。








火災の原因になることがあります。

本製品の上に重いものを置かない。



バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。

△ 注意

-  **AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。**
電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
-  **本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。**
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
-  **電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**
火災・感電の原因になることがあります。
-  **お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。**
火災・感電の原因になることがあります。
-  **充電終了後は充電器をコンセントから抜く。**
コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。
-  **メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。**
飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。
-  **定期的な内部点検・清掃を依頼する。**
本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。
• 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

 電源プラグを抜く

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

- ※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロなどをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が +5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は +10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が +15℃～+25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

❗ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■ 電池の廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.com/>

■ AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。

弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。

AC パワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
詳細は <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> をご覧ください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意**■ 撮影の前には試し撮りをしましょう**

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得であろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- デジタルマイクロプリズム、Digital Micro Prism は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Mac、OS X、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop ならびに Lightroom は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けしないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなつてからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている無線 LAN/Bluetooth 機能をご使用になる前に必ずお読みください。



本製品は、米国輸出規則 (EAR) の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN/Bluetooth 機器としてお使いください。

無線 LAN/Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。

本製品の無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください (環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ セキュリティについて

無線 LAN/Bluetooth 機能は電波を使って通信するため、有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

- 本製品に使用権限のない (知らない) ネットワークが表示されても接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 本製品は「電波法」に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示または、画面で確認することができます。以下の行為は法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局 (免許を要する無線局)
 - (2) 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

• 2.4GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

2.4DS/OF4

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。

2.4XX8

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 80m であることを意味しています。

• 5GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

5GHz の周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz 帯（W52/W53/W56）の 3 種類の帯域を使用することができます。5.2GHz/5.3GHz 帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

■ 本製品を飛行機の中で使用しないでください。

Bluetooth 機能は、電源を切っても機能が働く場合があります。Bluetooth 機能を停止させるためには、**接続設定 > Bluetooth 設定 > Bluetooth ON/OFF** を **OFF** に設定してください。

レンズをご使用前に必ずお読みください


安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。


- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 **水をかけたり、水にぬらしたりしない。**

風呂、シャワー室での使用禁止 火災・感電の原因になります。

 **分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**

分解禁止 火災・感電の原因になります。

また、異常動作を起こしてケガの原因になります。


落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

接触禁止 感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

 **不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

 **レンズまたはカメラで直接太陽を見ない。**

失明や視力障害になる恐れがあります。

△ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないください。

火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

ケガの原因になることがあります。



濡れた手で触らない。

感電の原因になることがあります。



逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。

太陽光がカメラ内部に直接进入することで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。

太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。

転倒したり、ぶついたりしてケガの原因になることがあります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のよう
にお手入れすることをおすすめします。

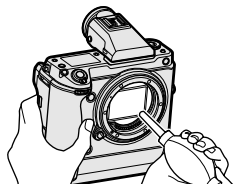
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブロワーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングは **基本設定 > センサークリーニング**で行えます。**センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、ブロワーでほこりを取り除いてください。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

センサークリーニング

■ 基本設定 > センサークリーニングを実行しても汚れが取れない場合は、ブローワーでほこりを取り除いてください。

❗ クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社サービスステーションでの（交換）修理は有償（高額）となりますので、十分ご注意ください。

1 センサーの表面に付着したほこりをブローワー（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。



2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。

3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。


- ❗ ブローワーはブラシの付いていないものを使用してください。ブローワーのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。
- 取り除けていない場合は、再度ブローワーでクリーニングしてください。

ファームウェア更新情報

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種種のファームウェア更新情報をご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/>

ファームウェアバージョンの確認方法


 バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認ができませんので、ご注意ください。

1 カメラの電源をオフにします。

メモリーカードが入っていることを確認します。

2 **DISP/BACK** ボタンを押しながら電源をオンにすると、バージョンが表示されます。

3 バージョンの確認ができたなら、電源をオフにしてください。

 別売アクセサリ（交換レンズ、クリップオンフラッシュ、マウントアダプターなど）のファームウェアバージョンを確認するときやファームウェアを更新するときは、カメラボディに別売アクセサリを装着してから確認や更新を行ってください。

トラブルシューティング / FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。


電源とバッテリー

症状	ここをチェック！	処置	📖
ON/OFF（電源）レバーを ON に合わせても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	41
	バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	45
	バッテリートレイはきちんと取り付けられていますか？	バッテリートレイをきちんと取り付けてください。	
ON/OFF（電源）レバーをオフにしたあとに素早くオンにしても液晶モニターが点灯しません。	—	液晶モニターが点灯するまで、シャッターボタンを半押しし続けてください。	—
バッテリー、電源について バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていますか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—
	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
	プリ AF を ON に設定していませんか？	プリ AF を ON で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	125
	同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性ががあります。バッテリー劣化度を確認し、劣化している場合は、新しいバッテリーと交換してください。	201
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。

症状	ここをチェック！	処置	頁
充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	45 41
	バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	
	プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。	
	プラグアダプターは正しく充電器に装着されていますか？	プラグアダプターを正しく充電器に装着してください。	
充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていますか？	低温時は、充電時間が長くなる場合があります。	—
充電中にインジケータランプ2が点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	45
	バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	バッテリー劣化度 を確認し、劣化している場合は、新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	201 296 347

充電について

メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	頁
メニューが日本語以外で表示されています。	 言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を 日本語 にしてください。	54 200

撮影時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	47 180
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	198
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	47
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	41
		電源がオフになっていますか？	電源をオンにしてください。	50
		他社製のマウントアダプターを使用していますか？	レンズなしリリースをON にしてください。	228
シャッターボタンを半押しすると、EVF や LCD にノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んだりしていませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているので、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—	
ハンドレイン	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	94

	症状	ここをチェック！	処置	目録
顔検出について	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	126
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	フラッシュが使用できる設定に変更してください。	148
		バッテリー残量が少なくなっていないですか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	41
		ドライブモードが連写やブラケティングになっていませんか？	ドライブモードを連写やブラケティング以外に設定してください。	6 7
フラッシュについて	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	—
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	—
		高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが同調速度より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなる場合があります。シャッタースピードを同調速度以下に設定してください。	70 75 336


症状	ここをチェック！	処置	📖
画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れが付いていませんか？	レンズを清掃してください。	—
	レンズに指などがかかっていますか？	レンズに指がかからないようにしてください。	57
	撮影時にAF フレーム（赤点灯）と !AF が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	58
撮影した画像の異常について	画像に点状のノイズがあります。	撮像素子の特性* によるもので、故障ではありません。 ピクセルマッピング を実行してください。	117
		* 撮像素子が X 線や宇宙線などの影響を受けると、撮影画像に「輝点（白、赤、青など）」が生じる場合があります。 ピクセルマッピング を行うと輝点が軽減されます。	
画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにしたあとでご利用ください。	50
	温度警告が表示されていませんか？		332

撮影した画像の異常について

再生時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	204
		動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？	動画撮影時はマイクをふさがないでください。	—
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	—
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていますか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	184
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマナンバーについて	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリートレイを取り出しましたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフしてください。電源を切らずにバッテリートレイを取り出すと、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	236



接続時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、再生モードでは、カメラの画面には何も表示されません。	282
	カメラの画面にもテレビの画面にも何も表示されません。	VIEW MODE ボタンによる切り替えが EVF ONLY +  になっていませんか？	ファインダーに目を近づけてください。 VIEW MODE ボタンを押して、他の設定に変更してください。	20
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	282
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。			
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	
	撮影した RAW または JPEG などの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	「MyFinePix Studio」を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	「MyFinePix Studio」(Windows) を使って、画像を取り込んでください。	287
	「FUJIFILM X RAW STUDIO」、 「FUJIFILM X Aquire」 がカメラを正常に認識しません。	カメラの PC 接続モード を確認してください。	カメラを USB ケーブルで接続するときに、あらかじめ USB RAW 現像 / 設定保存読込 に設定してください。	292

無線 LAN 通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のサイトをご覧ください。
<http://digitalcamera.support.fujifilm.jp/app/>

症状	ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンと接続できません。	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	284
スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断します。	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。	
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は 1 台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	284
	スマートフォンが近距離に複数台ありませんか？	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	
	他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。 他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。	

症状	ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンに送信できません。	動画が選択されていませんか？ (カメラ内閲覧機能の使用時)	動画の送信には時間がかかる場合があります。 またスマートフォンで再生できない動画は送信できない場合があります。 カメラ内閲覧機能については以下のサイトをご覧ください。 http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/	284
スマートフォンで受信した画像が開けません。	共通設定のスマートフォン送信時  圧縮を OFF に設定していませんか？	スマートフォン送信時  圧縮を ON にしてください。 また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	246



その他

	症状	ここをチェック！	処置	📖
カメラの動作が正常に動作して	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	45
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	41
		無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—
カメラの動作が正常に動作して	カメラが正常に作動しなくなりました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	45 347
	EVF/LCD の画像がカクカクした動きになりスムーズな動きに見えません。	—	パフォーマンスがノーマル に設定されている場合、一定時間何も操作をしないと、フレームレートが低下します。ボタンを操作すると通常のフレームレートに戻ります。	234
音が正常に動作して	音が出ません。	音設定 で消音に設定していませんか？	各設定の音量を調整してください。	203

	症状	ここをチェック！	処置	📖
EVF に こ じ や て	EVFが表示しません。	EVFを正しく装着 しましたか？	EVFを「カチッ」と 音（感触）がするまで 押し込み、装着して ください。	13
Q (ク イ ッ ク メ ニ ュ ー)	Q ボタンを押しても クイックメニューが 表示されません。	TTL-LOCK 状態になっ ていませんか？	TTL-LOCK を解除して ください。	149

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none"> 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。 適切な明るさ (露出) ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直してください。 電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で撮影しようとしてしました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
レンズエラー	レンズとカメラの間に異物が入っています。	カメラの電源をオフにしてレンズを取り外し、異物を取り除いて電源を入れ直してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れています。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
SD 空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。

警告表示	警告内容	処置
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常 またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン/オフを繰り返してください。 それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 コマ NO. を 新規 に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 コマ NO. を 連番 に戻すと、引き続き撮影できます。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> プロテクトされているファイルを消去しようとしました。 プロテクトされているファイルを回転しようとしました。 	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください。

警告表示	警告内容	処置
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	プリント予約できません。
回転できません 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	回転できません。
実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしました。	—
4K 設定とモニターが合っていない 動画モードを変更してください	HDMI 接続機器とカメラの動画モードが合っていない。	適切な動画モードに変更すると接続できる場合があります (151)。
!! (黄)	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。
!! (赤)	カメラの温度が上昇しています。画面にノイズが多くなったり、連写速度、表示のなめらかさなどのパフォーマンスが低下したり、動画撮影ができなくなる場合があります。	

標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	SDメモリーカード					
			8GB			16GB		
画質		SUPER FINE	FINE	NORMAL	SUPER FINE	FINE	NORMAL	
静止画	4:3	120	190	300	260	390	630	
	RAW (非圧縮)	30			70			
	RAW (ロスレス圧縮)	70			140			
動画 *1, *2	100Mbps	9分			20分			


*1 動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。

*2 ビットレートが工場出荷時の設定の場合。

! 動画を連続して撮影した場合、32GB よりも大きい SD メモリーカード (32GB を含まず) 使用時は、ファイルサイズが 4GB を超える場合でも 1 つの動画ファイルとして記録されます。32GB 以下の SD メモリーカード (32GB を含む) 使用時は、ファイルサイズが 4GB を超える場合でも一時中断することなく動画撮影が可能です。動画ファイルは分割して記録されます。

主な仕様

システム																											
製品名	FUJIFILM GFX100																										
製品型番	FF180005																										
有効画素数	約 1 億 200 万画素																										
撮像素子	43.8mm × 32.9mm BA、原色フィルター採用																										
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード* (弊社推奨品)																										
メモリーカードスロット	SD カード × 2 (UHS-II 対応)																										
記録方式	<ul style="list-style-type: none"> • 静止画：DCF2.0 準拠 • 圧縮：Exif Ver.2.3 JPEG 準拠 / DPOF 対応 • 非圧縮 / ロスレス圧縮：RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり、TIFF (RGB) • 動画：H.265/H.264 規格準拠 (MOV)、ステレオ音声付き • 音声 (ボイスメモ)：ステレオ (WAVE) 																										
記録画素数	<table border="0"> <tr> <td>L 4:3 (11648 × 8736)</td> <td>L 65:24 (11648 × 4304)</td> </tr> <tr> <td>L 3:2 (11648 × 7768)</td> <td>L 5:4 (10928 × 8736)</td> </tr> <tr> <td>L 16:9 (11648 × 6552)</td> <td>L 7:6 (10192 × 8736)</td> </tr> <tr> <td>L 1:1 (8736 × 8736)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M 4:3 (8256 × 6192)</td> <td>M 65:24 (8256 × 3048)</td> </tr> <tr> <td>M 3:2 (8256 × 5504)</td> <td>M 5:4 (7744 × 6192)</td> </tr> <tr> <td>M 16:9 (8256 × 4640)</td> <td>M 7:6 (7232 × 6192)</td> </tr> <tr> <td>M 1:1 (6192 × 6192)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S 4:3 (4000 × 3000)</td> <td>S 65:24 (4000 × 1480)</td> </tr> <tr> <td>S 3:2 (4000 × 2664)</td> <td>S 5:4 (3744 × 3000)</td> </tr> <tr> <td>S 16:9 (4000 × 2248)</td> <td>S 7:6 (3504 × 3000)</td> </tr> <tr> <td>S 1:1 (2992 × 2992)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RAW (11808 × 8754)</td> <td>TIFF (11648 × 8736)</td> </tr> </table>	L 4:3 (11648 × 8736)	L 65:24 (11648 × 4304)	L 3:2 (11648 × 7768)	L 5:4 (10928 × 8736)	L 16:9 (11648 × 6552)	L 7:6 (10192 × 8736)	L 1:1 (8736 × 8736)		M 4:3 (8256 × 6192)	M 65:24 (8256 × 3048)	M 3:2 (8256 × 5504)	M 5:4 (7744 × 6192)	M 16:9 (8256 × 4640)	M 7:6 (7232 × 6192)	M 1:1 (6192 × 6192)		S 4:3 (4000 × 3000)	S 65:24 (4000 × 1480)	S 3:2 (4000 × 2664)	S 5:4 (3744 × 3000)	S 16:9 (4000 × 2248)	S 7:6 (3504 × 3000)	S 1:1 (2992 × 2992)		RAW (11808 × 8754)	TIFF (11648 × 8736)
L 4:3 (11648 × 8736)	L 65:24 (11648 × 4304)																										
L 3:2 (11648 × 7768)	L 5:4 (10928 × 8736)																										
L 16:9 (11648 × 6552)	L 7:6 (10192 × 8736)																										
L 1:1 (8736 × 8736)																											
M 4:3 (8256 × 6192)	M 65:24 (8256 × 3048)																										
M 3:2 (8256 × 5504)	M 5:4 (7744 × 6192)																										
M 16:9 (8256 × 4640)	M 7:6 (7232 × 6192)																										
M 1:1 (6192 × 6192)																											
S 4:3 (4000 × 3000)	S 65:24 (4000 × 1480)																										
S 3:2 (4000 × 2664)	S 5:4 (3744 × 3000)																										
S 16:9 (4000 × 2248)	S 7:6 (3504 × 3000)																										
S 1:1 (2992 × 2992)																											
RAW (11808 × 8754)	TIFF (11648 × 8736)																										
レンズマウント	FUJIFILM G マウント																										

システム		
撮影感度	<ul style="list-style-type: none"> ● 静止画：ISO100～12800 (1/3段ステップ)、AUTO ISO50、25600、51200、102400は拡張モード ● 動画：ISO200～12800 (1/3段ステップ)、AUTO ISO25600は拡張モード 	
測光方式	<ul style="list-style-type: none"> ● TTL256分割測光 ● マルチ、スポット、アベレージ、中央部重点 	
露出制御	プログラム（プログラムシフト可能）、シャッター優先、絞り優先、マニュアル	
露出補正	<ul style="list-style-type: none"> ● 静止画：-5EV～+5EV (1/3段ステップ) ● 動画：-2EV～+2EV (1/3段ステップ) 	
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> ● メカニカルシャッター／電子先幕シャッター <ul style="list-style-type: none"> - Pモード時：4秒～1/4000秒 - Aモード時：30秒～1/4000秒 - S/Mモード時：60分～1/4000秒 - バルブ：最長60分 ● 電子シャッター／メカニカル+電子／電子先幕シャッター+電子 <ul style="list-style-type: none"> - Pモード時：4秒～1/16000秒 - Aモード時：30秒～1/16000秒 - S/Mモード時：60分～1/16000秒 - バルブ：最長60分 	
連写	選択可能な連写速度（コマ/秒 [fps]）JPEG	
	連写モード	メカニカルシャッター
	電子シャッター	
	CH 高速連写	5.0
CL 低速連写	2.0	
 連写速度と連続記録枚数は、撮影環境やご使用のメモリーカードによって変わります。		
フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> ● モード：シングルAF、コンティニュアスAF、マニュアルフォーカス（リング回転式） ● AF方式：インテリジェントハイブリッドAF（TTLコントラストAF+位相差AF）、AF補助光付き ● AFフレーム選択：シングルポイント、ゾーン、ワイド／トラッキング、オール 	

システム	
ホワイトバランス	AUTO、カスタム 1～3、色温度（ケルビン値）設定、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球、水中
セルフタイマー	OFF、2秒、10秒
フラッシュ発光モード	<ul style="list-style-type: none"> • モード：TTL（フラッシュ発光 AUTO、スタンダード、スローシンクロ）、マニュアル、マルチ、OFF • 同調モード：先幕、後幕、AUTO FP（ハイスピードシンクロ） • 赤目補正：赤目抑制発光+補正処理、赤目抑制発光、補正処理、OFF
ホットシュー	あり（TTL フラッシュ対応）、同調シャッタースピード 1/125 秒以下
シンクロ接点	X 接点、同調シャッタースピード 1/125 秒以下
シンクロターミナル	あり
ファインダー（EVF）	交換式ファインダー EVF-GFX2（付属）
液晶モニター（LCD）	<ul style="list-style-type: none"> • 背面：3.2 型カラー液晶モニター、約 236 万ドット、3 方向チルト式、タッチパネル付き • 天面：1.80 型 memory LCD、303 × 230 ドット
リアサブモニター	2.05 型有機 EL、256 × 64 ドット
動画 （ステレオ音声付き）	<ul style="list-style-type: none"> • 画像サイズ：4K 16:9、DCl 17:9、FHD 16:9、FHD 17:9 • フレームレート：59.94P、50P、29.97P、25P、24P、23.98P • ビットレート：400Mbps、200Mbps、100Mbps、50Mbps • 記録 / 出力形式 <ul style="list-style-type: none"> - H.265：SD カード 4:2:0 10bit/HDMI 出力 4:2:2 10bit - H.264：SD カード 4:2:0 8bit/HDMI 出力 4:2:2 10bit

入出力端子	
マイク入力端子	φ 3.5mm ステレオミニジャック
ヘッドホン出力端子	φ 3.5mm ステレオミニジャック
リモートリリース端子	φ 2.5mm 3 極ミニジャック
デジタル入出力	USB 端子（Type-C）USB3.2Gen1x1
HDMI 出力	HDMI マイクロ端子（Type D）
DC 入力端子	あり

電源部、その他

電源	<ul style="list-style-type: none"> 充電式バッテリー NP-T125 (付属) AC アダプター AC-15V (別売) 																								
バッテリー作動可能枚数 / 時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー：NP-T125 (2 個) レンズ：GF63mmF2.8 RWR 使用 フラッシュ：非装着 撮影モード：P モード オートパワーセーブ：ON <table border="1" data-bbox="353 350 937 477"> <thead> <tr> <th colspan="3">静止画撮影枚数</th> </tr> <tr> <th>パフォーマンス</th> <th>LCD</th> <th>EVF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブースト</td> <td>約 700 枚</td> <td>約 560 枚</td> </tr> <tr> <td>ノーマル</td> <td>約 800 枚</td> <td>約 740 枚</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="353 486 937 612"> <thead> <tr> <th colspan="3">1 回の充電で撮影できる合計動画時間</th> </tr> <tr> <th>画質</th> <th>実撮影電池寿命</th> <th>連続撮影電池寿命</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4K</td> <td>約 100 分</td> <td>約 170 分</td> </tr> <tr> <td>FHD</td> <td>約 150 分</td> <td>約 240 分</td> </tr> </tbody> </table> <p>CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。</p> <ul style="list-style-type: none"> 注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数や時間の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時では、バッテリー作動可能枚数は少なくなり、時間は短くなります。 	静止画撮影枚数			パフォーマンス	LCD	EVF	ブースト	約 700 枚	約 560 枚	ノーマル	約 800 枚	約 740 枚	1 回の充電で撮影できる合計動画時間			画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命	4K	約 100 分	約 170 分	FHD	約 150 分	約 240 分
静止画撮影枚数																									
パフォーマンス	LCD	EVF																							
ブースト	約 700 枚	約 560 枚																							
ノーマル	約 800 枚	約 740 枚																							
1 回の充電で撮影できる合計動画時間																									
画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命																							
4K	約 100 分	約 170 分																							
FHD	約 150 分	約 240 分																							
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	156.2mm × 144.0mm × 75.1 (48.9*) mm * 突起部含まず、奥行きは最薄部表記																								
本体質量	約 1155g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)																								
撮影時質量	約 1320g (付属バッテリー、メモリーカード含む)																								
動作環境	<ul style="list-style-type: none"> 温度：-10℃～+40℃ (バッテリー充電時：+5℃～+40℃) 湿度：10%～80% (結露しないこと) 																								

ワイヤレス通信

無線 LAN (Wi-Fi)

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	<ul style="list-style-type: none">• イスラエル、インドネシア : 2412 MHz ~ 2462 MHz (11 ch)• アメリカ合衆国、カナダ、中国、インド、韓国、マレーシア : 2412 MHz ~ 2462 MHz (11 ch) : 5180 MHz ~ 5320 MHz (W52、W53) : 5745 MHz ~ 5825 MHz (UNII-3)• EU 加盟国、日本、オーストラリア、ノルウェー、 ニュージーランド、トルコ、香港、フィリピン、ベトナム、 シンガポール、タイ、UAE、ロシア、台湾、サウジアラビア、 カタール、バーレーン、オマーン、エジプト、イラン、クウェート、 レバノン、ウズベキスタン : 2412 MHz ~ 2462 MHz (11 ch) : 5180 MHz ~ 5320 MHz (W52、W53) : 5500 MHz ~ 5700 MHz (W56)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

Bluetooth®

準拠規格	Bluetooth Ver.4.2 (Bluetooth low energy)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402 MHz ~ 2480 MHz

交換式ファインダー EVF-GFX2


種類	有機 EL
サイズ	0.5 型
画素数	約 576 万ドット
光学倍率	0.86 倍 (35mm 判換算 50mm レンズ、無限遠、視度 -1.0m ⁻¹)
対角視野	約 41 度 (水平視野 約 33 度)
視度調節	-4m ⁻¹ ~ +2m ⁻¹ (dpt)
アイポイント	約 23mm
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	53.6mm × 36.4mm × 80.1mm
質量	約 95g


バッテリー NP-T125

公称電圧	10.8V
公称容量	1250mAh
使用温度	-10℃ ~ +40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	36.0mm × 54.4mm × 26.0mm
質量	約 81g

バッテリーチャージャー BC-T125

定格入力	AC 100V ~ 240V 50/60Hz
入力容量	23 ~ 31VA
定格出力	DC 12.6V 800mA
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-T125
充電時間	約 140 分 (+25℃において)
使用温度	+5℃ ~ +40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	71.4mm × 97.0mm × 34.2mm (突起物を除く)
質量	約 120g

 質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明書の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

【数字】

- 2 画面表示、23
- 4K 映像出力先、162
- 4K HDMI 出力解像度 (スタンバイ時)、163
- 4K フレーム間ノイズリダクション、157
- 35mm フォーマットモード、146

【A～Z】

- A** (オート)、68
- A** (絞り優先撮影)、73
- AE/AF-LOCK 設定、230
- AE/AF ロック、94
- AE-L** (AE ロック) ボタン、95
- AE ブラケットイング、97
- AE ブラケットイング設定、138
- AE ロック、94, 95
- AF-C カスタム設定、121, 160
- AF-ON**、225, 261
- AF-L** (AF ロック) ボタン、95
- AF+MF、128
- AF (オートフォーカス)、77
- AF 警告、9
- AF 合焦音量、203
- AF 速度、160
- AF 補助光、125, 149, 169
- AF ロック、94
- AF ポイント表示、124
- AF モード、80, 120, 159
- ALL-Intra、153
- AUTO 設定、91
- AWB-LOCK 設定、230
- B** (バルブ撮影)、72
- Bluetooth 設定、240
- C** (AF-C)、78, 81, 121, 130, 160
- CH 設定、150
- DISP/BACK** (表示 / 戻る) ボタン、22, 173
- DPOF 指定、193
- D レンジ優先、111
- EVF (ファインダー)、16, 20
- EVF 明るさ、21, 205
- EVF 鮮やかさ、21, 205
- EVF 色調整、205
- EVF チルトアダプター、12, 267
- Fn** (ファンクション) ボタン、256
- F-Log/HLG 撮影、158
- FUJIFILM Camera Remote、147, 190, 241, 284, 298
- FUJIFILM instax SHARE、194, 243, 293
- FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX、299
- FUJIFILM X Acquire、286, 290, 292, 299
- FUJIFILM X RAW STUDIO、292, 299
- FULL HD 映像出力先、162
- H.265(HEVC)/H.264、153
- HDMI、163, 282
- HDMI ケーブル、282
- HDMI 出力情報表示、163
- HDMI レックコントロール、163
- instax プリンター接続設定、243, 293
- instax プリンタープリント、194, 294
- ISO 感度、142
- ISO 感度変更、90
- ISO ブラケットイング、97
- LCD (液晶モニター)、10, 18, 20, 31
- LCD 明るさ、21, 206
- LCD 鮮やかさ、21, 206
- LCD 色調整、206
- LED ライト設定、149
- Long GOP、153
- MASTER 設定、150
- MASTER (光通信)、276
- MENU/OK** ボタン、30, 104, 177, 198

MF アシスト、129, 161
MyFinePix Studio、191, 291, 298
M (マニュアルフォーカス)、85
P (プログラム撮影)、56, 68
P、S、A、M 撮影、68
PC 接続モード、244
Q (クイックメニュー) ボタン、253
RAW FILE CONVERTER EX、298
RAW 画像、105
RAW 記録方式、106
RAW 現像、178, 244, 299
SD/SDHC/SDXC メモリーカード、49
S (シャッタースピード優先撮影)、70
S (AF-S)、78, 80, 130
TTL、273
TTL-LOCK、149, 225, 261
TTL-LOCK モード、149
USB RAW 現像 / 設定保存読込、244
USB ケーブル、44, 287
USB テザー撮影、244, 290
WB シフト、112
Wi-Fi (無線 LAN)、284

【あ】

アイカップ、14
アイセンサー、20
赤目補正、270
アフターサービス (修理)、347
アベレージ (測光)、92
赤目補正、148, 186
後幕シャッター、272, 275, 278
アドレス、247
アベレージ (測光)、140
色温度、114
色空間、116, 179
インジケーターランプ、9, 43, 44, 169
インターバルタイマー撮影、136
インターバルタイマー撮影露出平準化、137
液晶モニター (LCD)、10, 18, 23
オートフォーカス (AF) 撮影、77
オプション品 (別売アクセサリ)、296
お手入れについて、315
オーディオ設定、165
オートパワーオフ (自動電源 OFF)、233
オートパワーセーブ、235
オール (AF モード)、81, 120
音設定 (セットアップメニュー)、203

【か】

カードスロット設定 (静止画記録)、237
カードなしリリース、228
海外で使うとき、309
外部フラッシュ (別売クリップオンフラッシュ)、270
顔検出 / 瞳 AF 設定、126, 161
顔検出 / 瞳 AF 設定 (動画)、161
顔セレクト、225
拡大表示、84, 88, 176
画質設定 (撮影メニュー)、104
画質モード、105

カスタム選択、117
カスタム登録（編集）、118
カスタムホワイトバランス、113
画像回転、185
画像コピー、188
画像サイズ、104
画像転送予約、189
カメラで使えるソフトウェア、298
画面のカスタマイズ、24, 211
カラー、115, 156
カラークローム・エフェクト、109, 179
感度（ISO 感度）、90, 142
基本設定（セットアップメニュー）、198
キャッチライト、149
共通設定、246
距離指標、87
距離指標の単位、210
記録画素数、334
クイックメニュー（**Q**メニュー）ボタン、
222, 253, 255
クリップオンフラッシュ、270, 271, 273, 297
グレイン・エフェクト、108
ケーブルプロテクター、4
減感（増感/減感）、179
言語、54, 200
交換レンズ、40, 264
工場出荷時（リセット）、202
合焦マーク、79
コマ NO.（コマナンバー）、236
コマンドダイヤル、8
コマンドダイヤル設定、226
コンティニユアス AF（**C**）、78

【さ】

再生音量、204
再生時の表示画面、172
再生ズーム、176
再生方法、175
再生メニュー、vi, 177
先幕シャッター、272, 275, 278
撮影画像表示、207
撮影時の表示画面、16
撮影スタンバイモード、235
撮影設定（撮影メニュー）、135
撮影メニュー、iv, 103
サブ液晶モニター、26
サブ液晶モニター照明ボタン、28
サブ液晶モニター設定、215
サブ液晶モニター背景色、28, 220
自動電源 OFF（オートパワーオフ）、233
視度調節ダイヤル、15
絞りリング、266
絞り優先（A）撮影、73
シャープネス、115, 157
シャッター音、204
シャッター音量、204
シャッタースピード、70, 335
シャッタースピード優先、70
シャッター選択、144
シャッター方式、141
シャドウトーン、115, 156
周辺光量補正、159
消去、60, 180
ショートカット機能、250
消費電力設定（セットアップメニュー）、233
情報表示、247
情報表示拡大 表示設定、214
情報表示拡大モード（EVF）、212, 214
情報表示拡大モード（LCD）、213, 214
情報表示コントラスト調整、214
情報表示の切り替え、22, 173

- 初期設定、52
- 処理前画像記録、237
- シングル AF (S)、78
- シングルポイント (AF モード)、80, 81, 120
- シンクローミナル、270, 271, 272
- スタンダード画面、24
- ズームリング、57
- スポット (測光)、92, 140
- スマートフォン、190, 285
- スマートフォン無線通信周波数設定、245
- スムーズスキン・エフェクト、109
- スローシンクロ、274, 278
- スロット切り替え、177
- スロット選択、238
- 静止画 (再生)、59
- 静止画 (プログラム撮影)、56
- 世界時計、199
- 接続設定 (セットアップメニュー)、240
- セットアップメニュー、vii, 197
- ゼブラ設定、164
- ゼブラレベル、164
- セルフタイマー、135
- セルフタイマー音量、203
- セルフタイマー設定保持、136
- センサークリーニング、201, 315
- 操作音量、204
- 操作ボタン・ダイヤル設定 (セットアップメニュー)、221
- ゾーン (AF モード)、80, 81, 120
- ゾーンエリア特性、123
- 増感 (増感 / 減感)、179
- 速度変化特性、122
- 測光、140
- 測光モード、92
- 測光 & フォーカスエリア連動、130
- ソフトウエア、298
- 【た】**
- ダイナミックレンジ、110, 155
- ダイナミックレンジ BKT、98
- タイムコード設定、167
- 多重露出撮影、101
- タッチパネル設定、231
- タッチパネルモード、132
- タッチファンクション、34, 231, 256
- 縦位置撮影、36
- 縦表示、36
- 縦 / 横位置 AF モード切替、124
- 縦横自動回転再生、209
- 縦横自動回転表示、36, 207
- ダブルタップ拡大、231
- タリーランプ、169
- 中央部重点 (測光)、92, 140
- 長秒時ノイズ低減、116
- 著作権情報、239
- デジカメプリント、193
- デジタルスプリットイメージ、88, 129
- デジタルマイクロプリズム、89, 129
- テレビ接続 (HDMI 出力)、282
- 電源、50
- 電子先幕シャッター (シャッター方式)、141
- 電子シャッター (シャッター方式)、141
- 電子水準器、25
- 点像復元処理、116
- 動画 AF モード、159
- 動画圧縮方式、153
- 動画再生、65
- 動画サイレント操作、33, 170
- 動画撮影、62
- 動画設定 (撮影メニュー)、64, 151
- 動画モード、151
- 同時消去 (RAW/JPEG 分割記録時)、182
- ドライブボタン、7
- ドライブモードダイヤル、6
- トリミング、182

【な】

長押し (DISP/BACK ボタン)、259
長押し (Q ボタン)、255
長押し (ゴミ箱ボタン)、198
長押し (再生ボタン)、59, 177
長押し (リアコマンドダイヤル中央)、8, 88
ナチュラルライブビュー、208
日時設定 / 日時変更、54, 199
認証、202
ネットワーク設定、242
ノイズリダクション、116, 157

【は】

バージョンアップの確認方法、317
ハイスピードシンクロ (FP)、275, 278
ハイライトトーン、115, 156
パソコン接続、287
発光モード、272, 273, 277
バッテリー、41, 45, 51
バッテリー劣化度、201
パフォーマンス、234
バルブ撮影 (B)、72
半押し AF、227
半押し AE、227
光通信 (MASTER)、276
ピクセルマッピング、117
被写体保持特性、122, 160
被写界深度確認、74, 87
被写界深度スケール、131
被写体保持特性、160
ヒストグラム表示、25
表示設定 (セットアップメニュー)、205
表示比率、195
標準撮影枚数 / 記録時間、333
ピントの確認、87
ブースト、234
ファイル名編集、237

ファンクション (Fn) 設定、223
ファンクション (Fn) ボタン、256
フィルムシミュレーション、107, 154
フィルムシミュレーション BKT、97, 138
フォーカス BKT、98, 139
フォーカス位置拡大、128
フォーカスエリア、82, 83, 119, 159
フォーカスエリア選択、80, 82, 119, 159
フォーカス設定 (撮影メニュー)、119
フォーカスチェック、129, 161
フォーカス点数切り替え、125
フォーカスピーキング、88, 129, 161
フォーカスモード、78
フォーカス優先 (レリーズ優先 / フォーカス優先)、131
フォーカスリング、229
フォーカスリング操作、229
フォーカスレバー、5, 221
フォーマット (初期化)、198
フォトブックアシスト、191
フォルダ選択、238
ブラケティング撮影、96
フラッシュ設定 (撮影メニュー)、148
フラッシュ機能設定、148
プリ AF、125
フリッカー低減、142
プリント予約 (DPOF)、193
フレーミングガイド、209
ブレ防止モード、143
プログラム (P) 撮影、56, 68
プログラムシフト、69
プロテクト、184
フロントコマンドダイヤル (コマンドダイヤル)、8, 226
ベアリング、52, 240, 285
別売アクセサリ、296
ボイスメモ設定、187

保存設定 (セットアップメニュー)、236
ホワイトバランス、112, 155
ホワイトバランス BKT、98

【ま】

マイメニュー (マイメニュー設定)、200, 251
マウントアダプター設定、144
マニュアル (M) 撮影、75
マニュアル時モニター露出 /WB 反映、208
マニュアルフォーカス (M)、85
マルチ再生、176
マルチ (測光)、92, 140
無線 LAN (Wi-Fi)、284
無線通信周波数設定、245
銘板プレート、5
メカニカルシャッター (シャッター方式)、141
メモリーカード、47, 48
モノクロ調整 (温・冷黒調)、108, 154, 179
モバイルバッテリー、44

【ら】

リアコマンドダイヤル (コマンドダイヤル)、
8, 226
リアサブモニター、29
リアサブモニター明るさ、220
リアサブモニター設定、218
リサイズ、183
リセット、202
リモートリリース、72
リリース優先 (リリース優先 / フォーカス
優先)、131
連写 (連続撮影)、99
レンズ (取付)、40
レンズ (交換レンズ)、264
レンズキャップ、265
レンズフード、265
レンズなしリリース、228
レンズ登録、144

露出補正、93
露出補正ダイヤル、93
露出補正ボタン設定、230
ロスレス圧縮、106
ロック、232

【わ】

ワイド / トラッキング (AF モード)、81,
120
ワイヤレス設定初期化、247
ワイヤレス通信、147, 190
ワンプッシュ AF 時の動作、130

ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/sd/> をご覧ください。

3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？
トラブルが発生する直前の操作は？
カメラの状態は？
トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご利用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

- 本製品に関するお問い合わせは… ※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30 / 土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

- 本製品の関連情報は… ※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A検索」もご利用ください。

■修理サービスQ&A

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>

■修理料金のご案内

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/estimate/index.html>

- 修理の受付は… ※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30 / 土曜日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL 050-3786-1040

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

■修理品ご送付受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター

〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1 / TEL: 050-3786-1040

▶全国どこからでも【引き取り修理サービス】

引き取りからお届けまでお任せ修理

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/quick/index.html>

▶お近くのサービスステーション【サービスステーション一覧】

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の<修理ご相談受付窓口>にてご確認ください。

- 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 050-3786-1711

(月曜日～金曜日 9:30～17:30 ※土・日・祝日・年末年始を除く)

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

http://www.fujifilm.com/products/digital_cameras/index.html

